（明治四十八年二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛　發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵稅 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

上海の事態に關する わが國の立場を說明

芳澤外相、英、米、佛三國大使に 三大使も注意を喚起

【東京特電三十一日發】芳澤外相は卅一日午後三時半駐日イギリス大使リンドレー氏、午後四時半にはアメリカ大使フォーブス氏、午後五時半にはフランス大使マルテル氏の來訪を求め大臣室で個別的に各一時間に亘つて會見、上海事件における帝國の立場を詳細に說明し、列國の誤解を是正するに努めたが、一方三國大使も各本國政府の訓電に基き更に意思表示をなすところあつた、しかしながら右三國政府の意思表示は抗議といふべきものでなく事態擴大に關し日本の注意を喚起した程度のものであると

應戰は自衞上の行動

上海市長の要求承認と無關係

三大使と會見後 芳澤外相語る

【東京特電三十一日發】芳澤外相は三國大使と會見後記者團に對し左の談話をなした

本日の會見は上海におけるわが官憲の行動につき誤解を正し併せて目下の時局につき關係國の注意を喚起し好意的考慮を求めるにあつた、一部列國には吳鐵城市長が日本の要求を容れたに拘らずわが陸戰隊が何故に砲火を交へたかと批難するものがあるがこの兩者は全然別種の事件である　市長の要求承認とわが軍の自衞上の應戰とは何等關係ないと支那軍は廿九日停戰を約したに拘らず三十日朝より再び砲擊を開始した、一方蔣介石は南京に兵力の集中が終れば攻勢に轉ずるとの報あり、支那のこの態度は聯盟に問題を提起した態度と一致しない、余は英、米、佛三國大使に對し關係國政府より至急在上海自國官憲に支那軍の攻擊停止および撤退につき訓令を發せられるやう切望する

英米は共同抗議せず

わが外務當局、報道を否認

【東京卅一日發】英米兩國政府が共同動作をとり日本軍の上海市外占據に正式抗議を提出したとの報道に關し、わが外務當局は斯かる事は絕對に無しとこれを否認し、なほ英政府のコムミユニケ中に日本政府に對して抗議した云々の點についても同樣否認してゐる

英米の共同勸誘に 佛は參加せず

日本の說明に滿足し

【パリ三十一日發】上海事件に關しフランス政府は、英米より共同動作を執るやう勸誘されしも日本の說明に滿足し參加しない事に決定した

佛下院議員の質問

【パリ三十日發】本日佛社會黨下院議員ムーテー氏は政府にフランスが聯盟規約九個國條約調印國として今回の上海事件に關し如何なる態度をとるかと質問通告をなした

軍事行動停止手段

支那、九國條約國に要請

【北平三十一日發】支那外交部は上海事件に關し九國條約國に日本の軍事行動停止手段を執らん事を乞ふた

對日經濟壓迫は 最も殘酷非人道

容易に戰爭に導びく危險

米上院ボ氏が警告

【ワシントン三十日發】米上院外交委員長ボラー氏は既に二十餘の各種平和團體が同氏に對しアメリカの對日經濟ボイコットを主張し來れるため本日ステートメントを發表し、之が容易に戰爭に導き得べき第一の手段なりとし、ボイコット論者に警告を發しボイコットは脅迫の性質を有するもので、最も殘酷な非人道的性質を帶びるものである、上海で日本がとつた措置及び同地の狀態についてどう人が思ふともボイコットは我國民の主張すべきものではない、一方議員キング氏はアメリカ及び聯盟による經濟ボイコットで日本を抑制せよと述べてゐる【寫眞はボ氏】

宣戰は支那の 無力暴露

【パリ三十一日發】支那が日本に對し宣戰を布告するであらうといふ報道に關し本日のル・ジユルナー紙上においてサンセルス氏は左の如く論評してゐる

支那の過失

ベルリン紙評

【ベルリン三十一日發】支那が日本に對し宣戰を布告するといふ報道に關し本日のドイツ各新聞は支那は宣戰布告の道を取る事は過失であると非難してゐる

支那の態度は却つて自國に對し大なる危險を及ぼすものだ、若し南京政府が日本に對し正式に宣戰を布告するとせば支那はその自國の無力を發表するに過ぎない、斯くの如き決心は理性を缺いだやり方で徒らに人民の感情を刺戟し混亂に導くであらう

聯盟事務總長公文 委員會必要强調

【ジユネーヴ三十日發】聯盟事務總長ドラモンド氏は各理事國に公文を以て上海事件緊急調査委員組織の必要を强調した

既得權益の 擁護當然

重光公使語る

【上海特電三十一日發】歸朝中であつた重光公使は上海方面事態急迫のため急遽東京發本日午後三時半上海入港の長崎丸で歸任したが同大使は往訪の記者に對し左の如く語つた

自分は上海事態急迫の報に接し急遽歸任した、時局險惡の折柄在留諸君の御心勞を御察しすると共に、官民一致協力して良く時局に處してゐる事を衷心より感謝する、我日本の支那における權益は既に古き歷史を有しこの既得權益の擁護は一に各方面の多大協力を必要とするものであるが、之が革命運動とも觀るべ……

中央直屬軍の主力を 安徽、浙江方面に集結

國民政府對日戰備を急ぐ

【天津特電三十一日發】中央は政府を河南洛陽に遷し中央直屬軍主力を安徽、浙江方面に集結し、徐州、蚌埠に在る空軍を安徽某地點に集結せしむるやう昨夜全軍に出動命令を發した

王樹常軍も 動員令

【天津特電三十一日發】蔣介石、汪精衞等要人連は日本に對し宣戰布告を決議した上、三十日午後三時二十分浦口を出發し洛陽に向つたとの報を得たる王樹常は昨日第二軍司令部に各將領を召集緊急軍事會議を開き當地河南一帶は先づ保安隊を以て警戒に當らしめ必要に應じては第十五旅の一部を增援し又河北一帶は第十五旅團の他第廿九旅中より步兵一個團、迫擊砲隊一個團を增援に決し卽日準備動員令を下した

順承府で對日 重要會議

【北平三十日發】學良は三十日午後蔣介石より今次上海事件は支那として絕對に忍ぶべからず全國一致して犧牲精神を發揮して國難に當れとの急電に接した、學良は三十夜順承府で對日態度協議重要會議を開くが結局事なかれ主義に落着くものと觀られてゐる

蔣の軍事獨裁 權復活

【北平三十一日發】南京政府の洛陽遷都は完全なる蔣介石の軍事獨裁權復活を語るもので同地一帶には蔣の直系軍約二十萬あり、この軍隊を上海に繰出すや否やが極東政局の大發展を見るか否かを摑む鍵であり、洛陽移駐後の蔣介石の態度注目さる

海相外相訪問

【東京三十一日發】大角海相は今朝十一時外務省に芳澤外相を訪ひ協議した、右は英米佛三國大使に對し上海事件の經過を說明するにつき打合せたものである

飽迄武力で對抗する

郭外交部次長の對日意見

【上海三十一日發】洛陽遷都の宣言は對日宣戰を意味するもので形勢重大化して來たが、外交次長郭泰祺はルーターの報じた支那の宣戰布告說を否定し宣戰布告の意思はないが日本がこの上挑戰すれば飽く迄武力對抗に政府の方針決したと語つた

不法發砲を 英、米に通告

【上海卅一日發】村井總領事は工部局を通じ英米に對し今朝七時我飛行機が偵察飛行をなす前に支那が左の不信發砲をなした旨英、米領事に通告した

一、今朝一時二十分支那野砲隊は陸戰隊本部に發砲し一彈は附近に落下した

一、一時五十分邦人男子三名は狄思威路で支那人に爆彈を投げられ重傷した

一、四時四十分北停車場附近の支那軍は我に發砲止むなく應戰中

以上の事實に鑑み飛行隊は偵察飛行をするも爆彈は投下せず

……き排外運動によつて侵害されるが如き事ある場合自衞的に之を防禦するのは當然である、卽ち權益の擁護は何等躊躇すべきでなく自分はこの重大任務を充分果す覺悟である

戰備完了後 斷然挑戰

【東京三十一日發】上海方面より海軍省に到達した情報によれば上海事件に對し南京政府は極力日本に抵抗する事に決せるもの、如く二十九日夜蔣介石は窃に次の處置をなしたと、卽ち三十一日迄に第十九路軍と警備第三師を上海附近に集中し飛行機四十機を河南方面より南京に送りなほ河南より兵力を補充し表面無抵抗を裝ひ兵力集中完了せば斷然攻擊に移ると

駐支英公使

【天津三十一日發】シベリヤ經由歸國の途長春まで行つたランプソン公使はハルビン事變で東支鐵道の不通と上海時局重大化のため直に引返し天潮丸で本日天津に到着した英總領事と打合せの上本日中に北平へ向ふ筈

米公使上海へ

【北平卅一日發】北平米國公使ジヨンソン氏は本國の命により上海事件調査のため午後五時上海に行く事となつた

犧牲者送還

【上海三十一日發】軍艦龍田は明日朝上海事變の犧牲となつた英靈及び重輕傷者百餘名を乘せて佐世保に向ふ事となつた

馮韓防備協議

【上海三十一日發】洛陽に移動した國府は全軍隊を南京にとゞめ置くに決す、馮玉祥は昨夜濟南に行き韓復榘と我軍の山東襲擊を豫想して防備につき協議中と國府は發表した

南京要人家族 全部逃去る

【上海三十一日發】國民政府は日本軍が長江一帶を攻擊する事を假想、上海共同租界に國民政府辦理公署を設ける計畫を進め當地にある宋子文がその準備にあたつてゐる、南京來電によると、政府要人と家族は殆ど全部逃げ終り軍隊の往來激しく非常な混雜を呈してゐると

中央要人北上

【天津三十一日發】洛陽遷都の宣言を發表した蔣介石、汪精衞、林森は卅日愈々中央要人殆ど全部と共に北上洛陽へ向つた、南京は軍政部長何應欽、外交部關係羅文幹、王正廷、蔣作賓等重要人が殘つてゐるので蔣介石は飛行機を北平に派し學良の出馬を促した

支人避難民で 各租界混雜

【上海三十一日發】今朝のわが飛行機十六臺のデモンストレーシヨ……

停戰協定の大綱協議

日支代表英米領事立會の下に 何等決定を見ず散會

【上海三十一日發】支那軍の撤退に關する鹽澤司令官の要求に對し支那側は今朝迄に何等回答せぬのみか我に三度砲擊を開始したので我軍非常に激昂してゐる、本日午前鹽澤司令官と吳鐵城市長と會見する豫定故、會見終了する迄我は支那軍が大砲による砲擊を開始せぬ限り我方は爆擊せぬに決した

【上海三十一日發】鹽澤司令官と吳鐵城市長の會見は卅一日正午から一時迄英領事館で英領事立會の下に行はれた、右會見において停戰協定の履行に關する協定大綱を協議し事態收拾を圖る目的で上海がこれ以上の兵火の地獄と化するか又は小康を保ち得るかの岐れ目で成り行き重大視されて居たが、容易に纏まらず一先づ休憩午後三時から再開したが遂に決定に至らず散會した

租界の中立安全は 支那軍に蹂躙さる

邦人の安住地全く無し

【上海卅一日發】支那正規軍の假裝した便衣隊活躍のため租界の中立は根據から蹂躙され、殊に蘇州河以北の邦人住居區域たる北四川路方面は廿四時間々斷なく血腥さい市街が展開され邦人安住の地は殆どなく邦人殊に婦女子は便船每に引揚げつゝあり、本國より汽船の派遣を熱望されつゝあり英租界方面も次第に危險となつた

避難民を襲ふ 便衣隊

【上海三十一日發】支那側の我陸戰隊後方攪亂計畫は相當統一せる組織を有せるもの、如く本日午後市內搜査の結果上海駐屯軍第二大隊警士關某を取押へ取調中であるが、避難民の雜沓は延々數哩に及び日本領事館附近、ブロードウエイ路は橫ぎる事も出來ぬ程である、これを利用して便衣隊の活躍と同時に支那側は總攻擊に移る等の噂もあり人心動搖してゐる

戴軍、閘北で 掠奪放火

【上海三十一日發】我軍を頑强に反擊した戴戟軍は嚴祝同軍と交代すべしとの命を受けて居るが戴戟軍は昨日より閘北一帶に大掠奪暴行放火する等言語に絕する殘虐をなしつゝあり支那街は大混亂に陷つてゐる

十六機偵察飛行

爆音轟々天地を蔽ふ

【上海卅一日發】卅一日午前九時航空母艦加賀と能登呂から離艦した我爆擊機は敵陣の戰陣を組み合計十六機同九時三十分上海の上空に現はれ爆音轟々と天地を蔽ひ全市ために震撼す、未だ爆擊は開始せぬが若し支那軍が敵意を示せば決行すべく我軍の氣勢頓にあがる

協定を無視して 我陣地砲擊

信用し難い支那軍

【上海三十一日發】支那側は今朝一時二十分及び四時四十分頃約定に反し北停車場附近より不意に我陣地を砲擊し來た敵は野砲を有し陸戰隊これに應戰し五時過ぎ支那側を沈默せしめたが午後一時頃から再び我方に向ひ砲擊を開始し一時十分頃老靶子路附近に三發落下死傷者なき見込みである

便衣隊五百名 逮捕

【上海卅一日發】第一大隊の吳淞路附近便衣隊掃蕩は大成功で午後一時迄に五百名を逮捕し日本人クラブに連れて來た

夜襲計畫對策

【上海卅日發】支那軍卅日夜夜襲の計畫ありとの報に卅日上海待機中の第三艦隊特別陸戰隊は夕張、安宅の特別陸戰隊と協力日本人クラブを中心に警備にあたつた

一千五百名の 決死隊潛入

【上海三十一日發】我軍は多大の犧牲を拂つて便衣隊掃蕩に努力中だが支那側は青島方面から軍資金を得後方攪亂のため義勇軍を組織し昨日は一千名、本日は五百名の決死隊を先發し潛入せしめたといはれる、尙青年學生等續々之に應募中

南京方面に 軍艦派遣要請

【ワシントン三十日發】南京駐在米總領事ペツク氏は本日米政府に南京蕪湖方面の事態惡化に鑑み更に前記兩地に驅逐艦を增派されたしと要請した

上海へ增兵必要

陸軍當局對策を協議

【東京三十一日發】上海の事態重大化して今後の形勢推移に依つては陸軍よりも派兵を必要とする狀態になつたので三十日午後の參謀本部陸軍省は俄然緊張し作戰動員輸送等關係當局は夜間遲くまで會議を續け研究を行つたが、今後萬一同方面に派兵の已むなきに至る場合は用兵作戰上より差當り大體平時編成一個師團程度の兵力の派遣を必要と觀られてゐる

【東京三十一日發】……態度を執らば十九路軍は誓つて國土を護り餓死せんより玉碎を期せよと命令を發した、日支軍の關係今後更に惡化を豫想され陸軍の出動を全居留民より最後の賴みとして熱望されて居る

陸軍派遣電請

【上海三十一日發】支那の抵抗頑强なると便衣隊の活動猛烈なると陸戰隊の多くが陸戰に馴れぬため我軍は兵力の不足を痛感し居る模樣で、我軍に死傷續出する樣見るも氣の毒な程で當局は政府に是非陸軍派遣方電請し實行を求むるに決した

陸軍出動を 居留民熱望

【上海三十日發】蔣介石は各將領に對して日本軍がこの上更に進擊……

便衣隊依然活躍

【上海卅一日發】我軍は吳淞路と武昌路附近で便衣隊二百を昨夜から本日正午迄に逮捕し日本人クラブに連行した、武昌路橫濱路では便衣隊狩りさかんである

【上海卅一日發】本部屋望臺で見張中二等機關兵山崎巖氏は狙擊され轉落卽死したが、右犯人は本部西北の家屋内から射擊せる便衣隊なる事判明せるより、本部では附近の便衣隊狩りを强行中である、なほ山崎二等機關兵はダムダム彈を咽喉から背に向け貫通されてゐる

【上海三十一日發】三井物産社員渡邊等氏（福島縣人）鹽澤雄氏（山口縣人）は昨夜第一線警備手傳ひ中敵彈に當り重傷した

【上海三十一日發】施高塔路の上海日本高等女學校附近に巢喰つてゐる便衣隊は江灣路正規軍と呼應し十二時本部附近千愛里その他邦人住居區域に一齊射擊せるより我軍目下應射中である

【上海三十一日發】便衣隊の集團午前十一時過ぎ日本電信局を襲擊したが我軍は一齊射擊の結果約五十を逮捕す

陣地戰繼續

【上海三十一日發】卅一日午前六時全線に亘る陣地戰依然續行中本部附近には盛んに銃丸落下しその後敵の砲擊はないが我軍は既に當地に向つて航行中の第一航空戰隊との連絡がされたので敵が再び砲擊を開始せば空から爆擊を開始の筈である

支那軍の砲擊 を警戒

【上海三十一日發】海軍發表、廿九日支那側から攻擊に出でざる申出あり、當軍はもとより交戰の意思なきを以て休戰の約定をなしたるにも拘らず支那軍は時々猛烈なる砲擊を前夜より昨夜未明も猛烈なる砲火を送り來れり、當司令部においては支那側の態度に著しく不安を感ずるに至れるを以て支那軍隊の……

我艦隊配置

【上海三十一日發】卅一日正午における上海及び其附近に在る我艦艇は次の如し

▲上海　砲艦安宅、堅田、巡洋艦夕張、常磐、大井、龍田、驅逐艦萩、薄、蔦、浦風、皐月、水無月、文月、長月、望月、夕月、如月、睦月、彌生、卯月、栗、栂、柿、樺

▲吳淞沖　航空母艦能登呂、驅逐艦三日月、菊月

▲揚子江口　巡洋艦那智、阿武隈、由良、航空母艦加賀、鳳翔、驅逐艦沖風、峰風、矢風、澤風

▲南京　巡洋艦天龍、平戶、對馬

外陸重要會議

【東京三十一日發】上海方面の事態重大化と共に海軍陸戰隊のみを以てしては兵力不足を生ずるので愈々陸軍を同方面に派遣する事となるもの、如く、今夜外務陸軍の首腦部間に重大會議が行はれるもの、如くである

米艦隊の待機

【ワシントン三十日發】米政府は上海方面における日支關係を重視し本日米アジア艦隊に對して在支アメリカ人撤退を援護し或はその生命を保護する任務に就くべき準備を整ふべしとの命令を發した

在支米人保護

【ワシントン三十日發】アメリカ海軍軍令部長プラット提督は三十日左の如く語る

アジア艦隊に在支アメリカ國民引揚げのため出動準備命令發した、而して支那暴民が多數のアメリカ人が居留してゐる揚子江沿岸を支配する場合はアメリカ國民の生命財產が危險に瀕するから、卽刻彼等を引揚げさせる必要がある、右の措置は如何なる反對があるとも斷乎として實行するであらう

支那軍、英兵 と激戰

【上海三十日發】支那軍は午後二時半に至り市の西部に進出し猛射を開始したのでイギリス軍隊出動しこれと激戰した

英義勇軍も 發砲應戰

【上海三十一日發】司令部發表、今曉支那軍が約に反し不意に攻擊を開始せるを以て北河南路とその以西に配備し英國義勇軍も租界防備のため我陸戰隊と共に砲火を開き裝甲車出動し盛んに應戰相當の死傷者を出だせる模樣である

總領事館襲擊 有力嫌疑者逮捕

總領事館爆彈投下事件に關係ある有力な嫌疑者が便衣隊狩りで本日午後逮捕された、右嫌疑者は復旦大學銀行學教授葉瀾(三二)といふ會計士で今朝九時半頃福豐里のセントヂヨージ病院の病院車で支那人阿媽が三個のトランクを持つて避難せんとしたのを取調べたところ右葉瀾の書類が現はれたので更に同家に踏込み取調べた處應接間に誰か仲間から來た手紙らしく用紙に英語で

緊急令四時租界內に布かる、今朝總領事館に爆彈を投じたが不成功に終る、危險迫る故直ちに逃げたが工部局義勇軍は既に動員令を下した

との鉛筆の走り書した紙片が落ちてゐたので葉瀾を逮捕し、直に女學校に引揚るや隣接の四達里から我步哨目がけて銃砲を亂發した者あり、裝甲自動車一臺出動し米國籍のパートチン外一名を逮捕し目下陸戰隊本部において取調中

……眞相を知る必要上飛行機を以てこれを偵察する事とし多數飛行機を出發せしめたり

新滿蒙建設の私見

集團農業の經營方法

〈七〉　難波勝治

さうした政治的暗礁は今や時局の爲に破壞されました、まだ正式に規約されるまでに至らないが、既存權益としての主張は最早枉げられるべき餘地がありません、其處で起つた問題は今後の農業移民計畫であります、多くの論者は一定區域に於て集團農業を經營せるが好いと唱へて居ますが、これには私も同感であります、しかし其處に二三の注意點があつて、日本人だけの專斷でなく、**支那側とも十分の諒解を計つて組立てられればなりません、**何となれば他の職工業と異り、移植民を主とする農業經營は最も永長な實業な事業であつて、

關係的調和し砥礪して互助共益の基礎を作られればならぬからであります、日本人は餘りに性急で且つ協同心に乏しいとは、屢々第三者から受ける批評であります、私はそれが果して國民の本能的素質であるかどうか知りませんが、不幸各地でさうした實例を見聞しました、又過去の滿洲農業を回顧しましても、その類證は決して少くない、久しい間招租問題の係爭は不便も去ることながら、この不便を一層紛糾させた原因中には、各人各戶が冷靜に反省せねばならぬ點があります、若しこの勇氣と度量とを缺くならば、如何に良い條約機でも、その實行に當つて幾多意外の難關に逢着するなきを保し得ません、先進國人としての自覺が熾烈であればあるだけ、さうした飽和力も旺盛であるべき筈でありますます、

そこで右の集團農業計畫でありますが、理想からいへば滿蒙の風土氣候は、丁抹や、墺太利などで見るやうな、各人各戶が組織的に築き上げた農園の集結に適してゐるとも考へられますが、今なほ草賊の橫行に任せ土地の警備事項や、地方の交通未だ整頓しない點に於て、**一大集團區域を劃定して、指導、警備、分配など諸般の行政を資本的、組織的の下に**

置くのが適當でありませう、ただ問題はその集團の組成分をどうするかであつて、或人は純鮮人農村の樹立を唱へ、或人は日本內地人の大農村扶植を主張したりして居ます、併し私はその孰もに贊成し得ない、少くともそれには理利共に大きな矛盾があると信じます、一民族の純農村には非常に不便があります、自國領土內に於てすら、私はその實例を臺灣や朝鮮の各地に散見しましたが、況して滿蒙は主權傳統を異にする地域であつて、**土着先任者との雜居親和に重きを置かねばなりません、**世間では總ての爭ひは雜居混住から發生するやうに考へて居ます、しかし事實は決してさうでなく、大なり小なり孤立と孤立との對立に起因するのが殆んど何處でもの交通現象であります、北米合衆國の如き自由境に於てすら、黑白兩人種の根本的親和策に惱んで種族の差別觀に新しい考へ方をし出しました、況んや歷史、文化、人種の同一系に屬する滿蒙在住者の協和には、何物よりも國籍觀念を稀薄にし、社會的交通觀念が培養されればならぬやうで、其處に近來勃興した平和境建設の理想があります、

一口に平和境と申しますが、その第一步は個人間の親睦であり、次は團體間の融和であつて、集團植民地はこの原則の上に形づくられればなりません、しかし問題はその融和力培養の基礎的具體方法でありますが、既に集團農業である以上、その地域は相當廣面積の選定が必要です、少くとも幾千町步から一萬町步に達しませう、さうした地域は土壤も地形も決して單純でない、丘陵あり、平野あり川流林地、互に相錯綜して各種の農業方針を調査策定せねばなりません、其處に同時に各民族配置に關する考慮が要ります、卽ち低濕の地域には水田農業者を、丘陵高地には早作者を、若くは放牧の適任者を分類集結させ、更に產物の精選加工に就てもそれぞれ技術の執務とを要します、この意味において日鮮支各種族は互に異なる傳統的長所を有し、相侵すことなくして長所を發揮させ得ます、それを統制するのが組織と資本力とであつて、住民の教育、衞生、警備は勿論、生產物の配給、必需品の共同仕入、金融など、綜合的に處理融和することを得、之が**補助支援に就ても一定の方針を執る**ことが出來ます、世人動もすれば民族の產業的競爭において、彼此の間に根本的優劣の標準を認定しようとします、現に朝鮮內に於ける蔬菜農業は、鮮人が遠く支那人に及ばぬこと明らかであります、併し東部滿洲一帶の水田農は本能的に前者が卓越して居り、機械作業に關する考案運用に至つては、日本々島人は東洋の如何なる國民にも勝つて居ます、かうした差別は勿論絕對的のものではありません、併し大衆の現狀から見れば何人も之を否定することは出來ぬ、それを綜合的に利導する處に滿蒙開發の正道があり、更に之を集結砥礪さすことに依つて、共存主義の實現に向つての底力を培養成熟せしめ得ると思ひます、

私はかうした**各民族集結の大農園經營を中南米到る處で實見**しました、而して若しこの方針にして所期の効果を收めんか、一波は萬波を誘起して滿蒙全局にその感化を普及すると信じます、滿蒙新建設の口言ひ易くして行ふに難い、殊に移植民問題の如きは獨り右樣の方法のみでなく、個人の奮鬪に待つべきものも多々あつて、それを一律に卒論することは出來ませんが、最上に概述した交通、產業の諸項と同じく、農牧業による建設の中堅的使命を有する一權能だと信じます。

社說

曖昧なる規約十五條
上海事件調査委員會の設置

國際聯盟公開理事會は、二十九日に引續き卅日午前十時二十分開會され、事務總長ドラモンド氏の上海事件調査委員會組織案を可決した。委員は事件發生當時現場に駐在せる理事國の公使さなし、米國公使も參加し得る事さした。既に事務總長から米國に參加の勸誘狀を出して居る。この討議に際して、支那代表は、規約第十五條の適用を、滿洲にも及ぼすべきだと力說したが、事務總長はこれを斥けた其理由は、滿洲問題に關しては既に支那委員會が組織されて居る。故に滿洲問題は、此委員會の報告に據りて解決を謀るべきもので、今更屋上屋を架する必要はないといふのであつた。他の委員も、この意に隨つて今度の調査委員會に贊成したのである。これにより吾人は「今度の日支事件の爲めに、國際聯盟から任命した調査委員會は二個である。而して一は滿洲事件に關し、他は上海事件に關するものである。而して同時に、假りに規約第十五條の適用を見るも、問題は上海事件だけに限るさの限界が立てられた事」を注意しておくものである。

◇

我佐藤代表は「上海における我軍の行動は支那軍の攻撃に對する防衛さ、我國民の保護を目的さ爲す、此點全然滿洲における我軍の行動さ同樣である。敢て彼此を區別すべきものではない。且つ上海が決して第十五條を適用すべき狀態に在らざる事を日本が主張する。それにも拘らず、理事會は支那の附託を受理する事が出來るか」さの法理論を持ち出した。此點は吾人も曾つて論じた所である。これに對して、英國其他の代表の反駁が出て、各代表の間に意見を異にする場合には、これを纏める法律的方法がない。そこでボンクール議長は一歩を讓つて、此の法理論の決定は、後日に讓る事さ爲し、現在の處置に第十五條第一項だけを適用する事にしたい、此旨を佐藤代表から日本政府に報告されたしさ申し出でた。察するに「支那が其規約上の權利を行使した以上、これを無視するわけには行かぬ。何さかしなければならぬが、それには調査委員を設けて、先づ事實如何を知る事に着手するより外には、理事會さして採る可き方法はないではないか」さいふのであらう。佐藤代表はこれを容れたさ通信は傳へてゐる。

◇

思ふに、議長の意思は、これによりて必ずしも、第十五條に據る審理を進めたさいふわけではない。若し其第二項を引用して、双方に陳述書さ事實報告書の提出を要求するならば、第十五條を全然適用する事になつた譯だが、さうではないさいふのであらう。この見方よりすれば十五條を適用したのか、しないのか、曖昧の狀態にある。或は半適用さもいふ可き狀態になつて居る。併しながら、我國の立場からは、半分でも一部でも適用する事を承認してはならない一部適用の意、でなくして、事實を調査するさいふならば其委員會を認めてもよい。我佐藤代表は、此點を明白に留保したであらうさ思はるゝが、聊にても不用意の點あれば、有耶無耶の中に、第十五條の適用に引込まれる虞がある。

多門師團の全部隊に愈よ出動の命令下る
疾風迅雷的に北進せん

多門○團長は疾風迅雷的にハルビンへ進撃すべく司令部衛兵を除く全部に出動命令を下し、長春市の內外に亘りトラック、バスその他の車輛を極力徴發し先發隊は午後四時出發した【長春電話】

剿匪軍哈市に迫る
孫家屯附近で敵と對峙

吉林剿匪軍の主力は卅日依然さして阿城附近にありその一部は更に前進しハルビン東方約四里の孫家屯附近にあつて反吉林軍さ相對峙してゐる【奉天電話】

長春に待機の部隊きのふ午後進發す
軍需品も同時に輸送

長春において待機中の第○師團は軍需品輸送のために長春において三十一日午前十時から馬車自動車の強制徴發をなし午後一時に馬車七十臺、自動車二十數臺を得たので馬車は直に長春驛構內貨物フオームに入れて軍需品の積込みを爲し自動車は第○聯隊の兵員を乘せ午後四時ハルビン方面へ向けて出發させるこさゝなつた【長春電話】

我軍の輸送を應諾
東支鐵管理局より通告

三十日午後八時半ハルビン特務機關より長春鐵道事務所に達した情報によれば、中東鐵路管理局は遂に皇軍の輸送に應ずるこさゝなり局長は同夜發南下した【奉天電話】

後續部隊到着を待ち北進

【双城堡三十一日發】双城堡に集結の丁超軍は三十日漸次後退を開始しハルビンを距る南方二里のイシテンダンスキー附近を中心に東北に陣を張りその數約五千の護路軍と反吉林、反黑龍軍が集結されあり、日本軍は一歩もハルビンの周圍に近づけずさ豪語し同地を死守してゐる、皇軍は三十一日ハルビン入城を見合せ、當分英氣を養ひ後方より第○師團後續部隊の集結を待つに決した、尚敵が治安を攪亂するならば斷乎膺戒の決心を持し待機中

双城堡衝突を發表

軍司令部發表、わが軍の先頭部隊はハルビンに向ひ前進中處々鐵道線路破壞せられためにわが軍は止むなく卅日双城堡に宿泊するこさゝなつた、卅一日趙毅の指揮する步兵第二旅兵力二千五百（野砲數門を有す）より攻撃を受けたのでわが軍は直にこれに應戰した、この戰闘は相當猛烈を極め敵に大なる損害を與へ北方に撃退した、その後わが軍は一部を以て進撃しつゝあるが敵は五百の死體を遺棄し退却にあたり收容せる者多數あるやうである、わが損害、戰死者下士官以下十二名、戰傷者村上少尉以下三十五名を出した【奉天電話】

司令部發表の状況

第○師團司令部三十一日發表、
一、東支南部線双城堡驛附近においてわが軍は支那正規兵三千（多くは騎馬兵）の襲撃を受け約二時間に亘り交戰したのち敵を北方に撃退せり、この戰闘においてわが軍は下士以下十四戰死、負傷者將校二十を出す、敵は戰場に約五百の死體を遺棄せり
一、本朝、長春を出發せる高野中尉、林軍曹の操縱する偵察機は正午ごろ、蔡家溝附近において敵の射撃を受け不時着陸せしも機體その他異狀なし
一、敵は依然さして東支沿線にあり、頻りに鐵道線路を妨害しつゝあるため、わが軍のハルビン入城は今のところ不明【長春電話】

双城堡負傷者長春に送還

長谷部○團を双城堡驛に下ろした空車は直に長春に引返すこさゝなり歩兵○個小隊、機關銃○挺が掩護の下に双城堡を出發長春へ向つたが同驛南方四キロの地點に於て有力なる敵の攻撃を受け止むなく午後零時半一旦双城堡に引返したこのため更に步○個中隊、重機關銃○挺、山砲○門を增加し再び双城堡驛を出發せしめた、尚双城堡の激戰における負傷者は右空車に乘せて長春に送還し來る筈【長春電話】

營口駐屯部隊長春へ出動

營口駐屯の第○○聯隊は三十日長春に向け出動した、當地には一個○隊が殘留してゐる【營口電話】

遼陽部隊續々北行

遼陽縣方面に匪賊討伐に出動中であつた奉天步兵第○○聯隊の名倉大隊は三十一日遼陽に歸着、同日午後六時發臨時列車で奉天に集結の上北方に出動の豫定、又遼陽步兵○○聯隊の小園江大隊は三十日夜城西より歸遼更に三十一日午後八時發臨時列車で北方へ出動した【遼陽電話】

天野○團部隊北行

チチハル方面に在つた天野○團に屬する○○隊全部は四洮線を經て公主嶺に歸着、卅一日夜中に長春に到着、北行するため既に公主嶺から輸送開始された【公主嶺電話】

長哈間の電信電話不通

ハルビン長春間の電信電話全部午前七時より不通さなりハルビンの狀態懸念されてゐる【長春電話】

上空の自然を觀る
地上とは全で別な風速、恐しい酷寒
奉天觀測所の苦心

毎朝零下十何度の屋外で風船玉さ氣象經緯儀さ睨みつこして奉天觀測所の上層觀測、五分、十分、三十分、五十分風船玉は風に流され一分間百米の速さでグン〳〵舞ひ上り正に五千米の上空にある

◇

奉天觀測所では嘗て上層觀測を計畫中であつたが航空路の開設さ共に氣流の測定必要に迫られ軍部の依賴を受け去月十七日より大連觀測所及飛行隊の應援を得て上層觀測に不眠不休の努力を續けてゐる

◇

直徑三尺ある大きな赤い風船玉は水素で滿たされ氣象經緯儀のグラスに眼をそゝがれるかさ思つたらその風船玉は手放され上空するその移動の加減によつて上層の氣流が測定されるのである

◇

この風船玉は一分間に百米宛青天に上昇するさして十分間に千米、五十分間に五千米……大連あたりでは二萬米上空まで風船玉が見られ上層の觀測が出來たさいふことであるが奉天は煤煙の氷雲で十分見られず上空觀測の記錄は僅に五千米である

◇

上述の如く空中の色々な障害物に遮斷されて十分な觀測は出來ないが觀測人はこの氣象經緯儀さ寸時も離れず刻々變る氣流の早さを測定して記帳する、その苦心は想像以上である

◇

今までの調査によれば滿洲は一帶で好晴多く地勢の關係上氣象は極めて單純であるかのやうに考へられてゐたが上層の氣流は地上に比して非常に變化の多いこさが判つた、卽ち地上は五、六米の風速であるが五百米上空さなれば四十米の風速があり地上は南風であつても上層は強い北風が吹いてゐるなど今迄知られなかつた事實である

◇

又耐寒飛行も色々云はれてゐるが滿洲の上空は百米突上る毎に氣溫は○・五度下る故に千米突さなれば五度降り一萬米突に達すれば五十度下る譯で若し地上が零下十度であれば千米突上空は零下十五度一萬米突上空は零下六十度さいふ驚くべき寒さゝなつて來る、この寒氣さ戰つて上空を飛翔する飛行士の努力も亦想像以上である

◇

奉天觀測所にては右の如く上層觀測終了後軍部、飛行隊などにその情況を報告する外毎日朝鮮、蒙古、北支那、內地一帶各地に亘る氣象實況報告を蒐集し天氣圖を作成し直に軍部その他必要な箇所に配布する

◇

滿洲における氣象觀測は單に航空に必要なるのみならず雨量の分布氣溫の配置、氣溫、氣流等直接滿蒙開發、產業の增進に關係ある點から考へても一層之が必要さなつてゐるこさは明かなこさである【寫眞は上層觀測に取掛つた剎那風船玉を手放した處】

聯盟の支那調査委員氏名と略歷

國際聯盟の對支調査委員一行は三月上旬橫濱に到着の筈であるが委員氏名並に略歷は左の如くである

▲ピクタア・アレキサンダー・ジヨージ・ロバート・リツトン伯爵（イギリス）

一八七六年の生れで一九一六年より一九一九年に至る間イギリス海軍省參與官及び政務次官等に歷任し一九二〇年インド省事務次官に任じ、一九二二年より一九二七年迄ベンゴール州總督であつた、その內一九二五年インド總督代理だつたこさがある、第七回及び第八回國際聯盟總會にはインド首席全權さして又第十二回總會にはイギリス第二全權さして出席した、現にイギリス國樞密顧問官で各種の會社に關係してゐる

▲アンリー・エヅアール・クローデル將軍（フランス）

一八七一年の生れサンシール陸軍大學校卒業後各地師團長、軍團長に歷任し大戰前支那駐屯軍參謀長さして支那に勤務したこさがある大戰の初期にはフランス戰場に於て旅團長及び師團長さして轉戰し大戰の末期には近東戰場において軍團長さして戰功を立てた、又佛領インド支那軍司令官さして同地に勤務したこさがある、目下は植民地防禦委員會議長、軍事參議官植民部隊兵監の職に就き同時に軍縮會議の準備に鞅掌してゐる

▲フランク・ロス・マツコイ將軍（アメリカ）

一八七四年の生れで陸軍大學校卒業後アメリカ軍のキユーバ占領以來ウッド將軍の片腕さなり、帷幄の機務に參畫し、後（一九二八年）或はニカラグア動亂の際大統領クーリッヂ氏からニカラグア大統領選擧の監視を命ぜられ、或は（一九二九年）ボリヴイア、パラグアイ間の紛爭解決調停委員會議長に擧げられ、大いに政治的手腕を認められた、その功によりアメリカ國議會は一九三〇年特に拔擢進級を大統領に進言した結果少將に任命された、同將軍は嘗てウッド特使來朝の際その陸軍隨員さして渡日し、日本軍隊其の他を視察したこさがある

▲ハインリツヒ・シユネー博士（ドイツ）

植民政策家にして一九二一年ドイツ領東部アフリカ總督さなり歐洲大戰中も在任した、現今は人民黨代議士さして在外ドイツ人同盟の委員長である

▲ルイジ・マレスコツテイ・アルドロヴアンデイ伯爵（イタリー）

一八七六年の生で一九〇〇年外交官生活に入り大戰中オーストリア駐在大使館に在勤しパリ平和會議中四頭會議におけるイタリー國側書記官であつた、後ソフイア、カイロ駐在公使、ブエノスアイレス駐在大使に歷任し一九二六年ドイツ駐在大使に任ぜられた

軍縮會議の前途は悲觀さる
各種國際事情により

【ジユネーヴ三十一日發】開會を間近に控へた軍縮會議全權は本日を以て全部出揃ひ、六十四ケ國さなり國際都市の空には各國旗が飜へつてゐる、二月二日の開會式は午後三時三十分聯盟總會に使用する大廣間にて開かれスイス代表の歡迎辭議長の演說で始まり第一週は演說、第二週から三、四週間一般討議あり政治、陸軍、海軍、空軍、豫算各委員會に分割討議開始の筈、なほロシア、ドイツ、イタリー等の難關あり四月には佛國の國內問題や四月十二日から國際勞働會議を控へてゐるので、三月廿七日から復活祭を機會に三週間位中休みする事さなる模樣、日支問題の惡化や世界的不安の眞最中の開會さて會議の結果は多大の注意を惹いてゐるが、結局ロンドン條約の滿期日迄三年間軍備休日さいふやうな程度の御土產位が關の山だらうさ觀られ悲觀されてゐる

軍縮會議延期協議

【ジユネーヴ三十日發】當地にある各國代表は日支問題討議中の理事會を更に數日間これが討議を延長繼續せしめんがため二月二日開會の軍縮會議は議長ヘンダーソン氏の開會の辭のみで一先づ打切り暫く會議の繼續を延期するこさゝすべき件を目下寄々協議中である

安東驛保稅倉庫海關當局認めず

安東海關は安東驛における保稅倉庫を認めない旨を滿鐵側へ傳へた右は安東驛は形式上保稅倉庫がないから、さいふにあるらしいが、右による時は一應安東驛に輸入し再輸出する時は輸入稅及び輸出稅を徴收されるこさゝなるので安東商人の受くる打撃は甚大なるものがありセンセーションを起してゐる、右につき滿鐵側では實情調査さ對策考究中【安東電話】

園公の意見悉く同感
內田滿鐵總裁談

【東京特電三十日發】興津坐漁莊の西園寺老公を訪問した內田滿鐵總裁は今夜六時四十分新橋驛着列車で歸京した、驛頭には大淵支社長その他多數の出迎へあり、總裁は驛長室において大淵支社長より滿鐵本社の情報、上海の情報等重要事項の報告を受け、非常な元氣で西大久保の自邸に向つた、これより先內田總裁は車中にて語る

今朝久振りで西園寺老公さ會見したが老公は少々咽喉を痛めてをられたが頗る御元氣で色々さ話された、自分は主さして滿鐵の現狀について報告したが老公は何でもちやんと承知し要所々々をすかさず質問された、その頭の聰明さには自分も大いに驚嘆した、老公さしては隨分打解けた話をされたがその內容はこゝで話すわけに行かない、しかし國家の元老さして老公の考へになつてゐるこさは吾々の心より共鳴する所である、老公は特に滿洲出動軍の日夜たゆまざる勞苦に對し絶大なる感謝を述べられて居つた

御總裁は差支へなき限り來月三日午後九時二十五分東京驛發歸任の豫定である

人事

▲高木義枝氏（日本國防新聞社長）三十一日出帆のはるびん丸にて歸阪
▲岡田猛馬氏（滿洲青年聯盟理事）同上
▲上田中學軍隊慰問團一行四名同上歸國
▲高見三吉氏（大阪商船支店長）上阪中の處一日入港のうらる丸にて歸連の筈

大觀小觀

▲菅原通敬氏（東拓總裁）卅一日發急行にて陸路　國の途に

こんどは支那側で自衛權の發動だの、正當防衛だの言ひ出す▲それればかりでなく「餓死せんより玉碎を期せ」だの「犧牲の精神を發揮して國難に當れ」だの▲言ふことばかりは相變らず正當らしく且つ悲壯そのものであるが▲實は向天吐唾の行動、今更悲鳴を擧げるのは見苦しい▲英米が日本に抗議らしいものを出す、だがあんな抗議は日本側の受領すべき筋合ではない▲何時日本軍が英米人の生命財產を脅かした？又脅かさうさしてゐる？▲既に米人を傷け英軍に攻撃を加へたものは支那側であり、便衣隊そのもの、行動ではないか▲支那側には抗議せず日本側に抗議する、ソンな理由は何處にも發見されない▲だからあれは抗議らしくあつても抗議ではあるまい、若し抗議のつもりなら英米の見當違ひ嗤ふべくその偏頗は看過出來ず▲「ゴム彈さ冬木をそれて惑なうち」滿洲事件調査委員會の外に上海事件調査委員會さいふのが出來る▲今に天津事件調査委員會だの、南京事件調査委員會だの、北平事件調査委員會だの、いふのも出來るか知れない▲何處やらの國には四百餘病にもない「調査病」さいふのがある▲無力を糊塗したり、責任逃れには以て來いの病狀ださうな▲それで調査々々で一年、半年過ごして見るがよい、規約第十五條の適用なんて問題は何處やらにフッ飛んで了ふ▲相川、仙波、岡田氏などの滿洲入ドシ〳〵立候補▲見ン事中原の鹿を射當てたら之等滿洲選出？代議士連を糾合して一ッ滿洲黨でも組織するこさだ▲「一蓋際れば新芽も見ゆる室の餅」

本日廳報及廳報附錄を添ふ

門對などを利用し新國家の精神鼓吹

四十萬部を印刷し各地に配布 自治指導部の試み

滿蒙新國家建設の事業は着々その基礎を固め于沖漢氏を首班とする自治指導部は連絡課宣傳員が先頭となり大童となつて活動を續け既に奉天省内三十縣に指導員が配置され建設へ建設へと新興の叫びは東北三千萬の民衆を目ざめさせてゐる、自治指導部はこれがために「東北四省三千萬民衆に告ぐるの書」及び「自治指導部布告第一號」二十萬部を印刷して各地方に配布したが更に舊正に一般支那人が門や扉に貼りつける風習となつてゐる門對及び横幅を利用して新國家建設、諸民族融合の氣運を鼓吹することゝなり于沖漢氏自ら筆をとつて

東北同胞與東亞民族聯絡一致
列擧新政採列國文明協和萬邦
浩蕩春恩(横幅)

と達筆を揮ひ之を四十萬部印刷して二月四日各地一齊に民家に配りて舊正にはそれぞれ人家の入口に貼りつけさせることゝなつた、右門對は自治指導部の關係してゐる三十縣を始め便宜ある所はそれぞれ各戸四部宛位の見當で配り吉林省、黑龍江省、熱河の一部、手の屆かない所には旅客機で上空から撒布すると

國家一心一德
融和東亞民族共存共榮

匪賊、橋梁を毀し打通線運轉不能

電信も一切不通となる

匪賊の横行盛んなる打通線十河堡泡子間における第四十一號橋梁は第七百四號列車通過後匪賊の爲め破壞され運轉不能に陥つた、又電信一切不通の爲め詳細不明であるが電信電話の被害も甚大なるべく泡子附近は匪賊の掠奪を受け同地住民は打虎山に引揚げた、尚列車は新立屯より打虎山に折り返し運轉中にて奉山鐵路局では直に橋梁修理員を現場に急行せしめた【奉天電話】

一萬五千の匪賊 溝帮子襲撃

我軍先發隊を撃退

【溝帮子三十一日發】三十一日夜匪賊は當地の電線を切斷したため市中は全く暗黑化したこれを機に匪賊五頭目聯合の匪賊團一萬五千は溝帮子襲撃を企てつゝあり、當地わが○○司令部は俄然緊張し軍事郵便局を○中隊宿舍に移しこれに備へつゝあつたが、三十一日午前零時匪賊先發隊二百は溝帮子驛西南五百米の地點に來襲我軍これを邀撃し交戰三十分にして撃退したが市民の不安去らず我軍も警戒を嚴にしてこれに備へつゝある

大石橋警察隊 剿匪情報

大石橋から匪賊討伐に向つた警察隊との連絡は電信電話不通のため鳩便によつて行つてゐるが、その齎らした情報によれば

一、卅一日午前十時四十分大石橋警察討伐隊は土城子に到着林岩木の兩隊は後柳河子にて前進中匪總秦村長宅に目下五十名の馬賊幹部賣食中との情報により卽刻前進中

二、交界臺は目下大火災中、午後一時五十分老水園に警察隊到着賊は西方に向け逃走す

三、午後一時五十分ごろ坪總寨に向ひたる警部補の一隊は敵の八十騎より成る主力部隊と交戰これを撃退す

四、午後四時十分小花園の匪賊二十名西方丁家橋方面に逃走せるを以て目下警察隊追撃中この匪賊の頭目は九勝野龍の合流騎馬隊にして耿庄子方面に暴威を振ひたる匪賊なるもの、如し【大石橋電話】

龍口邦人から恤兵金

龍口在留日本人有志は滿洲において同胞保護のため身命を賭してゐる皇軍將士をねぎらふ爲め恤兵金として金四十八圓を集め二十九日右代表として山下丸機關長佐伯廣雄氏が託されて本社を訪問依頼したので本社は直に其手續をとつた

旅順部隊一部營口へ

旅順歩兵第○○聯隊殘留部隊○○名は三十一日午後八時二十分發列車にて星野大尉引率營口へ向け出發したので大連、旅順間の警備は旅順重砲兵大隊が當ると

沒收の貯金 一萬五千五百圓

折角郵便貯金をしながら十ケ年間も預入も拂出もせず且つ通帳も提出せず捨置いた爲め昭和六年度中に沒收され國庫の所有に歸したものが滿洲だけで四千三百十六人この金額一萬五千五百圓六十七錢の多額に上つてゐる

『男は土嚢作り ダンサーも看護婦』

上海邦人の目ざましい活動

卅一日午後一時上海事變の第一報をもたらして大連丸が入港したが當時の模様につき岡事務長は語る

本船は廿九日朝上海を出帆したが廿八日午前四時頃上海では戒嚴令を布くから居留民は皆二週間分の食料を用意せよとの命で俄かに緊張した、私共はさうとう廿九日の明方まで一睡もしなかつた、陸戰隊が堂々隊伍を組んで租界のアイシス映畫館前を行進するのを見た瞬間、屋上から便衣隊が一齊に陸戰隊に射撃するのを目撃した、頭から彈丸を浴びせかけられたので重傷をなかなり出した樣であつた、負傷兵は皆桃山ダンスホール、ブルーバードなどに收容したが、これ等歡樂の場所は一面の血の海となり實に凄惨な有樣であつた、平常華やかな生活をしてゐるダンサー達も甲斐々々しくもわが看護婦となり負傷兵を看護する樣は實に國難の際の大和魂を見はせ在留邦人二千五百人の赤心を現はしたものと思つた、明け方四時半頃能登呂から海軍機が五臺市街上空を飛ぶのを見たが、闇の市街上空を飛ぶ爆音は氣味惡い程で居留邦人も男子は皆土嚢作りに、婦人連も後部の仕事に努めてをりました

增加した不渡手形

惡辣な高利貸の跋扈も一原因 この頃は毎日二三件

舊正を控へて手形交換所における不渡手形の發見は毎日二、三件に達するといふ未曾有の現象を呈してゐるが、この原因は不況の然らしむる結果つい**無理算段**をやるからだとばかり簡單に片づけられない理由が、その陰に潜んでゐる、卽ち不況の深刻化するにつれて跋扈する惡辣な高利貸の奸策がより財界の不況を増長させあらゆる方面を毒しつゝあることが看取される、最近大連地方法院に提出される民事訴訟、警察に出された告訴狀のうちに非社會的存在たる惡辣な高利貸を呪ふ怨嗟の聲が放たれこれが取締を要望する向きが多い、各階級をいためつけてゐる**高利貸の**惡辣振りの好例として最近連鎖街のある商店が年末決濟資金として某知名士に懐ろを打明け六百五十圓の先附小切手を借り受け、これを三河町某高利金融業者で割引をなして年の瀬を越した、小切手の日附は一月十五日で借用期間は三十日足らずであつたが利息は驚くべき百三十圓の天引で年利**十二割に**當る、そこで十五日の期限に至り、僅か一日の支拂猶豫を乞ふたが、遂に容れられず手形交換に廻され不渡を發表されるに至つた、然し右小切手は一時間程遅れて入金されたから結局綺麗に期日に決濟された譯だが斯かる高利を貪りながら一日の猶豫も肯かず、不渡りに陥れ、信用を傷けてまで回收する凄い遣り方には人知れず泣かされてゐる者が多い、なほ**慣用手段**として用ひられてゐる例は

一、貸出に當り小切手額面だけの預り書をとり無智な人達をして不渡の場合は刑事問題になるが如く錯覺を起さしめる

一、手形交換の時間ギリギリまで貸出を引延し否應なしに暴利でも辛抱せねば仕方がない破目に陥れて不當な搾取を行ふ

等である

實包射撃大會

來る二月四、五日兩日軍艦出雲、八雲兩乘組員は陸軍射撃場に於て實包射撃大會を開催する由

愛次郎捕はる

【横濱三十一日發】市内根岸の自宅にて外務書記生村田愛次郎妻ドイツ人オルガーフローレルが絞殺死體として發見された事は既報の通りだが、刑事課では犯人は愛次郎と睨み搜査中今曉大森不入斗待合に潛伏中を發見した目下取調中

娘子軍が押寄せ

錦州の我警官取締に困り 奉天署へ喰止めよと通知

我軍の錦州入城以來同地方は漸次治安回復し商民は何れも業務に安んじ舊態に復しつゝあるが、最近同地を目指して娘子軍の進出は夥だしく料理店は殷賑を極めてゐる流石の駐在警官も洪水の如く進出して來る娘子軍の處置に頭を惱ましつゝある模様で、三十日同地警官駐在所宇和田巡査より奉天警察署宛

錦州を目指し娘子軍の進出多くこれが取締りに困り居り既に許可したる料理店に赴く女の外一切奉天にて阻止されたし

といふ珍電報が到着したが、受取つた奉天署保安係もこればかりは如何とも阻止の方法なしとて目下鳩首對策に餘念がない【奉天電話】

二十四校參加し妙技を競ふ

小學生氷上大會成績

全滿小學校兒童氷上大會は三十一日午前九時より開催された、この日は晴れ渡る寒空に微風だになく絶好のスケート日和、定刻奉天春日校前田主任幹事の開會の辭あり直に競技に移つたが觀衆は千數百參加校二十四校にして五組に分ち行はれた、各組の優勝はA組安東大和、B組安東朝日、C組本溪湖、D組開原、E組奉天敷島校などにして十二時過ぎ盛況裡に閉會した因に各組の得點は左の如し

A組 永安二二(撫順)大和二四(安東)彌生一〇(奉天)鞍山五、春日一六(奉天)
B組 室町二〇(長春)千金九(撫順)附屬一一(奉天)朝日二一(安東)遼陽一六
C組 西廣場二〇(大連)四平街一五、鐵嶺一二、本溪湖二五、營口五
D組 加茂一一(奉天)大石橋二一開原二六、公主嶺一〇、新屯九
E組 敷島二五(奉天)吉林一一、海城二四、連山關一〇

初ての試みで興味をそゝつた

年齢別卓球大會成績

滿洲體育團體聯盟後援滿洲卓球協會主催恤兵資金募集の年齢別卓球大會は三十一日午前十時より青年會、朝日、南山麓兩小學校、土佐町公學堂の四體育場において開催總參加人員二百五十餘名と云ふ大連始めての大多數の參加者あり、又最初の試みたる年齢別の大會とて果して何人が優勝するか優勝戰になるまで全くその豫想を許さず觀衆齊しく興味を以て各ゲーム毎に拍手聲援を興へる、かくて午後三時半全ゲームを終了したが優勝戰の戰績左の如し

▲二十歳以下 田崎 3—1 若本
▲二十一歳以上二十五歳迄 沖原 3—1 和泉
▲二十六歳以上三十歳迄 森口 3—0 件
▲三十一歳以上三十五歳迄 加藤 3—0 中井
▲三十六歳以上四十歳迄 八木 3—0 谷本
▲四十才以上 今永 3—2 田中
▲選手 河田 3—0 山田
▲女子 大野 3—0 富永
▲初等學校職員 駿村 3—2 渡邊
▲中等學校職員(團體リーグ戰) A組 大連商業 B組 大連一中

世界競技に送つた我滿洲が誇る氷上使節(下)

彼女は東へ東へ

氷川丸にて 河村泰男

クリスマス

▼…デコレーションの下に一同七面鳥の美味を味はひ、クリスマスの夕を愉快に過ごす可く想像してゐたのに、この時化のため、クリスマス、イヴニングは全くオジヤンになつてしまつた。奉天に待つてゐる友への土産話が一つ減つた樣な氣がする、これでもう第二の僕の豫期は裏切られてしまつた。怒濤の中に浮ぶ船と僕等は「クルシミマス」の夜を送つたのだ、唯ベッドにころがつてボーイから頂いた可愛らしいクリスマスカードを見つめてゐるより仕方が無い。

▼…紅い着物の中から眞白い眉毛と長いお鬚を動かしながら、ニコニコと笑ふサンタクロースのお爺さんもこの荒海に漂ふお船に來ては下さらないのかしらん、そのやさしい姿を幼少の頭の記憶から呼起し、日曜學校で歌つたクリスマスの歌を一人寂しく唄ひ始めた。

この良き日を聖き日を
歌へ友よいざ歌へ
津々浦々の極まで
祝はぬ人あるべきか
樂しきかなクリスマス
くすしきかなクリスマス

▼…物すごい時化のため此のモーター船は二十六日の正午北海道の遙く南、まだ北緯四〇度の位置に達してゐなかつた、後で分つたことだつたがこの北太平洋の航路は冬のシーズン必ず時化ることに極まつてゐるさ。何の不幸か僕等はそれを選んだやうなものだ、キャビンのガラ空を見ても分る。なほ向ふ十數日間の我等の航海はいやでも荒れ狂ふ大海原を通らねばならない。腹の中に悲鳴をあげてしまつた。僕は今この永い航海が全くいやだと云ひたいが、幸ひに波の靜かな時に通つた人達はキット北太平洋のこのコースを讃稱するであらうけれども。

▼…忙しいボイさんをつかまへ、乘つてゐる氷川丸について熱心に尋ねて、少しでも安心したいのだ次はその項目である。

總噸數一一六〇〇噸、速力一八ノット、全長五三六呎、幅六六呎、主機關丁抹バーマイスターエンド・ウエーン複働四衝式八氣筒デイゼル機二基、旅客定員合計二八六名昭和五年四月二十五日の竣成で第九次のシヤトル航路を今進んでゐる新客船だ。新しい船は大丈夫とは云へぬらしい。決して船舶は沈む樣には出來てゐないと自信を持つてゐる者達でもこの時化には痛ましい程神經を尖らすことに違ひない、カムチャッカ半島南に來た。廿七日頃は靜まり珍しく低く太陽が照り甲板に出て寫眞、デッキゴルフ、輪投等をする者が一人づゝ增して來た

第二の嵐

▼…昭和六年の歳晩廿九日(火)夕方、前方に低氣壓の出現が船内に報告され、丸窓の鐵戸は總て堅く閉められた、大山の如き怒濤に左舷右舷にと傾いて行く、冷汗の流れる恐ろしいローリングは再三あつた、最大レコードは左傾三〇度強さか、太平洋の眞ん中から、うねつて來る巨浪が本船にぶツつかるので特に積荷の少い氷川丸は問題にならなかつた。

▼…翌三十日正午に本船は北緯四八度東經一七五度にあつた、そしてその夜一八〇度をパスし翌日の正午は北緯四九度半、西經一七三度に達してゐたが其の日もやはり十二月卅日と人間の暦の上に呼ばなければならない、つまり卅日の水曜日がダブツたのだ。この第二の卅日にはアリユーシヤン群島の近くを左舷に走つた、鷗の一種數羽の海鳥が強い翼で船を追つかけて來た。

SOS玉穗丸

▼…この洋上の大嵐が本船は勿論航海中の多くの汽船を惱まし危險に導いた、遂にS・O・Sの電波を本船は受けた、舵を失つた玉穗丸(中外商船)の遭難である。直に救助に赴かんとした氷川丸も一度は暗の洋上に驀進したが巨浪は無慘にも進路を塞いだ、我が友の遭難を知りつゝ本船は猛烈なローリングにヤツト九浬の時速に甘んじなければならなかつたのだ。玉穗丸(六七八六噸)はその後救援に赴いた麗洋丸に曳行され、八十哩の疾風をつき横濱に航行中船體遂に絶望、乘組員四十二名は一月一日午後四時全部麗洋丸に收容され船體は東經一七九度五〇分、北緯四十九度十五分の海上に遺棄され「麗洋丸は目下横濱に航行中」とラヂオで知つた。

甲板上で遙拜

▼…海は三十一日以後殆ど凪いで大晦日の夕餐は年越そばに舌を打つた、陸の人々は今宵どんなにか多忙なタイムを費してゐるか知れ無いのに船中の僕等はラウンジに集つて與太話を飛ばし夜遲く睡つた、昭和七年元旦……新玉の年は嵩々しい洋上に迎へられた、午前八時乘組員及船客一同廣いAデッキに集合し、懷しい故國を西方に遙拜し、秋吉船長の聲に天皇陛下萬歳を三唱した、純日本風のお正月をこの船中に味はふことの出來たのは有難いことだ、元日正午本船は北緯五〇度二九分、西經一五三度五三分にあり、船出した横濱の港は遠く三〇一八浬の彼方に去つた、ウキリアムヘッドまで一一七七浬だ、氷川丸は一六浬の時速を以て米大陸指して波を蹴り行く、僕等は氷のレーク・ブラシッドが戀しくてならない。

▼…デッキの上から大海原を眺め、僕も二度まで銃を取つて警備についた奉天を思ひ、匪賊の去らぬ滿洲の平和を祈らずには居られなくなつた、父母よ、友よ、滿洲のスケーターよと心の中に叫んでキャビンへ歸つた、バンクーバー着は四日の夕方になる(をはり)

滿洲事情は多少知つてゐる

仕事をするには好都合だ 日下新内務局長語る

關東廳内務局長に榮進の日下辰太氏は次の如く語つた

今後共よろしく御願ひします、後任者の事は未だ決つてゐない第一その人くりをどうするかといふことである、ア、大體僕を拔擢したといふことは恐らく先づ少しくらゐ總ての事情を知つてゐるといふ意味の長官の意見からだと思ふ、從つて各方面へも懇意であり又連絡があるから役所内でも同様だと思つてゐる

要するにこの重大時期において滿蒙の事情にうとい内地から人を持つて來るといふことも一寸困るだらう、よつてその責任も頗る重大であるから各方面ともよろしく御後援を願ひたい譯である、將來の人事についても豫報の如く發令されたとすれば先に述べた通り當地の事情にうとい内地から任命するといふ弊をなるべく除くといふことになると思はれる(寫眞は日下氏の庭家)

安樂椅子

「女天下」の末路を餘りにも無殘な血で彩つた市内伊勢町の飲食店昭和亭に近頃夜毎に死んだ女將の亡靈が現はれるといふ獵奇的な噂がパツと擴がり、界隈の評判となつてゐたが、三十日死んだ女將からさんざんいぢめ拔かれたといふ内縁の夫山本長三郎さんが大連署保安係に出頭し、昭和亭の名義を萬歳亭に變更したいと願出た。

……◇……

そこで藤井保安主任がどうして名義變更をするんだと理由を質すと長三郎さん暫く躊躇して「どうも近ごろ變なことがありまして……」と次のやうな怪談めいた話をした。

……◇……

人の噂も七十五日といふことがあるので「昭和亭慘劇」なんて血なまぐさい印象は何時とはなしに世間の人の頭から薄らぐものと思ひ名義を變へろと勸める人もあつたが、今日まで昭和亭で突ッ張つて來ました、ところが最近私の枕元へ死んだ家内が現れたり、家の中に奇妙なことが多いので、或神樣に看て貰ひましたところ死んだ家内が「濟まなかつた」といつて私に詫に來るのだといふことでした、そこで神主さんを呼んで、お祓りしてやり家内の靈を慰めてやりましたが、この機會に——總ての因縁を絶つ意味で——萬歳亭と家號の變更をする氣持になつたのです。

……◇……

不氣味な話を聽いた藤井保安主任、何とも云はずに許可の印をペタリと押してやつた。

大連署で自動車運轉手募集

大連警察署では今回急遽自動車運轉手約百名を募集することゝなつたが希望者は履歴書二通持參一日午前中に大連署保安係に申出でられたいと

密獵者にお灸

三十一日午後一時海務局檢疫船が港外着の大連丸に出向く途中禁獵區域の港外石油棧橋附近にて舢舨二艘にて遊獵中のものを發見、直に取押へたが、水上署にて取調べたところ右は山縣通一五八海運業篠田信隆(四三)及び市内日之出町八番地一三滿鐵社員池田力(三三)で篠田は鴨五羽、池田は鴨一羽を獲つてゐたが何れも港則違反で科料處分にせられた

新興力士團は復歸せず

【東京三十一日發】新興力士團は卅日午後四時床次鐵相を訪ひ對國技會との感情融和の斡旋方依頼する筈だつたが別項の經緯を知り遂にこれを中止し協議の結果絶對に復歸せずと申合せた

鐵相乘出すか

【東京三十一日發】床次鐵相は相撲協會幹部を招致し事情を聽取した解決に乘出すとも觀られてゐる

殘留組春場所 更に遲れん

【東京卅一日發】大日本協會は最後の手段として床次鐵相に調停を依頼したが新興力士團の態度強硬で遂に見込み立たず玉錦武藏山の殘留組で兎も角蓋を明ける事になつたが四日の初日は更に數日延期する事となつた

滿日各地版

關東軍衛生隊 第二班の活動振 各方面で絶大の成績

興城施療班は支那人民の民意を尊重し眞の日支共存共榮の實をあぐる目的の下に井上小隊長並に佐藤軍醫に指揮され本月十三日奉天を出發、大凌河を振出しに最も危險地たる綏中に向はんとしてゐる、大凌河における施療の患者は二日間において約百名を算し午前九時より午後四時までの間は晝食の暇さへなき大盛況であつた越て十六日張學良第一の根據地を建設せんとしたる錦州へ向ひ翌十七日より市民一般の施療を開始するに流石は北寧線に於ける大都市大凌河の比にあらず、時間より時間迄の間に其の員數百人列をなして施療を受けた、十九日錦州を發し連山に向ふ、この地は小部落なるも胡盧島大築港地の關係上相當の殷盛を極め居り、兵匪或は馬賊の危害を受け又部落四方二三里の地點には三百乃至五六百の兵匪集り、何時同地を襲擊せんも計り難く人心恟々としてゐる同地に三日間の施療約六十名此の被害の地に於ても我が隊は市民との融合を計り非常なる好感を受けた、二十二日同地を出發し興城に向ふ、二十三日より同所に於て施療すべく大々的宣傳をなしたが、同地は錦州に次ぐ大都市にて人口約二萬、從來此の地は邦人の入城したるものがない、今回皇軍の入城を以て嚆矢とする、然るに同地の市民は邦人に對し絶大なる好感を持ち我が衛生隊入城の際は商務會は宿泊所の便を計り何にくれと至れり盡せりの配慮を受けた、第一日の施療をなすに恰も御祭り騷ぎの感あり同日の施療者其の數六十名、第二、第三と合計三百餘名、其の內匪賊の爲め打撲を受けたるもの數人あり我が衛生隊の此の擧は日支融和に貢獻する事絶大である茲に最終點たる綏中に向ふ筈である

國境で耐寒演習 龍山部隊がけふから

【安東】既報の如く龍山騎兵第二十八聯隊では二月一日から十日迄平北管內で耐寒行軍及現地戰術教育實施の筈であるが參加者は中佐一、少佐一、大尉三、中尉二、獸醫、主計、准士官各一、其他計人員二十八名馬二十八頭であるが實施の目的は幹部教育を主眼とし嚴寒時國境附近における行軍戰闘其他陣中勤務の特性を理解せしめ此等能力の向上を期すると共に國境の事情に精通せしむるにあるが其計畫は左の如し

一日龍山發午前八時四十一分新義州着二日午前中鴨綠江畔に於ける日露戰史研究及附近見學、午後一時出發義州行軍（行程十九粁）三日義州滯在現地戰術、國境守備の要領、延長物體[illegible]の要領、集成騎兵旅團の戰闘四日義州出發、清城鎭へ行軍（行程四十六粁）氷上通過の研究及行軍 朝鮮家屋により宿營勤務五日清城鎭出發昌城へ（行程四十一粁）氷上通過の研究及行軍六日午前佐々木枝隊の行動につき講話 午後一時朔州へ（行程二十粁）七日朔州出發大安洞（行程三十九粁）二十萬分の一地形圖を以つてする行軍測量圖朝鮮家屋に於る宿營勤務八日大安洞出發龜城南市へ（行程卅八粁）急行軍、未知の地形における宿營の物資徴發法、現地戰術、龜城南市附近騎兵聯隊の戰闘、九日龜城南市出發定州へ（行程二十八粁）午前行軍、午後定州戰史講話午後九時六分定州出發翌十日龍山へ歸營

氣の毒な鮮農 撫順に避難殺到 保護救助に多忙を極む

【撫順】最近撫順附屬地內に避難して來る本溪縣奧地居住の避難鮮人は毎日五十人を下らず、續々引揚げて來るので目下撫順に於けるこれ等避難民は先頭まで約千人であつたのが一躍千五百名に達し、ために撫順署、民會ではこれ等多數の避難者を收容するため已に六ケ所の避難者收容所を設け朝鮮總督府の救濟金その他によつて頼りに之が保護救濟に大童となつてゐる、而して本溪縣下には過般來大頭目鍾子臣が配下約二千五百名を擁して北は新賓營盤から南は安東還線にかけたる數十里に亘る奧地部落を荒し廻り、その暴虐振は強盜、強殺、掠奪・破壞等言語に絶するものあり、避難鮮人等はその悉くが着のみ着のまゝにて身を以て逃れ來てゐるに過ぎぬため、避難者に對しては食料は勿論着衣から支給してやらねばならぬ有樣で警察、民會等でも經費不足で弱つてゐる、尚本溪縣下は例の山谷地方であるため支那側警察隊は勿論わが守備隊警察隊等も數次飛行機の空襲應援まで受けて頭目以下の撲滅にかゝつたが、巧に山谷を利用して逃走四散しては又集結掠奪橫行するといふ工合で却々思ふ樣に討伐が出來ぬといはれてゐる

遼陽の匪賊 物品を強要

【遼陽】城西第九區老背河村（小北河東岸）に蟠居中の頭目富海は部下三百餘名を有してゐるが廿八日午後一時頃第六區魏家屯村公所に對し、麥粉五十袋・精米一石長銃彈包五千發を舊曆廿六日迄（二月二日）に立山西方煉瓦工場迄持參せよ、若し實行せざれば同村に放火掠奪すと脅迫して來たと

匪賊、家禽を引率して逃亡

【奉天】二十九日午後七時奉天鐵西奉天窯業會社第四工場苦力宿舍に四人組の匪賊侵入し、拳銃を以て夜警趙海當（四〇）を脅迫衣服二枚大洋一元、金票一圓七十錢を強奪した上念入りにも鷄七羽、家鴨二十一羽を引挙して逃走した、奉天署は先日來附屬地境界を荒し廻る匪賊の一味と見て目下嚴探中である

匪賊放火掠奪 自警團敗れ

【奉天】三十日午前四時新城子を去る北方二十支里達連屯部落に騎馬、徒歩の匪賊三百名來襲し同部落自警團と交戰四時間に及んだが遂に之を破つて部落に放火し掠奪を擅にしたので自警團より新城子派出所に救援を求めた、匪賊團の頭目は中山好、長江河の兩名で優勢な一團であるが、同午前十時半頃荷馬車十一臺に掠奪せる物品及び人質婦女子多數を積載し高坎方面に移動したため我が軍警は協力直に討伐を開始した

海城に危險迫り 人心極度に動搖 避難民の出入殺到す

【大石橋】海城南臺の第一線防禦線たる耿庄子牛莊方面は既に匪賊に蹂躙せらるゝに至り海城縣公安隊、警察偵察班の齎す情報に依れば、彼等匪賊團は舊正月前必ず海城を攻略し城內に於て新年を迎ふべしと豪語し居れるさかにて、城內一般人心極度に動搖し一流商店及富豪にして大連方面に避難するもの毎日七、八名に及び一般市民も恐怖避難準備に忙殺されてゐる孫委員長は各種方法を講じ人心の安定に腐心してゐるが、斯くの如く賊勢日に熾烈となるに及び二十九日午後三時半より地方有力者を縣公署に招集し城內外の警備最も緊要なりとして各民家より二百名の自警團を組織し、之れに附帶する銃器彈藥は縣警務處より貸與する事に決した、前記の如く大連方面に避難する者のある一方牛莊耿庄子方面各部落より城內に押し寄する者堰を切られたる濁流の如く既に萬を以て數へられ尚毎日約七八百名の避難民ありて第二收容所の必要に迫られ紅萬字會をしてその任に當らしむる事となつたと云ふが西門裡純益製糸工場內に指定すべく目下交渉中である

大甸子を襲擊 賊團合流し

【鐵嶺】當縣下鷄冠山に侵入したる頭目亞洲の一團三百騎は其後二道溝に滯留し大甸子襲擊を企圖し一方金山好の部下頭目方振國は部下五百騎、機關銃四門、馬車十一臺を率ゐて開原縣下より東方を迂廻し、廿九日鷄冠山に侵入、同地より二道溝に使者を派して亞洲と合流の交渉を進めた結果、協同動作の約成り直に大甸子襲擊を決行すべく大甸子公安分所に對し本日襲擊するにつき承知あれと脅迫し來れるが、大甸子では午後二時頃までには襲來するものと豫想し防備を固め各所の公安隊を呼合した

王景全歸順す 近く警備の任に就く

【鐵嶺】歸順を嘆願しながら武裝解除を恐れ出頭を逡巡してゐた法庫縣公安局長王景全は愈々その非を悟つてか、廿九日午後一時部下百七十五名を率ゐ白旗を立て縣城に到着、自治政府及我駐屯軍に出頭したるが稀澤少佐は懇篤なる訓示を與へて彼等を安堵せしめ、約束によつて一時武裝を解除し武器は自治國政府に保管せしめたるが改めて近日中に銃器を携帶せしめ警備の任に就かしむる筈であると

歸順した長勝の宣誓

【大石橋】二十九日午後一時より海城縣公署庭前において既報匪賊頭目長勝一派の歸順宣誓式擧行、日本側より猪苗代大石橋警察署長木津谷通譯同及び大石橋憲兵隊長、海城憲兵隊長、海城野砲第二聯隊長各代理列席した、長勝は部下廿一名及び銃器彈藥全部を帶同し、孫委員長の訓示に次ぎ長勝の歸順宣誓文の朗讀あり、續いて來賓代表猪苗代署長は左の如き訓示を與へた

匪賊頭目顧兆祥事長勝以下二十一名は本日茲に天地神明に誓ひ前非を悔い歸順の宣誓を爲す、汝等は幸ひ正義を標榜する日本軍及び支那官憲の討伐を受けざる前、眞人間と生れ代り白日の陽を仰ぐを得たるは獨り自己生命の安全を得たるのみならず地方治安に與へたる喜び又忘るべからず、邪は正に勝たず、惡の榮ゆる事なしとの古言を能く味ひ、將來滿蒙の治安維持に對し共力一致惡を滅ぼし善を補け以つて天下萬有の仍つて來る恩澤に貢獻する事に專念せざるべからず、孫委員長の訓示の如く邪を改め以つて其指揮に依り與へられたる任務遂行に渾身の努力を拂ふべき事を訓示す

次で小林指導員の挨拶あり午後二時宣誓式を終了した

城廓は取壞さず 市債も募らない 奉天城道路網建設計畫

【奉天】奉天城內の大道路網建設のため市政公所では目下城內各主幹道路の擴張を行ふと共に支線道路の設計をなし徹底的に區劃整理を行ふこととなつた、財源については市債に依らず數ケ年の繼續事業として實行に着手される筈で、一時噂された城廓取壞しは中止されそのまゝ保存し附屬地と聯絡した大道路の實現を期すこととなつた

奉天

憲兵分遣隊 班長の更迭

鐵嶺憲兵分遣隊班長田上軍曹は二十九日附を以て旅順憲兵分隊附に轉じ、後任は旅順分隊から軍曹三並精三氏に任命された

學生母國訪問 報告演說會

全滿學生母國訪問講演隊一行二十六名は多くの收穫を持つて去る二十三日歸滿したが、之が報告演說會を二月一日午後六時半より春日小學校講堂で開催し經過報告及び母國人士の滿蒙問題に對する意見を奉天市民に告げることゝなつた

撫順

炭塊

カリホルニヤ大學フーパー財團及英帝室熱帶病學會派遣員ドクター・アーサー・トランス夫妻外一名は廿九日朝來撫炭礦事務所に於て久保次長より炭礦一般に關する說明を受けたる後、病院及び市內の衛生施設を視察した▲撫順炭礦機械工場長今泉卯吉氏は本社人事課に榮轉、二十九日午前十一時五十五分發列車で家族同伴赴任したが久保次長外在撫官民有志多數の盛んなる見送りがあつた

鳳凰城

杉本氏葬儀 稀に見る盛儀

舊臘二十三日大堡において名譽の戰死を遂げたる故陸軍臨時通譯杉本貞吉氏の葬儀は既報の如く二十九日午後零時半より當地滿鐵苗圃試作場において守備隊葬として當時鳳凰城守備隊長たりし西中尉葬主となりていと懇ろにとり行はれた、祭場には正面中央の祭壇を中心として關東軍司令官、守備隊司令官、滿鐵總裁その他各方面より手向けられたる多數の花環が整頓よく飾られてある式は定刻一同着席と同時に始められ、ゆれるが如き御燈明に靜かに立昇る香煙、かれの餘韻も悲しさをそそふ、導師以下各僧の讀經の中になれば第四大隊長代理鈴木少佐を始め各團體代表者の弔辭朗讀、弔電の披露があり、續いて讀經の中に近親者より順次燒香をつとめ最後に遺族に代りて祭主西河中尉の挨拶がありて閉式したが、此日安東連山關、鷄冠山等からも多數の會葬者あり稀に見る盛儀であつた

本溪湖

御神寶來着

今回伊勢神宮より御下賜の御神寶は三十一日午後四時五十八分本溪湖驛着に付き左の順序により諸事執行の筈

一、當日各戸に國旗揭揚獻燈をなす事
一、奉迎のため各團體は驛頭に整列する
一、神社に向はせらる途中行列には警察官先驅し其他一般扈從する
一、神社御到着の上奉告祭執行
一、一般拜觀は二月一日午前九時より午後四時まで

鐵嶺

法庫縣自治會 自治縣政を開始

法庫縣自治會は去る二十四日組織されたる暫定的委員會を解散せしめ改めて正式の自治會を組織すべく三十日午後一時より委員會を開催左記委員長以下の顔觸れを定め愈々自治縣政の緒に就く筈

執行委員長兼商務處長　梁維新
同副委員長兼財務處長　王宗固
同　委員兼警務處長　關世慶
同委員兼實業處長　朱繪彬
同委員兼教育處長　李萬年

感謝祭

當地における閑院參謀總長宮殿下御就任感謝祭は三十日午後一時より小學校講堂において擧行せられ、官民多數各團體學生等參列し東京より放送されるラジオによつて參列者一同君ケ代を奉唱し、東京の式場に列する如き思ひあらしめ嚴肅を極めたが、何分にも晝間放送のことゝて雜音が入り宮殿下の御聲にもハッキリ接し得ぬ憾みがあつたが參列者は何れも襟を正して拜聽四十分にして終了した

參謀總長御就任 市民感謝大會

元帥閑院宮殿下參謀總長御就任國民感謝大會は三十日午後一時より小學校講堂に於て開會せしが參會者多數にして左記順序により擧式盛會であつた

一、大會開會を宣す
一、開會の辭
一、國歌奉唱
一、奉謝文捧讀
一、元帥閑院宮殿下萬歳奉唱
一、閉會の辭

林警務局長

林警務局長は沿線視察巡視のため二十九日六列車にて當驛通過したが、驛頭多數有志の迎送ありて後ち安東へ向ひ、更に三十日安東より引返し七列車にて當地通過北行した

安東

御就任感謝

三十日午後二時東京にて還般參謀總長に御就任の閑院元帥宮殿下に對し奉る國民感謝大會を開催したが安東では二十九日午前十一時より地方事務所會議室にて在安東有志これに關し協議した結果東京と同刻安東神社々前に於て左の順序により感謝大會を催した

諸員着席、修祓、玉串奉奠、奉謝文捧讀、參謀總長元帥閑院宮殿下萬歳、退席

討匪隊引揚

二十九日午前二時鴨綠江下流大東溝（安東西方十一里）匪賊討伐の爲め出動した安東署國武警部以下四十九名及び支那公安隊員二十名は同日午前九時同地に到着したが匪賊團四百餘名は廿八日夕六臺の馬車を徴發して大房身へ出發したとの報あり直に追跡し大房身に着するや東北方高地に匪賊の哨兵五六名を發見しこれを追跡交戰の結果一名を射殺したが、賊團は二千米突の山上にあり遠距離なれども之と交戰すること約三十分にして全く潰走せしめた最早追擊の效果なきものと認め討伐隊の一行は附近部落を捜査しつゝ大東溝に引揚げた大東溝に於ける匪賊の掠奪後を調査すれば電話器等の破壞から電柱五本切斷してゐたと

大石橋

戰歿者葬儀

二十九日午前九時半九家甸子において戰死せる大石橋獨立守備第三大隊第二中隊上等兵尾池森下土屋森谷各一等兵の遺骸は本部醫務室に安置、大隊全部及官市民の鄭重なる通夜を受けたが、二月二日盛大なる葬儀を營む筈にして本日より尾池伍長、森谷上等兵の順に茶毘に附した葬儀は大石橋時局後援會後援陸軍葬の筈、次第左の如し

△日時二月二日午後一時△場所大石橋守備隊の庭（本部前）一、一同着席二、挨拶三、僧侶讀經四、中隊長弔詞五、戰友弔詞六、司令官弔詞七、地方有志弔詞八、弔電朗讀九、燒香十、挨拶

情勢變化し 警察官緊張

南臺西方各部落を占據猖獗を逞しうせる匪賊團を掃蕩すべく同方面に出動中の我が軍が或る種の命により○○方面に引揚げ移動せるため、匪賊團は漸次又集結しつゝ我が軍の虛を衝き鐵道東に移動し背面より海城を襲擊せんとする形勢濃厚なる情報頻りに來るを以て、猪苗代署長は斷然南臺附屬地を死守すべく計畫をたて警備主力を南臺に移し、署員の過半數を增派○○砲隊をも編成し、晝夜兼行警備の完璧を期しつゝある、右に依り第一線出動中の我警察隊各位の辛酸想像の及ぶ所にあらず、一方高等係司法係及翻譯係の內勤警官は第一線よりの情報頻々として寸刻の暇さへ與へられず、夕食時署を持ちたるまゝ受話機に掛る狀態にして徹宵整理報告に文字通り忙殺されつゝある

遼陽

振興期成會 重要協議

遼陽振興期成會では二十八日午後六時半から公會堂に於て評議會を開き途て時局委員會、地方委員會と共同して軍部に對し○○設置に關する經過報告があつたのち議事に入つた、主なる協議事項左の如くである

▲蘇家屯市街地貸付に關する件、本件は遼陽機關區移轉に伴ふて遼陽在住商人中店舗開設の希望者に對して目拔の商業地區を優先的に貸付らるゝ豫定なれば輸入組合當事者をして斡旋の勞を煩はす事

▲振興策の提案數件あつたが提案者が當夜折惡しく缺席の分は次回に讓り左記小林高木兩氏提案の分は兩氏から詳細說明あり、田中會長から安達、小林、高木、大串、猿渡の五氏を詮衡委員として專門委員三名宛を擧げ調査研究する事になつたと

▲附屬地境界新堤防に杏樹を植ゑ遊覽客を招致する事

▲新築堤の爲め堀上げた溝に養魚を爲し遊覽者に釣魚せしめ又蓮[illegible]栽培すること

[illegible]附近に白塔溫泉を建設する事

[illegible]附近適當の地域に競馬場を設置年[illegible]回臨時競馬を行ふ事

附屬地に特產物專用引込線敷設の件

爆竹禁止

遼陽縣警務處では舊年末、年始の爆竹は治安の關係と舊慣習に依る浪費防止の趣旨から絶對に禁止する旨警務處長から布告したと

營口

在鄉分會長 樋口氏に決定

在鄉軍人分會は二十九日夜評議員會を開き缺員の分會長推薦の件を附議し、樋口副分會長を滿場一致にて推薦し氏は之を承諾就任した

軍隊駐屯請求

營口地方事務所では二十九日夜各方面の人々の參集を求め軍隊駐屯請願、在上海鹽澤司令官に對する感謝激勵電發信の件、全滿日本人大會に對し滿洲增兵に就き輿論の喚起に努力されたき要望の件を協議し異議なく可決直に其手續を取つた

營口附近の 馬賊團情勢

二十九日午後六時頃馬賊頭目大凌河、蔡寶山の部下約百名は大遼子溝方面から遼河を渡り、鮑家堡子方面へ南下し來るの形勢があるので、大高坎の自衛團第五分局員六十餘名はこれが討伐のため同方面に向つた、又田莊臺附近に出沒する匪賊は打一理の部下二十餘名、大賀宇の部下十餘名、三省の部下三十餘名、關東洋の部下十餘名、大老疙疸の部下二十餘名、賀山義俠の部下三十餘名併せて四百名位であるが漸次北方に向つて移動しつゝある

曙の鐘（183）

倉田潮 作　河野想多 畫

天女（一）

壯三は警察から歸つた日以來、己の部屋にばかり閉ぢこもつてゐた。

それは警察の說諭と妹の忠告の爲ばかりではなかつた。彼自身世の中の人に顔を見られるのが恥しくていやな爲もあつた。四月十五日の大山家例年の觀櫻會に今年「假面舞踏」を加へたのも「世の中を騷がせた自分の顔」を長く客人に見せておき度くないとの配慮からだつた。

來客は家につくと直更衣室に這入つて、假裝をしてから會場に現れた。壯三は主人として、初めから假裝をして出る譯にも行かなかつたが、食卓で簡單な挨拶をすると、直ピエロの假裝をして、わざと末席につき、己の席には小惡魔の扮裝をしたあけみを座らせることにした。

末席についた壯三は二列にさつしりと並んだ來客を見廻した。樣々の假裝をこらして來てゐるので、誰が誰やら解らない。が、彼は熱心にたえ子を求めてゐた。解らない假面の群衆の中に[illegible]は歸宅以來たえ子の家には行つたことがないのだつた。しかし、彼は警察と家から堅く禁じられてゐることだつた。しかし、彼は[illegible]して感じてゐた。かつてマル[illegible]爲に一層烈しい愛着をたえ子[illegible]また此の屋敷から姿をかくす[illegible]時、彼の戀を「怖ろしい運命」と呼んだことがある。實際他[illegible]見れば彼の戀は怖ろしいか[illegible]ない。が、彼には何うして[illegible]子のことを忘れることが出來ないのだつた。妹のあけみに若[illegible]訴へると、何時も自分にまかせておけと云ふ。また警察によ[illegible]度に彼女はいろ／＼の策をあ[illegible]る。彼は妹を信じてその云ふ[illegible]ゝにたえ子を賣女とまで罵[illegible]ささへあつた。父にも自分[illegible]愛關係があつたことさへ陳述[illegible]ささへある。しかし、妹の[illegible]向に效をそうしないではな[illegible]たえ子は依然として春木を[illegible]らないではないか。壯三は[illegible]つひに人まかせにしておく[illegible]あきらめて、自身たえ子に手紙を出したのだつた。そして。その終りに十五日には假面舞踏をするから、天女の姿をして來ないかと云つてやつたのだつた。

壯三はテーブルの末席にピエロの扮裝をして坐りながら、來客を一々見て行つたが、天女の姿をしてゐる女は一人も見あたらなかつた。彼は凶兆がそのまゝ事實となつた時のやうな悲痛な顔をした。同時に急に今夜の會が蠅をかむやうに面白くないものに思はれて來て、來客側の假面漫舌が始まると、逃げるやうに會場を逃げ出した。すると、其處へあけみが大騷ぎで仲居をつれて後を追つて來て、

「兄さん、逃げては駄目ぢやないか」と云つた「一と通り挨拶がすんだらお客を庭の模擬店の方へ送るのはあなたの役目よ」

「俺はもう何をするのもいやになつた」

けふの放送 大連 JQAK

▲自午前[illegible]
▲ニユース
▲兒童科學[illegible]
▲掛合噺[illegible]
▲新內[illegible]
▲獨唱[illegible]
▲職業紹介
▲天氣豫報
▲ニユース
▲中國劇[illegible]

滿洲日報

上海事件調査委員會 組織案を理事會可決 委員は駐支理事國公使

緊張したきのふの公開會議

【ジユネーヴ三十日發】聯盟公開理事會は三十日午前十時二十分開會、昨夜に引續き日支紛爭問題の審議を續行したが問題の重大化に伴ひ議場內は異常なる緊張を呈し事務總長ドラモンド氏の上海事件調査委員組織案を可決した、同案は現在の事件發生當時現場に駐在せる理事國の公使を以て組織する事とし、これら委員をしてドラモンド氏に對して必要な報告をなさしむる事とするといふにあり、なほ右委員長には若しアメリカ政府が承諾すれば同國公使もこれに參加せしめ得るの權限を留保してある、なほ右調査委員組織案が上程さるゝや支那代表顏惠慶氏は飽迄第十五條の適用を滿洲に及ぼさんと力說したが、ドラモンド氏は滿洲に對しては既に調査委員を派遣中であり重ねてその必要なき旨を說き結局理事會はドラモンド氏提案通り上海事件に局限して調査委員の組織を可決した

調査委員案を可決して同午後二時十分漸く散會した

米政府へ勸誘狀を發す

【ジユネーヴ卅日發】聯盟事務總長ドラモンド氏は米政府に對し左の勸誘狀を送つた

余は日支問題の重大性と且つ米政府は曩に理事會と協力せん事實とに鑑み上海に公式代表を任命上海調査委員會に參加せられたし

米公使南下

【北平特電三十一日發】上海時局重大化により米公使ジヨンソン氏は本國政府の電命により本日午前八時急遽南下した

米公使參加か

【ジユネーヴ三十日發】上海事件調査委員會には別項六ケ國公使の外米政府が同意するなら駐支米公使も加へん

海軍首腦會議

【東京三十一日發】海軍省では三十一日は日曜日であるにも關はらず大角海相、谷口軍令部長以下各首腦部全員出勤し午前九時より首腦部會議を開き上海よりの情報により種々協議を行つた結果海相は十時半外務省に芳澤外相を訪問し重要協議をとげた

日本は飽迄反對留保

理事會は自衛權を拒否し得ず 佐藤代表が堂々と聲明

【ジユネーヴ三十日發】三十日の理事會において上海事件調査委員案が可決さるゝや佐藤代表は日本の支那に對する態度を聲明するとともに日本の行動が聯盟規約を何ら侵害せるものにあらざる事を主張し堂々左の如く聲明した

日本は滿洲及びその他支那の何れの地點に對しても何等領土的野心を持つてゐるものでない、日本の唯一の目的は全然日本國民の生命財產及び權益に對する正當なる保護である事を茲に繰返し聲明する、滿洲の形勢が永引き今日なほ日本軍隊を撤退し能はざるは日本政府の最も遺憾とする處である、然し日本の權益が保障せらるゝに至りたる時は日本は何時でもその軍隊を鐵道地域內に撤退するであらう而して**聯盟理事會が一旦日本に對しその自衛及び保護の權利行使を許した以上、**理事會はこの權利を阻止する事は出來ない、又上海において今回日本が執つた行動も亦全く日本國民の生命財產及び權益の保護のためであつて**理事會はこの自衛權を上海において行使する事を拒否する事は出來ぬ、たゞ余は聯盟規約第十一條及び十五條の下に議事を進むる事には飽迄反對の留保を支持するもの**でこれは特に右二箇條の適用問題のため日本國民は極めて重大な衝動を起したためである、然し日本も上海事件調査に關しては協力援助を吝むものではない、なほ支那代表は日本によつて聯盟規約十條が侵害されたと主張してゐるが、これは日本を誣ふるものである、何となれば規約十條は聯盟國の領土が永くその地に止まる意思を以て占領されたる場合において初めて侵害されたといひ得るも、日本は未だ支那の領土を侵略せず、又そは日本の意思ではない

右に對しイギリス代表セシル卿は佐藤代表の第十五條に對する反對留保を反駁し既に支那が十五條の適用を訴へた以上、理事會としては同條の下に議事を進むる外なしとのべ、ユーゴースラビヤ代表マリコヴイツチ氏、セシル卿を支持しスペイン代表ヅルエツタ氏もマリコヴイツチ氏の所論に贊成を表明する處あり、佐藤代表は再度立ち

余は飽迄規約十五條がその適用の當否を調査する事なく自動的にこれを適用し得らるゝものとの解釋には承服する事は出來ぬと飽く迄十五條適用に關する法律的根據を追及して讓らずこの時議長ポンクール氏は佐藤代表の留保に對する各代表の討論を讓言した後、遂に佐藤代表の所論に一步讓り左の如く結論した

理事會は佐藤代表の所論たる第十五條適用に關する問題は後日これを考慮すべし、然し余は佐藤代表に對し左の如く日本政府に報告されん事を乞ふ、卽ち理事會は聯盟國として規約第十五條に訴へる共通の權利に基き行動を執つたものの**現在の處單に十五條の第一項のみを適用**せんとするものである

卽ちこの際聯盟としては事件の詳報を得るためにはドラモンド氏の提示せる調査委員を組織する外執るべき手段なきを以てこの方法を執らんとするもので從つてこの意味において理事會の行動は適當である、これに對し佐藤代表は議長の要請を容れドラモンド氏の上海

英米總領事 支那兵撤退協議

【上海三十一日發】英總領事カニンガム氏米總領事アレナン氏は今朝十時から英總領事館二階に會合停戰の督促、約束違犯、支那兵撤退要求につき協議した

英米兩國日本に抗議

上海に於る我行動に關し

【ワシントン卅日發】アメリカ及びイギリス政府は共に**上海における日本軍の行動に對し抗議を發する事に決定した、**右抗議は夫々上海駐在の英米兩國總領事の報告に基き發せられたもので アメリカ總領事の報告によれば、日本の要求に對し上海市長吳鐵城の重大回答があり日本側においてもその回答は良好なる旨を聲明したる後、日本軍隊は閘北を占據し、且つ陸戰隊の飛行機を以て支那市民を攻擊したと云々といつてゐる、アメリカ國務省は右抗議に關し左の如く說明を加へた、日本に對する**抗議の主なる理由は日本の行動が五千名のアメリカ人が居住してゐる上海港を危險ならしむるか**らであると、又國務省內では日本が吳市長の回答を受けたる後攻擊をなしたる事及び市內において危險を被る人々に何等警告なくして攻擊を加へたやり口を難じてゐる

英のコムミユニケ

【ロンドン三十日發】英政府はアメリカと共同し上海事件につき日本に抗議を提出した事につき本日英外務省は左の如きコンミユニケを發表した

駐日英大使リンドレー氏は一月三十日芳澤外相に對して本國政府より上海における最近の日本側の行動により**イギリス臣民の生命及び利益が危險に曝された事につき注意を喚起し且共同租界を攻擊の本據として使用する事に抗議**すべしとの訓令に接した旨を傳達した、同大使は更に日本政府に對して可及的迅速に平靜狀態に復するやうあらゆる努力を拂はれたしと要求した、これに對し外務省は英政府の憂慮する處を充分に諒承しイギリス人の生命財產を危くせしめざるやう出來得る限りあらゆる手段を講ずべき事並びに共同租界を攻擊の根據として使用せざるべき事を確言した

一方英政府は米政府に對し同樣の勸告をなすやう要請した

對日抗議に回答 出淵大使米長官訪問

【ワシントン三十日發】米國務省は英米兩國政府が日本に對し日本陸戰隊の閘北支那街の一部占據につき公式抗議を提出した旨發表した、右發表に先立つ事約一時間ばかり前出淵大使は國務省スチムソン長官を訪問、日本が飽く迄上海共同租界における外國人の生命及び財產上の諸權利を尊重すべきものなる旨を重ねて聲言アメリカの對日抗議に答へるところがあつた

理事會は一先づ休會

【ジユネーヴ三十日發】聯盟理事會は本日の公開會議を以て一先づ休會となり、更に新に事態の進展に依り開會が必要となるか又は上海より調査委員會の報告が達するまで開會しない事となつた、但し理事會は閉會したのではなく事實上は依然として會議を繼續してゐる事になる、因に本日ドラモンド事務總長は議長の提議によつて成立した上海國際調査委員會委員は英、佛、獨、伊各國の上海總領事がこれに參加する事となつた、この委員會が聯盟理事會に報告するのである

南京在住米人に引揚命令

【上海三十日發】米國總領事は南京在住米人に對し通告を受けたら二時間內に引揚げよとの命令を發した

わが自警團員を米兵が逮捕抑留 昨夜共同租界內で

【上海卅日發】事件發生以來上海の治安は列國軍により維持され各軍及び列國居留民は極度の緊張を示してゐるが、卅日午後八時十五分より卅分の間に邦人自警團が共同租界ゴルドン路百二十號內外紡績前で支那人二名を射殺した處突如あらはれた米海軍兵は我武裝邦人自警團員十四名を逮捕し內六名を工部局警察に引渡し八名を抑留した

逮捕の理由

【上海卅日發】卅日午後八時廿分共同租界海防路とシンガポール路との角で武裝せる邦人が米海軍警戒線にあつた米軍步哨の頭越しに支那便衣隊に發砲したとの理由で米海軍兵は邦人九名を逮捕した更に午後八時過ぎ邦人自警團が共同租界ガーデンブリツヂ北側アスター・ウスホテル前で二名の支那便衣隊を追跡し橋を越えてバンドを走る支那人めがけて發砲した處折柄通行中の米國無電會社支配人ジヨーヂ・シエツクレン氏の身邊をかすめて英總領事館構內に落下したといふのである

支那、對日宣戰を決意

いよ〳〵今明日中に布告

【南京三十日發】蔣介石は遂に對日宣戰布告に決した、正式布告は三十一日か一日となる模樣である之がため蔣介石、汪精衛等は本日午後南京發上海へ向ふ事となつた

國府洛陽に移轉 羅文幹聲明發表

【南京三十日發】國民政府は日本の攻擊を避くるため首都を河南省洛陽に移した蔣介石汪精衛は三十日同地に向つた

【上海三十一日發】羅文幹は本日左の聲明を發表した

日本は昨年九月來滿洲を攻擊し又復上海を攻擊して居る、國際間の利益に危險ある外我首都も安全を脅威さる、我國は聯盟規約不戰條約を飽迄遵奉するが、今後日本軍隊が攻擊せば自衛上國家當然の權利を以て正當防衛行動に出る、日支間に生じた惑を除すには日本が武力以外の方法を執らねばならぬ、日本の武力は如何なる理由あるも紛爭を一層惡化せしむるものである、この點列國の注意を切望する

遷都宣言の內容

【上海三十一日發】國府の洛陽遷都宣言に曰く、日本の上海その他各地擾亂攻擊は武力により我を威脅し我を屈服せしめんとするに外ならず、政府は國民の負托を受け居り例へ國土全部蹂躪さるとも國權喪失する能はず、贖武に屈する能はず、最後の一人迄國土をまもり防禦の決意ある旨を世界に聲明する、蓋し世界平和のため暴力を否定せんとするものである暴力の脅迫を受けずに善處せんとする意圖よりして國都を南京から洛陽に移し國務を執る國民政府を信賴し奮勵國難に處せよ

遷都は敵對行動準備

長江筋邦人危險に曝さる

【上海卅一日發】洛陽遷都は政府が奧地に逃げ軍隊を先陣に出し我に敵對行動を執らんとする前提と觀られ上海及長江筋各地の邦人の生命財產は既に重大危機にさらされ、一方我政府においても若しこの際國策をあやまるにおいては世界戰爭の原因となるものと見て、外國人有力者は事態の推移を重視し居り特に英米佛の三國有力者は事態既に容易ならざる種々本國に打電し居ることは事實である

五尺四寸以上の大男揃ひ

滿洲に送られる巡査さん百五十人

東京飯田町の職業紹介所では今度滿洲に派遣する巡査さんの募集をしたが零下三十度といふ寒いところに行く人達で元氣ものばかりを募集したが、集まるもの朝から六百人といふ盛況振りこの中から五尺四寸以上の大男ばかりた百五十人選ぶところ

わが警備區域內で便衣隊盛んに活躍

戰線では小競合ひ

【上海三十日發】英米總領事斡旋による日支協定の大綱は未だ成立に至らないが全線に亙り局部的に小競合ひあるのみにて正面衝突なく、たゞ警備區域內の邦人居住地區の便衣隊の活動甚しくこれが討滅の銃火は尙市內各所に旺に起こり義軍及び在鄕軍人にも相當の死傷を出してゐる、北四川路及び附近各路が最も猛烈である

北四川路 遂に大火 支那軍の砲彈で

【上海卅日發】支那軍の砲彈により起つた北四川路の火災は消火の望みなく火勢益々さかんで附近一帶は火の海と化した

國際聯盟、滿洲事件と上海事件とを分つ、やつと始末をつけた滿洲事件の蒸し返しを嫌ふ。

◇

上海事件では英米もむきになる、歐洲小弱國も尻馬に乘る。

◇

對日經濟ボイコットは戰爭に導く、之れ米上院外交委員長ボラーの自重論。

◇

米國、日本の行動が租界に危險を與へると云ふ、併し危險を引出すのは支那の便衣隊の租界侵入、租界に對する砲擊だ。

◇

上海共同租界の便衣隊は厄介至極の者、之れあるが爲めに、我自警團員と米兵との間に問題を起す。

◇

蔣介石、玉碎を期せよと命令す之れは軍隊に、但し自身は政府を洛陽に移して遁仕度。

◇

聯國政府、日本との不和を避けると云ふ、併し東支鐵の日本軍使用に關して不滿の意を漏らし、白系露人に關して心配の意をほのめかす。

◇

ハルビン方面大激戰、反吉軍隊の尻押をしたのむか。

仙波久良氏 政友公認候補

大連市議仙波久良氏は郷里滋賀縣において立候補すべく彥根に歸省準備中の處今回愈々政友會公認候補として出馬することに決定した旨三十一日市內の知人に通知があつた

岡田氏立候補

前年聯盟理事岡田猛馬氏は突如、總選擧に立候補を宣し、急遽三十一日出帆のはるびん丸にて內地へ向つた、氏は郷里の四國土佐第二區より打つて出づべく、目下政友會公認を交涉中である、なほ市內純後町日昇公司井藤榮氏方に岡田候補選擧後援會事務所を設くが、井藤氏は次の定期船にて應援辯士として赴き活躍する筈

人事

▲奥村信太郎氏(大每編輯總務) 三十一日午前十時出帆のはるびん丸にて離連

▲平林茂氏(東大教授) 關東軍囑託として在奉觀察中のところ同

東亞の謎 (187)

國枝史郎 插畫 伊藤順三

大連の冒險 (十二)

一方の面へ龍を描き、他の面へ鳳凰を描いた、三尺六寸の棍棒や算盤や蠟燭や白扇や、秤や尺や鏡や剪刀や、小柏や珠數や木魚や玉が、一々意味を持つて置かれてあつた。

さうして一羽の白鷄と、さうして一匹の仔豚とが、犧牲として置いてあつた。酒を充たした瓶、小菜を盛つた皿、さうした物も置いてあつた。

さういふ三段の壇の前に、假面をつけ黑ガウンを着た、一人の男が立つてゐた。大哥、卽ち會長なのである。

もう一人同じやうに假面をつけ空色のガウンを着た男が、會長と並んで立つてゐた。

五十人近い會員が、壇の方へ顏を向け、伯爵達五人の方へ背を見せて、會場の左右に居ながれてゐた。

で、入口から壇へ往ける、一筋の道が開いてゐた。

さういふ道をつくるために、會員は左右に分れてゐるのであつた。

拔劍を持つた二人の男が、入口の側に立つてゐた。

拔劍を持つたもう二人の男が、道の一所に左右に分れて、物々しく立つてゐた。

二人の男が大きな佾の輪を持つて、これも道の一所にゐた。

かういふ會場を照らしてゐるものは、天井の大燈のシヤンデリアであつた。

(威壓)

と伯は心の中で思つた。

(本で讀んだものとそつくりだ。さうして白蓮會や三合會や、哥老會などゝいふ者からある、秘密結社の入會式場の、その裝飾と變はりがない)

で黃幇といふ秘密結社の、その原始的な根本目的が、白蓮會などと同じやうに、滿洲を仆して明朝の再興をする、その點にあつたことが推察された。民國となつた現在にあつては、そんな目的はケシ飛んで了つて、片影さへも持たない筈であつたが、入會式といふやうな時には、昔ながらの古風の形式を持つて來るものと思はれる。

(會長といふ男、ちよつと可笑しいぞ)

伯は不意にさう思つた。

何處となく見覺えがあるからであつた。

ガウンを着、假面をかぶつてゐる。で、正體はわからなかつたが、それでゐて見覺えがあるのであつた。

思ひなしかもしれないが、會長の方でも假面の眼から、遙かに鋭く伯ばかりを、見詰めてゐるやうに思はれた。

第一の關門の前まで行つた。

卽ち拔劍をたづさへてゐる、入口の側の衞士の前まで、五人は步いて行つたのである。

と、一人の衞士が云つた。

「何故に來れるや?」

すると石田がすぐに答へた。

「姓名を軍中に列し、洪家の兄弟とならんがために來る」

「誰が汝を斁へ來らしむや?」

「己の意より來る」

「誰か汝の保證人なる?」

「我なり」と痣のある男が云つた

「幾人か來れる?」

「五人の兄弟」

と石田は答へた。

「よし、通れ、第一關」

そこで痣のある男と一緒に、石田や伯達は先へ進んだ。

第二の關門の前まで來た。

拔劍を持つてゐる衞士の一人が云つた。

「兄弟三分の米と七分の砂を食ふの困苦あらん」

「兄弟の食ふ物は我もまた食はん」

と石田が答へた。

「よし、通れ、第二關」

丁超軍四千けさ突如 わが軍に猛襲し來る
敵は夜陰に乗じ三方より接近 激戰を演じ多數死傷

卅一日双城堡にて 森義夫特派員發

關東軍司令部の命令により第○師團の到着を待ち卅日夜双城堡に設營した長谷部○團は三十一日午前五時廿分ごろ東支護路軍丁超の六百六十二團及び六百二十三團の混成隊約四千名の敵から襲撃をうけた、敵は東、西、北、三方の密林中を潜行して接近し來り突如○團本部を襲つたものであるがわが○團本部は前夜列車内に移つて居たので敵はその列車及び驛を目がけて一齊に襲撃して來た、そこで直に司令部を驛に移し武田少尉の捧持する聯隊旗を驛長室に安置し長谷部少將大島大佐以下幹部全員陣頭に立つて之に應戰し一時は苦戰に陷つたが、午前七時半ごろ敵を撃退した、敵は全部護路軍なので地の利を熟知し夜陰を利用して驛に近づき百米位の處より砲數門で砲撃を開始、驛及び列車を目がけて猛烈に射撃して來たものでこれがため我歩兵主力は野砲隊の掩護の下にチチハル、大興以上の激戰を演出するに至つた午前九時三十分銃撃は全く歇んだ我軍の損害は歩兵○○聯隊戰死十二、負傷村上少尉以下三十五、野砲隊は藤井少尉以下十三 負傷十一、なほ敵の損害は驛の近くに遺棄死體約百、わが軍より追撃されつゝ遺棄した死體約三百で敵の負傷は更に多き模樣、この戰鬪において滿鐵社員の負傷者は列車入れ替へに從事したハルビン事務所派遣係原安平氏が右腕に盲貫銃創、長春機關區野崎利道氏が頭部に負傷、四平街小野助役が右足に貫通銃創をうけた、又○○團附通譯長春吉野町一丁目村田清一氏は彈丸運搬中頭部に負傷した、その外に滿鐵社員一名負傷したが姓名は不明

敵味方十米突に接近 壯烈なる白兵戰を演出す

三十一日の双城堡における激戰は敵が地形を知り闇を利用して突然襲撃して來たので一時は敵味方の間が十米位に接近して戰鬪の終つた後、長谷部○團長以下幹部の乘つて居た一等車には十發、食堂車には五十八發の貫通銃痕が殘つて居た、この列車に乗つて居た列車ボーイ十八歳のロシア少年は右戰鬪に際し大腿部及び右手に貫通銃創を蒙り我衛生隊に收容されたが非常に重傷で長谷部○團長も從軍中非常に目をかけて居ただけに「可哀想だ」と目をしば叩いてゐた

激戰實に五時間

双城堡に一夜を明かしたわが長谷部○團に對し三十一日午前五時頃支那軍は突如三方より攻撃を開始し、殊に○團司令部を目がけて猛射を浴びせかけ、長谷部○團長室に五發、その左右に五十數發の敵野砲彈が命中したのみならず、敵の歩兵部隊はわが主力の約五メートル附近まで銃劍をひつさげて突撃を敢行し來り、我軍は敵の包圍にあひ決死の奮戰を續けること數時間、午前十時半漸く敵を撃退したが、これがため我軍は戰死二十一名、負傷は歩兵部隊は村上少尉以下二十五名、野砲隊は藤井少尉以下十三名計四十名であつた、なほ負傷者は双城堡驛の食堂を假病院として收容應急手當を加へてゐるが、敵は退却に際し同驛附近に約六十名の死體を遺棄した【長春電話】

長春の飛行隊總出動 支那暴戻軍の全滅を期す

暴戻極まる支那軍に痛撃を與へた正義の皇軍は長谷部○團に大損害を與へた六百六十二、三團の敵を全滅の目的で飛行隊總出動のもとに敵の上空から爆彈の雨を降らせて猛烈な攻撃を加へてゐる、尚待機中であつた愛國號もこれに參加した【長春電話】

空陸呼應して追撃中

双城堡に駐屯中の我が長谷部○團は三十一日午前五時三十分頃突然敵一個旅(兵力二千名)に猛襲され苦戰に陷つたが漸次攻勢に出で遂に敵は死傷者五百名を殘して退却したので、わが長谷部○團は目下追撃包圍の形にあるが、長春飛行隊の應援を求めわが飛行隊の双城堡の上空飛來を待つて空陸相呼應して敵の全滅を期してゐる、この戰鬪における我軍の死傷は戰死下士以下十二名、負傷少尉以下三十五名である【長春電話】

長春から歩兵主力 山砲隊を加へ急派準備

長春において目下待機中のわが多門○團は双城堡における長谷部○團の衝突により頗る緊張を示してゐるが、目下歩兵主力に山砲隊を加へ急派準備中である【長春電話】

負傷者は驛に收容

三十一日双城堡戰の我負傷者は同驛が非常に廣いので全部驛内に收容し應急手當中である、又敵軍が去つた後双城堡驛の狀態を見ると食堂に二十餘發、事務室その他に數十發、長谷部○團長の自動車に一發彈痕があるを發見した

我戰死者の氏名 正午迄判明の者

【双城堡特電三十一日發】双城堡の戰鬪における名譽の戰死者のうち正午までに判明せる氏名左の如し

△歩兵第○聯隊第○中隊一等兵高橋丈作△同一等兵小松忠吾△同第○中隊一等兵佐藤勝雄△同一等兵佐藤七郎△同一等兵佐藤盛△機關○隊一等兵西條直吉△第○中隊一等兵重松繁男△同一等兵尾崎勇△第○中隊上等兵小野寺守雄△第○中隊上等兵小谷進△第○中隊上等兵菅原文雄△第○中隊上等兵佐藤文雄

潰走中の騎兵を爆撃

ハルビン双城堡方面の偵察を終へ三十一日午前十時三十分長春へ歸來した第一偵察機の報告によると双城堡方面には敵兵なくハルビン市中も目下の處平靜なるものゝ如し、尚午前十一時三十分歸來した第二偵察機の報告によると双城堡北方二十キロの地點において北方へ潰走中の敵の騎兵約八百名を發見しこれを爆撃した【長春電話】

張家灣警備

當地駐屯の我獨立○隊及び鐵道○隊の一部は三十一日朝八時より東支南部線張家灣以南の警備のため出動した【長春電話】

北上せず 待機姿勢

雙城堡驛に入城した長谷部旅團は一擧ハルビン入城の豫定を見合せて充分な警戒を行ふため、當分雙城堡驛において軍の英氣を養ひ軍司令部の命により直に北上する第○師團の應援の來着を待つて雙城堡で合同、若し丁超軍にしてなほ且つわが軍に敵對行動に出づるならば斷然撃退すべく準備を整へ、今や待機の姿勢をとり非常に士氣昂り緊張を示してゐる、ハルビンを中心にして日支兩軍の正面衝突は一兩日中に展開すると豫想されてゐる【長春電話】

日章旗を振つて沿線鮮人が歡迎
我軍の嚴肅に東支從業員驚嘆

長谷部旅團は三十日午後二時半三岔河驛で途中旺に飛來する航空隊と緊密な連絡を保ちつゝ充分なる警戒を拂ひ蜿蜒一里餘に亘る軍用列車陣を張つてハルビンを指して北進し、三十日午後六時雙城堡を占據、同日は長谷部旅團司令部を雙城堡に置き同地に設營したわが軍の意氣は正に天を衝くの槪がある、双城堡附近で日本側を一擧に粉碎すべしと豪語した丁超護路軍は影を見せず、わが軍は無人の野を行く如く前進した、双城堡に向ふ途中各驛に勤務する赤系露人の東支從業員は始めて見る日本軍の嚴然たる軍隊の規律統制に非常な驚異の眼を見張り、色々便宜を與へて極めて好意を持つて日本軍を迎へてゐた、又東支各驛附近に居住してゐる朝鮮人は日本軍歡迎の日の丸の旗を揭げて各驛に出張り如何にも心强さうに日本軍北上を迎へてゐる有樣はいぢらしい感がする【長春電話】

蔡家溝にも敵兵襲來

卅一日朝双城堡の手前三十三キロの蔡家溝に一千六百の敵兵襲撃し來り激戰の結果撃退したが、わが軍の戰死者二十名、負傷者を出した

丁軍退き集結

雙城堡驛に集結してゐた丁超軍は三十日、わが軍の北上により漸次後退を開始し、ハルビン南方二里インテンダンスキ驛附近を中心に東北に亘り約五千の護路軍を集結し陣地を築造して日本軍一歩たりともハルビンに近づけないと豪語し、强力な陣營を張つてゐる【長春電話】

白露人虐殺計畫

【ハルビン三十日發】武裝ロシヤ青年共產黨三千名は此亂に際し二百八十名の白系ロシヤ人の虐殺計畫中である

東支鐵路に運行要求

吉林熙長官より東支鐵路督辦、理事長及び黑龍江省長官に宛て、速かに東支鐵路に對し、長春より哈市に發車を命令し、その車輛數量等は駐哈日本軍と折衝し、これに應ずることを乞ふ、並に三十一日夜九時までに返電を望む、その時間までに返電なきときは日本側は特別の行動をなすとのこと、この驛は唯に哈市に止まらず、實に國際關係及び東北の大局に關するものにして速かに方法を講ずることを望むと三十日打電した【長春電話】

列車運轉開始

三十日午後六時、長谷部旅團が双城堡驛に入城するや、東支鐵道監理局長の名で長谷部旅團に宛て戰火を慮て運行を中止した東支線の列車運轉を卅一日より圓滑に實施すると通知し來つた【長春電話】

避難内鮮人 三千餘名に達す

【ハルビン卅日發】卅日夜十一時卅分迄の避難内鮮人は三千六十五名に達した

徐文海一味 近く歸順の模樣
安東沿線、落着かう

板津第○大隊長は安奉沿線附近に暴威を揮ひつゝある匪賊團のうち歸順を申出る者あり、その處置に就き廿八日奉天に赴き關東軍司令部と協議打合せをなした、右につき大隊長は

歸順の氣配の見ゆるものは今のところ約二千であらう、出奉したのはその打合せもあつたが、永らく司令部へ御無沙汰してゐたので行つて來たのだ

と多くを語らないが、歸順申出では徐文海の一味で我軍部では歸順後の待遇につき既に意向決定したものと察せられ、徐文海一味の歸順は最早時日の問題となつてゐる近來安東沿線の比較的平穩なるはそのためで徐一味が皇化に浴すれば安奉沿線は大體において平靜に歸すべく、鄧鐵樞一味も我軍に討伐されて潰滅するか或は進んで歸順するかこれまた遠からぬものと見られてゐる【安東電話】

關東軍へ肥前忠吉の一刀

七十の坂は越えたけれどもなほ壯者を凌ぐ體の一老人が二十六日陸軍省に出頭、關東軍へ一やせ老人の心からなる贈物を受納ありたいと差出したのは軍刀仕立の肥前忠吉の一刀、家傳の名刀で日清戰役には之を揮つて敵中を縱橫無盡に馳せ廻つたものといふ、端然として型の如く抜き放つては露か玉散る見事な業物、この意ありげな老人鐵道省に四十年近く勤續したといふのみで姓名を名乘らず部員が有難く頂戴すると一禮して悠々と立去つた所齋藤實盛の風情があつた、寫眞によつて取調べの結果日暮里谷中に住む竹越審次郎さん寫眞は竹越老人と贈つた名刀

大馬賊團が襲來し南臺、危險に陷る
附屬地周圍の部落を放火奪掠中

南臺周圍七邦里の各部落猛火に包まれ危險刻々迫る、南臺西方半邦里前柳河子に老北風の率下約百八十騎襲來し、尚その後續部隊は交界臺に約六百名駐屯し各部落を放火掠奪中にて、漸次南臺附屬地危險に陷り、大石橋警察においては林警部補の機關銃三個分隊及び岩木警部補の歩兵砲一個分隊、警部補の長銃隊三個分隊は急遽午前十時五十分出動した、なほ猪苗代署長は午後零時五十一分十一列車にて後續部隊として平山情報係外三名帶同南臺派出所に急行、なほ海城公安隊○○名及び○○隊○○名急遽南臺に向つた【大石橋電話】

恤兵卓球大會

恤兵資金募集のピンポン大會は滿洲卓球協會主催のもとに三十一日午前九時より南山麓、朝日小學校、土佐町公會堂キリスト教青年會館の四ケ所で一齊に擧行非常な人氣を呼んだ(寫眞は朝日小學校の會場)

軍需品輸送で長春大混雜

長春警察署は三十一日朝來、當番非番巡査の大召集を行ひ荷馬車の徵發を敢行しつゝあるが、更に城内方面に手を伸ばして自動車およびトラックの大徵發を行ひ、三十一日南滿より到着せる自動車七十臺とゝもに軍需品輸送の大計畫をたて、目下市内はこれがため非常な混亂を呈してゐる【長春電話】

ハルビンは漸次平靜 馬占山の報告

【吉林特電三十一日發】ハルビン事變に對し二十九日馬占山より熙洽長官に左の如く打電して來た

二十七日の命によりハルビンに入り調停に努めたが、丁、李は諒解する處あるも團、營長以下の幹部において頗る强硬に出で數回說得したる結果、始めて李馮等は市外に退出したる爲め漸次ハルビンは平靜となるも長官は引續き調停を要す、本職は昨夜十二時海倫に歸りたり

名譽の戰傷者 送迎日割

兵匪討伐に際し各地の戰鬪で名譽の戰死を遂げた不破騎兵少佐以下四十八名の遺骨および傷病患者三十六名は左の日割により内地に送還されるので市役所では戰死者遺骨に對し二月三日午前八時卅分埠頭船客待合所において慰靈祭を執行する事になつた、傷病患者の歸還に對しては多數送迎し慰靈祭には多數の參拜を希望すると

一、傷病患者出發 二月一日午後四時發照國丸(甲埠頭九區繋船)
二、戰死者遺骨大連着 一月三十一日午後三時(旅順より一體)二月二日午後四時五十分(奧地よりの分)
三、遺骨大連發 二月三日午前十時發うらる丸

匪賊頭目逮捕

二十六日小城子方面における匪賊討伐で逮捕した匪賊の自白により右匪賊團の頭目が奉天に潛伏中なること判明したので、撫順署では直に小野刑事奉天に出張し、某方面潛伏中の○○○(三)を逮捕、撫順署に連行取調の結果、殺人、潛伏地その他一切を自白【撫順電話】

奉山鐵路復舊

東北交通委員會では奉山鐵路局と協力してこれまで破壞掠奪されて荒廢せる舊北寧鐵路の復舊を圖つてゐるが、その準備着々進捗し三十日から錦州以東奉天で毎日旅客列車一往復、混合列車一往復、貨物列車一往復の運轉が行はれる、なほ錦州以西山海關に至る旅客及貨物列車を運轉して北平との聯絡を採ると共に營口支線、打通支線も營業列車の運轉を開始して解氷期と同時に營口、河北西港並に河北驛を開くために鋭意復舊準備を進めてゐる【奉天電話】

沙河口勝つ 弓道リーグ戰

本年度關東州弓道リーグ戰第二回沙河口對武德會戰は三十一日中央公園武德會弓道場に於て擧行したが其成績は沙河口百二十一中、武德會百十一中で沙河口の勝、次回戰は二月十四日午前九時開始遞信對武德會第三回戰を行ふ豫定である

給料を强奪

三十日午後五時十分撫順東ケ岡元鉛工場附近に拳銃所持の三人組强盜現れ、機械工場の職工の退出を待つて約二十名を包圍拳銃でおどしつけ、水溝に追ひ込み針金で手足を縛し上げ當日支給の給料合計百七十圓を强奪逃走した、急報により撫順署では直に非常線を張り犯人嚴探中【撫順電話】

食堂主、姿を晦す

市内沙河口大正通り市營市場外廓店舖食堂「鶴家」こと坂本利一(三)同妻ミツ(三)の兩名は約二千圓負債その他を殘して去る廿九日朝姿を晦ましたので、同人債權者たる市内聖德街一丁目二七〇山本政次郎氏は卅日夕沙河口署へ搜査方を願出た

書記生の内妻 絞殺さる

【橫濱三十日發】橫濱市中區根岸町西の丸一三三七外務書記生村田愛次郎氏方の戸が三日前から開かぬので三十日午後一時三十分村田氏の父久次郎氏が入つて見ると愛次郎氏内縁の妻ドイツ人オリガー(三)が絞殺されてゐるのを發見山手署に屆出て係官出張取調中だが夫愛次郎氏は三日前から行衞不明なので搜査中である

天氣豫報 二月一日

南の風 曇

各地溫度

	昨日最低	午前十一時
大連	零下五、〇	一、四
旅順	同 四、四	二、一
營口	同 九、六	零下〇、五
奉天	同一一、九	同 〇、八
長春	同一七、〇	同 五、一

公示催告

大連市雲井町六番地 申立人 麗志方

目錄

證書ノ種類及番號倉荷證券第壹八〇號名稱及數量大豆麻袋入參百五拾袋證書發行年月日昭和七年壹月拾八日寄託者國際運輸株式會社發行人南滿洲鐵道株式會社小崗子驛價格金千七百八拾貳圓也最終ノ證書所持人麗志方

證書ノ種類及番號倉荷證券第壹九四號名稱及數量大豆麻袋入參百五拾袋證書發行年月日昭和六年拾貳月貳拾貳日寄託者國際運輸株式會社發行人南滿洲鐵道株式會社小崗子驛價格金千七百八拾貳圓也最終ノ證書所持人麗志方

證書ノ種類及番號倉荷證券第壹九六號名稱及數量大豆麻袋入參百五拾袋證書發行年月日昭和六年拾貳月貳拾貳日寄託者國際運輸株式會社發行人南滿洲鐵道株式會社小崗子驛價格金壹千七百八拾貳圓也最終ノ證書所持人麗志方

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和七年八月一日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和七年一月廿八日

關東廳地方法院

武門血笑記 (40)

下村悦夫作　布施長春挿畫

風雲飛來 (三)

「ほう、これは、御歴々の方々、何事かは存じませんが、此場は、拙者にお委せ願ひ度い……」

と、作樂は、重臣達の若侍の方へ、小腰を屈めて、丁寧な會釋。

「えゝ、退けッ、上役人に對する惡口雜言、聞き捨てならぬ」

「轢轢の分際で、我々に、手向ひ致す奴、斬つてやる、退けッ」

「退けッ」

重臣達の若侍は、威丈高になつて、喚き立てた。

「でもござらうが、相手は、取るに足らぬ轢轢者、此場は、何卒、拙者に……」

「いや、許す事ならぬ、退け」

「問答、無益ぢや」

「退かねさ、貴公も、同罪ぢやぞッ」

「各々方、拔けッ」

と、重臣方の若侍、パッと、一齊に、白刃を拔き合はせた。

には行かぬ。

「何をッ」

「それッ」

「參るぞッ」

いづれも、多少は腕に覺えがあるらしく、銃子を揃へて、ぢりぢりと詰め寄る。

作樂に、相手を奪はれた形の、二人の侍も、少し後に下つてはゐたが、作樂に萬一の事があつては、と、刀の柄に手をかけたまゝ、瞳を定めて、凝つと、闘ひの樣子を見守つてゐる。

「さあ、參らぬか、參らぬか、その屁ッぴり腰では、人は斬れ申さぬぞ、こちらの御物は、高が、手杓ぢや、はつ、はつ、はつ」

作樂は、口先で相手の氣持を苛立たせて、協同の行動を、攪き亂さうとするらしい。

「それ、左、打込みの形、小手崩あり」

と、またしても、相手を小馬鹿にしたやうに、手杓の先を輕く、動かした。

と、その瞬間、

「えいッ」

鋭い、氣合と共に、苛立つた右手の一人が、大地を蹴つて、踏み込みざま、颯と斬り下す……。

「おう」

作樂は、體を捻つて、身を躱しながら、空を打つて流れる小手を、手杓で、ピッチャリ一打ち。

「あつ」

驚きの聲と共に、刀は手を離れて、響きを立てゝ、大地へ落ちた。

と、同時に、作樂の身體は、手毬のやうに飛んで、猛烈な體當り――、續いて踏み込まうとする、二人の前に、その男は、地響きを立て、斃れた。

作樂は、足で、敵の落した白刄を、蹴飛ばしながら、餘裕綽々たる高笑ひ……。

「退き申さぬ、上役人に對する、無禮の罪には、それ相應の道のある筈、此の除許に於て、私の刄傷沙汰は、違法でござるぞッ」

「何ッ、違法だ?」

「無禮なッ」

「退れ、引かぬと、斬捨てるぞ」

「ほほう、かほどに申しても、聞分けないか、では、待たれい……」

と、作樂は、靜かに、二三歩、下つて、默つて、刀の柄を握り締めてゐる、二人の同志の者に、

「拔くな、拔くな、拔いてはならぬ、拙者に委せておけ」

と、制して、凝しめ見て置いたのであらう、傍の用水桶の上から二尺あまりの手杓を取り上げると

「さあ、かくなる上は、拙者、各々方を、殿下を騷がせる亂暴者として、手捕りに致し、役人に渡すぞ、よいか、參れッ」

と、手杓を、ぴつたりと、正眼に構へた。

作樂の腕前は、藩中でも鳴り響いてゐる。殊に、その大膽な放言で、人を喰つた手杓の構へに、三人の若侍は、氣を吞まれた形であつたが、時の勢ひ、引込むわけ

◇◇旅鴉一本刀◇◇　新興キネマ映畫で原作は行友李風脚色、上島量、中島寶三の監督で厨子技師のクランク、變な事から仇持ちとなつた旅人鹿沼の源太の物語り、雲井龍之助主演、泉清子、春路謙作助演、寫眞は龍之助の渡世人鹿沼の源太【大日活大連上映】

日活と東活の提携成る
河部海江田以下東活に出演

羅門光三郎、原駒子等は東活を退社して獨立映畫の旗擧げをし、東活の俳優陣に動搖を來たした折、豫てより日活撮影所長池永氏は東活と對して同情を持つてゐたが、今回日活と東活との間に

提携　成つて日活が東活を後援することになり、目下河部五郎は辻吉郎監督で「放浪一徹男」を製作してゐるが、同映畫の完成を俟つて東活映畫に出演することになり。河部始め海江田讓二、高木永二、酒井米子外數名は去二十七日正式東活出演の調印を了し二月一日より撮影する事となつた、更に東活は

寶塚　歌劇より有明月子、岸小夜子、光志津子の三スターをも正式入社せしめたが、之を機會に日活は新スターはドシドシ東活へ貸出すといふし、トーキー方面へも大に發展せしむると、今後日活は東活に對して指導的立場になる譯である、茲に於て

日活　と東活の關係は松竹と新興の樣な間柄になり、愈々邦畫界は二大系統になるであらう

下加茂で發聲用スタヂオ建設
長二郎で第一回作品を

松竹京都撮影所ではいよいよトキー製作に乘り出すがシステムは松竹土橋フオーンに依るもので下加茂スタヂオ前のゼット街にトーキースタヂオを建設することになり直に準備に着手した撮影開始は三月初旬になる模樣で衣笠貞之助監督で林長二郎主演第一回トーキーを製作する原作は行友李風氏が執筆中

片岡千惠藏も現代劇製作

松竹京都の林長二郎最初の現代劇

噂話

「金色夜叉」は邦畫界に兎も角も大きな波紋を投げたものであるが日活の池田富保監督はさきに編成された喜劇班第一回作品として澤田清主演で現代喜劇「田吾作ホームラン」といふ新しいものに着手したが、時代劇では常に新境地を見せてゐる片岡千惠藏も愈々今度は現代劇進出の計畫をたてた第一回作品は中村吉藏氏原作になる明治維新時代より現代に至る迄の畸人を描寫した「明治奇行譚」と内定してゐる

大連の映畫ファンの間に最近本格的に發聲映畫が論じられるやうになつて來たが、同時に發聲機が問題となつて來た▲矢張り評判の相當いゝのはウエスタンであるが、その點で映畫館が若い映畫ファンの人氣を集め出したのは當然のこと▲内地で俄然好評を博したパテー・インターナショナルの「ハーマン」がいよいよ常盤座へ上映されることになり、卅一日試寫があつたが▲既に上映中の帝國館の「御誂次郎吉格子」と云ひ、更に映樂館に豫告中の「火の山」中央館の不二映畫「榮冠涙あり」等二月の映畫界は俄然大物の競爭だ

本社特選 新棋戰 (其二)

香落 八段△花田長太郎　六段▲平野信助

【圖は五二金迄の局面】

▲平野氏「持駒」ナシ

△花田氏「持駒」ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
飛						王	角		二
步	步	步	步	步	步	步	步	步	三
						步			四
步	步	步						步	五
			步						六
				步	步	步	步	步	七
步	步	角				步	玉		八
	桂	飛	銀	金	金	銀	桂	香	九

▲六四步　△六七銀●
▲六五步　△五九角
▲九九角成　△同●步
▲九六步　△七九金
▲同香　△同步
▲六六步　△九七步
▲九七香成　△五八銀
▲九六步　△同桂

【土居八段講評】平野氏の六四步は上手七八飛の形では敵の六七銀に對して最も肝要の手である。この手を怠ると次に敵に五九角又は六八角と引かれ次に七六飛と浮かれると端が攻め難くなつて陷りやすいのである。花田氏の五九角は此處で三八銀と締る趣向もあるが矢張り下手より六五步と攻められるのである。平野氏の六五步は六四步に繼續した手であつて必要な攻めである。花田氏の同步は七六飛浮く順もあるがこの邊は上手の作戰の選ばれる處である。平野氏の九六步は豫定の攻め手でこの順では香落の弱點を攻めた形になつてゐるのである。平野氏の六六步は先手で次に九七香成、同桂、九六步は最初の六五步の攻めより繼續した下手の攻擊手段である。

【萩原六段解說】△花田君は圖面の場合三八銀或は五八金左と古風の駒組を用ひては作戰上不利と看て、變化を求むる意ゝを以て六七銀と上つたのは一策である▲此時平野君は敵に完全に浮飛車模樣に組まれては香落の傷を攻むるに難く、殆ど平手と同樣の位となつて面白くない故、この機會を利用して攻勢を採る方針の下に六四步以下その筋の步を突き出したのは至當の對策である△花田君は敵の六五步に對し同步は古人の棋風を用ひたのであらうも、些か活氣過ぎはせずや、目下自分は不完全の際なれば靜かに七六飛、六六步、同銀、八六步、同步、九六步同步、八八步、七七桂と指す處である。

晝でも夜でも紫外線の
豐富な日光浴の出來る
專賣特許 東京電氣の
バイタライトランプ
特長
一、家庭に於て普通の電燈線から使用出來ます。
二、石英水銀燈の如く素人に危險な線を含んで居りません。
三、多量の赤外線をもつて居りますからヒーターの代用にもなります。
四、非常に爽快なる明るい光を出します。
五、健康増進に欠くべからざるものである外左記の病氣に特効があります。
肺結核、肋膜炎、佝僂病、神經痛、關節炎、坐骨神經痛、胃腸病、感冒、氣管支カタル、癩、濕疹、腺病、凍傷、百日咳、リウマチス、腺病質の兒童等
(説明書進呈)
發賣元 南滿洲電氣會社
沿線各地電燈會社
東京電氣株式會社 大連市連鎖街

CALIFORNIA SUN-MAID SEEDLESS RAISINS
一握の
サンメード乾葡萄は毎日消耗せられるエナージーを補ひ鐵分を吸收して汚れなき血液と化す。
魚肉も必要なり鶏、牛肉、野菜、飯、パンも卵も必要なり。
されど
サンメード乾葡萄は必ず毎日一回は一握りづゝ攝取せらるゝを要す

佳味風流
御進物用ニ……御手土産ニ……御客席ニ……
上生菓子
調進
名物もなか本舗
みふと屋
電 6085 22660 番
人力車より經濟な自動車
Modern 1932
Drive by your B.S.A. Three-Wheeler
二人乘 四人乘ノ二種
税額僅か月一、六〇錢!!!
行洋和昌
大連市山縣通一一二 電三二四三 三八九三
奉天新市街富士町一 電二五八〇 二七五六

滿洲日報

明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可

廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

我撤退要求通らねば 今明日を期して大爆擊

【上海三十日發】昨夜の停戰約束に對し支那側では今早朝から攻擊を開始し明かなる不信行爲をなしたるに對し英、米總領事は今朝九時半日本總領事を訪問遺憾の意を表すると共に大いに懇談するところあつたが、日本側は支那側の行爲を不當となし支那兵の北停車場撤退、鐵道線にある裝甲車の撤退を要求し、若し支那がこれに應ぜざる場合は明日を期し飛行機三十臺を、明後日は四十臺をもつて大爆擊を敢行するに決した

世界的紛亂の動機とならば 全責任は理事會に
我國に第十五條適用は不可能 陸軍側決意を示す

【東京三十日發】聯盟理事會が規約第十五條適用を決定せる事に關し陸軍では三十日左の如き意見を發表し斷乎たる決意を示した

元來聯盟規約第十五條は國交斷絶の慣れあり、しかも第十三條に依る仲裁々判又は司法的解決に附せられざる時は聯盟國は、これを理事會に附議すべき事を約したものであるが、現に我國は支那と戰爭しようとは考へてゐない國交斷絶とか、戰爭とかいふ問題ではない、また外交々涉も行はれぬのに仲裁々判とか、司法的解決とかいふは見當違ひである、若し一步を讓つても支那側の所謂日支間の既存條約の解釋に異議ありとの言說の如きに至つては實に言語道斷である、これをしも聯盟が取り上げる事があつたらそれこそ國際的重大事であり唯々怪事である、即ち嚴正なる既存條約に對し一國が難癖をつけるといふ事を認める事は一般國際的無秩序を動機するものであり、早い話が聯盟規約そのものさへ光を失ふ事となるであらう、扨て第十五條に於ては理事會は過半數の表決で當事國に勸告をなし得る規定があるが、當事國は法理上右勸告を認むる義務を負ふものでない特に正義に依つて行動しつゝあるものがこれに聽從するは正義に對する冒瀆であらねばならぬ、次に第十六條の制裁法として經濟封鎖と直接兵力使用の二つがあるが、我國は對支戰爭をなさんとするものでないから我國にこの條項を適用する事は不可能である、然し聯盟に於て認識を誤り支那の宣傳に迷はされて我正義を無視し我國に向つて抑壓又は威嚇的措置を爲す事あらば我國は進んで國際正義確立のため義務を果さねばならぬ、しかもなほ聯盟に於て密かにその非を悟りつゝ一、二主動者の立場上堅白同異の說を唱ふ事あらば我は唯毅然として所信に向へば可なり、此の場合經濟封鎖の如き行はるゝ筋合ひにあらず、又假令行はるゝも我は正義のためこれに對抗するの決意をもつて邁進すれば足る、日支間に於て簡單に解し得べかりし事柄を遂に世界的紛亂の動機たらしむる如き事あらば實に一、二者に誤まられし聯盟理事會そのものの過失であり全責任は理事會にて負はねばならぬ

中央直屬軍の主力を 安徽、浙江方面に集結
國民政府對日戰備を急ぐ

【天津特電三十一日發】中央は政府を河南洛陽に遷し中央直屬軍主力を安徽、浙江方面に集結し、徐州、蚌埠に在る空軍を安徽某地點に集結せしむるやう昨夜全軍に出動命令を發した

王樹常軍も動員令

【天津特電三十一日發】蔣介石、汪精衞等要人連は日本に對し宣戰布告を決議した上、三十日午後三時二十分浦口を出發し洛陽に向つたとの報を得たる王樹常は昨日第二軍司令部に各將領を召集緊急軍事會議を開き當地河南一帶は先づ保安隊を以て警戒に當らしめ必要に應じては第十五旅の一部を增援又河北一帶は第十五旅團の他第廿九旅中より步兵一個團、迫擊砲隊一個團を增援に決し卽日準備動員令を下した

順承府で對日重要會議

【北平三十日發】學良は三十日午後蔣介石より今次上海事件は安部として絕對に忍ぶべからず全國一致して犧牲精神を發揮して國難に當れとの急電に接した、學良は三十夜順承府で對日態度協議の重要會議を開くが結局事なかれ主義に落着くものと觀られてゐる

ることに決したといふにあり、同時に國民政府は支那軍と飛行機の行動に關する一切の報道を禁止したが最少限度五臺の飛行機が本日上海に空輸された事は確である、なほ外交部の聲明は國際法の尊嚴のため締盟國が九國條約參加國會議を直に招集し有效なる策を執るべしと締盟國に要求し居り我海軍の行動を極度に罵倒して居る

中央要人北上

【天津三十一日發】洛陽遷都の宣言を發表した蔣介石、汪精衞、林森は卅日愈々中央要人殆ど全部と共に北上洛陽へ向つた、南京は軍政部長何應欽、外交部關係羅文幹、王正廷、蔣作賓等軍要人が殘つてゐるので蔣介石は飛行機を北平に派し學良の出馬を促した

鹽澤司令官 吳上海市長會見

【上海三十一日發】支那軍の撤退に關する鹽澤司令官の要求に對し支那側は今朝迄に何等回答せぬのみか我に三度砲擊を開始したので我軍非常に激昂してゐる、本日午前鹽澤司令官と吳鐵城市長と會見する豫定故、會見終了する迄我は支那軍が大砲による砲擊を開始せぬ限り我方は爆擊せぬに決した

蔣介石强がる
日本軍と敢然戰ふべしとて 全國軍隊に激勵電

【南京三十日發】蔣介石は本日一個人の資格で全國軍隊に對し日本軍と敢然戰ふべく左の如き激勵通電を發した

日本は漸次侵略を進め今や上海を攻略せんとす、われ〳〵は最早や默するに堪へない、軍人として國家のため戰ふ時が來た第十九路軍は上海で勇敢に戰ひつつあり彼等を見殺しにしてはならぬ

九國會議招集要求
南京政府外交部の聲明

【南京三十日發】外交部は滿洲事變と閘北への日本飛行機の爆彈投下に關する聲明を發表したが、內容は[illegible]

國際委員會を上海に組織の提議
ドラモンド總長から

【ジュネーヴ三十日發】聯盟理事會公開會議は昨日に引續き三十日午前十時（滿洲時間三十日午後七時）から開會されたが、一般議事審議終るや ドラモンド總長は上海の事態を調査報告せしむべき國際委員會を上海に組織すべきことを提議した

英米の共同勸誘に 佛は參加せず
日本の說明に滿足し

【パリ三十一日發】上海事件に關しフランス政府は、英米より共同動作を執るやう勸誘されしも日本の說明に滿足し參加しない事に決定した

佛下院議員の質問

【パリ三十日發】本日佛社會黨下院議員ムーテー氏は政府にフランスが聯盟規約九個國條約調印國として今回の上海事件に關し如何なる態度をとるかと質問通告をなした

軍事行動停止手段
支那、九國條約國に要請

【北平三十一日發】支那外交部は上海事件に關し九國條約國に日本の軍事行動停止手段を執らん事を乞ふた

對日經濟壓迫は 最も殘酷非人道
容易に戰爭に導びく危險 米上院ボ氏が警告

【ワシントン三十日發】米上院外交委員長ボラー氏は既に二十餘の各種平和團體が同氏に對しアメリカの對日經濟ボイコットを主張し來れるため本日ステートメントを發表し、之が容易に戰爭に導き得べき第一の手段なりとし、ボイコット論者に警告を發しボイコットは脅迫の性質を有するもので、最も慘酷な非人道的性質を帶びるものである、上海で日本がとつた措置及び同地の狀態についてどう人が思ふともボイコットは我國民の主張すべきものではない、一方議員キング氏はアメリカ及び聯盟による經濟ボイコットで日本を抑制せよと述べてゐる【寫眞はボ氏】

政府方針の重要協議

【東京三十日發】大角海相、芳澤外相は三十日午後五時官邸に犬養首相を訪問、大角海相は上海事件その後の形勢、芳澤外相は聯盟理事會の經過につきそれ〴〵報告し政府の執るべき方針につき重要協議

ド總長公文 委員會必要强調

【ジュネーヴ三十日發】聯盟事務總長ドラモンド氏は各理事國に公文を以て上海事件緊急調査委員組織の必要を强調した

在支米人保護方針

【ワシントン三十日發】アメリカ海軍軍令部長プラット提督は三十日左の如く語る

アジア艦隊に在支アメリカ國民引揚げのため出動準備命令を發した、而して支那暴民が多數のアメリカ人が居留してゐる揚子江沿岸を支配する場合はアメリカ國民の生命財產が危險に瀕するから、卽刻彼等を引揚げさせる必要があるならば右の措置に如何なる反對があるとも斷乎として實行するであらう

我遣外艦隊に 有難きお言葉
參謀總長宮殿下 谷口軍令部長を通じて

【東京三十日發】參謀總長宮殿下には我が遣外艦隊の奮鬪を聞し召され三十日午後谷口軍令部長に對し左の如き有難きお言葉を賜つた

上海事件における第一遣外艦隊の奮鬪とその尊き犧牲とに對し深甚なる感謝と崇高なる同情を表する旨第一遣外艦隊司令官に傳へられたし

在寧米人に引揚準備命令

【南京三十日發】當地駐在米總領事は事態急迫に鑑み南京居留米人に對し何時でも二時間の豫告期間後南京を引揚げ得る樣準備方を命令した

米艦隊に待機命令

【ワシントン三十日發】米政府は上海方面における日支關係を重視し本日米アジア艦隊に對して在支アメリカ人撤退を掩護し或はその生命を保護する任務に就くべき準備を整ふべしとの命令を發した

更に突き進んで わが意向を聽取
英大使、外相を訪問

【東京三十日發】英大使リンドレー氏は二十九日に次いで三十日午後四時外務省に芳澤外相を訪問三十分餘會見した、右會見は前回同樣上海の事態に關する帝國政府の對策に關し更に突き進んで政府の意嚮を聽取したもので何等抗議的性質を有するものでなかつた模樣である

理事會に對し注意を喚起
わが代表部の方針

【ジュネーヴ三十日發】理事會の規約第十五條適用は確實となつたが、右につき佐藤代表は會議後更に議長ボンクール氏を訪ひ、理事會の眞意を質しそれよりホテル、メトロポールの代表部に佐藤代表伊藤述史氏等一同參集深更まで凝議對策を練つた、日本代表部としては取敢ず議長の

一、支那提案を精査せず認めた點

一、支那代表の薄弱なる情報を根據とした點

につき理事會に對し注意を喚起する方針に基き今後の對策を本國政府に請訓した、規約十五條適用は先例もあり聯盟對代表部の衝突を意味するものに非ずとし日本代表部は樂觀的見解を懷いてゐる

便衣隊依然活躍

【上海卅一日發】我軍は吳淞路と武昌路附近で便衣隊二百を昨夜から本日正午迄に逮捕し日本人クラブに連行した、武昌路橫濱路では便衣隊狩りさかんである

【上海卅一日發】本部屋望臺で見張中二等機關兵山崎巖氏は狙擊され轉落卽死したが、右犯人は本部西北の家屋內から射擊せる便衣隊なる事判明せるより、本部では附近の便衣隊狩りを强行中である、なほ山崎二等機關兵はダムダム彈を咽喉から背に向け貫通されてゐる

【上海三十一日發】三井物產社員渡邊篤氏（福島縣人）同澤敏雄氏（山口縣人）は昨夜第一線警備中流れ彈に當り重傷した

【上海特電三十日發】支那當局は英、米の調停に一縷の望みをかけてゐるが現在の狀態では假令英、米が乘出しても何等緩和の途なきものと觀られてゐる、のみならず支那民衆の態度頗る强硬に赴き正規軍の積極的行動を要求すると共に各軍隊は互に督勵して便衣隊の組織を急ぎつゝある

【上海三十日發】支那正規兵の便衣隊は北四川路桃山ダンスホール附近に現はれて我軍に機關銃で猛擊したが我軍は彼等の本據たる支那百貨店を破壞して十五六名を逮捕した

【上海三十日發】今朝九時半陸戰隊本部西隣りの建物に便衣隊現はれ繩梯子を使用して屋上より陸戰隊本部に手榴彈を投げんとしてゐる者あり、我軍は直にこれを逮捕した

【上海三十日發】午後二時半頃六三花園の北から便衣隊の一集團押し寄せたので我裝甲車は一齊射擊を加へた、便衣隊は直に附近民家に逃げ込んだので之れに砲火を浴びせたところ遂に火災を起したが調査の結果右家屋は便衣隊の支部と判明した

【上海三十日發】便衣隊の活動依然止まず陸戰隊はその掃蕩に極力努めつゝあるも今朝來北四川路その他の支那家屋から三十名の便衣隊を逮捕した、十一時過ぎ橫濱橋附近で便衣隊搜査の際、我陸戰隊第一中隊第一小隊長特務少尉仲地幸治氏は突然射擊され足部に負傷し、他にも三名の負傷者を出した、これで我軍の死傷者は聯來十名に上つた

【上海三十日發】支那軍が今朝から大砲を租界內に打込み始めたため最も安全な邦人の居住區域とされてゐた虹口方面一帶は極度の不安に陷り、加ふるに便衣隊の活動愈々猛烈となり今朝から正午迄に警備隊と自警團で逮捕又は射殺した者約五十名に上り我方もまた十數名の負傷者を出した爲め市中は到るところ流血をもつて彩られ陰慘の氣が漲つてゐる

夜襲計畫對策

【上海卅日發】支那軍卅日夜夜襲の計畫ありとの報に卅日上海待機中の第三戰隊特別陸戰隊は夕張、安宅の特別陸戰隊と協力日本人クラブを中心に警備にあたつた

若し支那軍が敵意を示せば決行すべく我軍の氣勢頓にあがる

我警備線に 支那野砲彈命中
死傷廿餘名を出す

【上海三十日發】三十日午後五時陸戰隊本部の橫通りたる黃羅路の我警備線に支那の野砲彈命中し卽死軍屬傷者二十名を出し、邦人三名負傷した

我軍警備兵力

【上海三十日發】鹽澤司令官の聲明に依ると現在在滬警備艦と陸戰隊數は吳淞にある鳳翔加賀能登呂の外軍艦二十餘隻特別陸戰隊五千名となる

抗日義勇軍の證據品を押收

【上海三十日發】陸戰隊は卅日午後四時本部前四階建物を搜査の結果抗日義勇軍の帽子その他證據品を押收した、右建物は事變發生以來本部を射擊する抗日義勇軍の本據となつて居たものである

協定を無視して 我陣地砲擊
信用し難い支那軍

【上海三十一日發】支那側は今朝一時二十分及び四時四十分頃約定に反し北停車場附近より不意に我陣地を砲擊し來た敵は野砲を有し陸戰隊これに應戰し五時過ぎ支那側を沈默せしめたが午後一時頃から再び我方に向ひ砲擊を開始し一時十分頃老靶子路附近に三發落下死傷者なき見込みである

陣地戰繼續

【上海三十一日發】卅一日午前六時全線に亘る陣地戰依然續行中本部附近には盛んに銃丸落下しその後敵の砲擊はないが我軍は既に當地に向つて航行中の第一航空戰隊との連絡がされたので敵が再び砲擊を開始せば空から爆擊の筈である

支那軍の砲擊を警戒

【上海三十一日發】海軍發表、廿九日支那側から攻擊に出でざる申出あり、當軍はもとより交戰の意思なきを以て休戰の約定をなしたるにも拘らず支那軍は時々警線前を砲擊し昨夜未明も猛烈なる砲火を送り來れり、當司令部においては支那側の態度に鑑み不安を感ずるに至れるを以て支那軍隊の眞相を知る必要上飛行機をして偵察する事とし多數飛行機を出發せしめたり

十六機偵察飛行
爆音轟々天地を蔽ふ

【上海卅一日發】卅一日午前九時航空母艦加賀と能登呂から離艦した我爆擊機は艦隊の戰陣を組み合計十六機同九時三十分上海の上空に現はれ爆音轟々と天地を蔽ひ全市ために震撼す、未だ爆擊は開始

英國軍隊 上海に到着

【上海三十日發】三十日午後四時英國ウイルトシヤー聯隊の兵員七百五十名が當地に到着直に警備についた、右を輸送した運送艦ランカスターシヤ號は當分當地に碇泊する筈であるが、英國は今後の形勢如何により香港から更に二千の陸兵を增遣する計畫であると

南京方面に 軍艦派遣要請

【ワシントン三十日發】南京駐在米總領事ベツク氏は本日米政府に南京蕪湖方面の事態惡化に鑑み更に前記兩地に驅逐艦を增派されたしと要請した

支那商民が 英租界殺到

【上海三十日發】支那軍隊は邦人の密集地帶たる虹口方面の砲擊を開始した爲め虹口一帶の支那商民約四十萬は今夜支那軍が租界たる虹口を武力回收のため占領するとの說傳へられ大混亂に陷り午後三時半避難民は雪崩を打つて蘇州河以南の元イギリス租界に殺到した支那軍の租界進出說は相當確なる方面から總領事館にも情報あり今夜は最も警戒されてゐる

支那軍、英兵と激戰

【上海三十日發】支那軍は午後二時半に至り市の西部に進出し猛射を開始したのでイギリス軍隊出動しこれと激戰した

今後情勢如何で 陸軍の派兵要求
陸海軍の共同作戰について 豐田軍務局長ら協議

【東京三十日發】豐田海軍軍務局長は三十日午後四時三十分陸軍省で杉山、小磯、梅津氏等と會見後の情勢推移如何によつては陸軍の派兵を要求するに至るやも知れぬ旨を述べて今後の陸海軍共同作戰につき重要協議を遂げた

【上海三十一日發】一隊と共に一千餘名上陸し午後三時混亂中の虹口を行軍し本部に向つた、なほ航空母艦加賀は午後滬外着、橫須賀より急行中の鳳翔は三十一日滬外着の豫定である

顧祝同軍到着

【上海三十一日發】廿九日朝南京を出發せる顧祝同軍約一萬は卅日午後到着した模樣で夜襲の說がある

支人避難民で 各租界混雜

【上海三十一日發】今朝のわが飛行機十六臺のデモンストレーション實行せんとの報道に膽をつぶした支那人は更に同樣佛租界、舊英租界に雪崩込み支那人避難民で租界の街々は一層の混雜を呈するに至り我總領事館附近も今や[illegible]の巷と化しこれに乘じ閘北、蘇州河橋に便衣隊が日本人襲擊を開始し始めたので陸戰隊はこれに應戰、これを擊退した、なほ附近倉庫の中に潛伏中の便衣隊を包圍目下搜査中、これと同時に便衣隊が我領事館附近に現はれ襲擊を企てゝゐたが警備の巡查隊に依り擊退された、その中で金屬なるものが逮捕されたが此奴は抗日義勇軍第二大隊の副官であると

陸軍出動を 居留民熱望

【上海三十日發】蔣介石は各將領に對して日本軍がこの上更に進擊して國土を護り餓死せんより十九路軍は曾つて玉碎を期せよと命令を發した、日支軍の關係今後更に惡化を豫想され陸軍の出動を全居留民より最後の賴みとして熱望されて居る

村井總領事が 陸軍派遣要請

【上海三十日發】村井總領事は廿日午後二時政府に陸軍派遣の要請をしたと確聞する、右は英米兩國が支那側より威嚇された結果共同租界の不安を感じ治安維持に我陸軍の派遣を希望し來たつたためだといはる

加賀、驅逐隊 到着す
陸戰隊直に上陸

【上海三十日發】第二十六驅逐隊は午後二時入港、第三戰隊の陸戰

ビ氏再組閣

【ウイン二十九日發】ビユレッシユ博士を首班とするオーストリア內閣は本日再組閣成立した

軍縮會議の 前途は悲觀さる
各種國際事情により

【ジュネーヴ三十一日發】開會を間近に控へた軍縮會議全權は本日を以て全部出揃ひ、六十四ケ國となり國際都市の空には各國旗が飜へつてゐる、二月二日の開會式は午後三時三十分聯盟總會に使用する大廣間にて開かれスイス代表の歡迎辭議長の演說で始まり第一週は演說、第二週から三、四週間は一般討議あり政治、陸軍、海軍、空軍、豫算各委員會に分割討議開始の筈、なほロシア、ドイツ、イタリー等の難關あり四月には佛、獨の國內問題や四月十二日から國際勞働會議を控へてゐるので、三月廿七日から復活祭を機會に三週間位中休みする事となる模樣、日支問題の惡化や世界的不安の眞最中の開會とて會議の結果は多大の注意を惹いてゐるが、結局ロンドン條約の滿期日迄三年間軍備休日といふやうな程度の御土產位が關の山だらうと觀られ悲觀されてゐる

軍縮會議延期協議

【ジュネーヴ三十日發】當地にある各國代表は日支問題討議中の理事會を更に數日間これが討議を延長繼續せしめんがため二月二日開會の軍縮會議は議長ヘンダーソン氏の開會の辭のみで一先づ打切り暫く會議の繼續を延期することゝすべく目下寄々協議中である

新滿蒙建設の私見
集團農業の經營方法 （七）

難波勝治

さうした政治的暗礁は今や時局の爲に破壞されました、まだ正式に規約されるまでに至らないが、既存權益としての主張は最早拒げられるべき餘地がありません、其處で起つた問題は今後の農業移植民計畫であります、多くの論者は一定區域に於て集團農業を經營せるが好いと唱へて居ますが、これには私も同感であります、しかし其處に二三の注意點があつて、日本人だけの專斷でなく、支那側とも十分の諒解を計つて組立てられねばなりません、何となれば他の商工業と異り、移植民を主とする農業經營は最も鄭長な實業な事業であつて、國際的調和と協調して互助共益の基礎を作らればならぬからであります、日本人は餘りに性急で且つ協同心に乏しいとは、屢々第三者から受ける批評であります、私はそれが果して國民の本能的素質であるかどうか知りませんが、不幸各地でさうした實例を見聞しました、又過去の滿洲農業を回顧しましても、その類證は決して少くない、久しい間招租問題の停頓した不便も去ることながら、この不便を一層紛糾させた原因中には、各人各戶が冷靜に反省せねばならぬ點があります、若しこの勇氣と度量とを缺くならば、如何に好い條件でも、その實行に當つて幾多意外の難關に逢着するなきを保しません、先進國人としての自覺が熾烈であればあるだけ、さうした飽和力も旺盛であるべき筈であります、

そこで右の集團農業計畫でありますが、理想からいへば滿蒙の風土氣候は、丁抹や、伊太利などで見るやうな、各人各戶が組織的に築き上げた農園の集結に適してゐるとも考へられますが、今なほ草賊の橫行に任せ土地の警備事項や、地方の交通未だ整頓しない點に徴し、一大集團區域を劃定して、指導、警備、分配など諸般の行政を資本的、組織的の下に置くのが適當でありませう、ただ問題はその集團の組成分をどうするかであつて、或人は純鮮人農村の樹立を唱へ、或人は日本內地人の大農村扶植を主張したりして居ます、併し私はその孰れにも贊成し得ない、少くともそれには理利共に大きな矛盾があると信じます、自國領土內に於てすら、一民族の純農村には非常に不便があります、私はその實例を臺灣や朝鮮の各地に散見しましたが、況して滿蒙は主權傳統を異にする地域であつて土着先住者との雜居親和に重きを置かねばなりません、世間では總ての爭ひは雜居混住から發生するやうに考へて居ます、しかし事實は決してさうでなく、大なり小なり孤立と孤立との對立に起因するのが幾んど何處でもの交通現象であります、北米合衆國の如き自由境に於てすら、黑白兩人種の根本的和親に惱んで種族の差別觀に新しい考へ方を出しました、況んや歷史、文化、人種の同一系に屬する滿蒙在住者の協和には、何物よりも國籍觀念が稀薄にし、社會的交通觀念が培養されねばならぬやで、其處に近來勃興した平和境建設の理想があります、

一口に平和境と申しますが、その第一步は個人間の親睦であり、次は團體間の融和であつて、集團植民地はこの原則の上に形づくられねばなりません、しかし問題はその融和力培養の基礎的具體方法でありますが、既に集團農業である以上、その地域は相當廣面積の選定が必要です、少くとも幾千町步から一萬町步に達しませう、さうした地域は土壤も地形も決して單純でない、丘陵あり、平野あり川流林地、互に相錯綜して各種の農業方針を調查策定せねばなりません、其處に同時に各民族配置に關する考慮が要ります、卽ち低濕の地域には水田農業者を、丘陵高地には早作者を、若くは放牧の適任者を分類集結させ、更に產物の精選加工に就てもそれぞれ技術の執務とを要します、この意味において日鮮支各種族は互に異なる傳統的長所を有し、相俟すことなくして長所を發揮させ得ます、それを統制するのが組織と資本力とであつて、住民の教育、衞生、警備は勿論、生產物の配給、必需品の共同仕入、金融など、綜合的に處理斡旋することを得、之が補助支援に就ても一定の方針を執ることが出來ます、世人動もすれば民族の產業的競爭において、彼此の間に根本的優劣の標準を評定しようとします、現に朝鮮內に於ける蔬菜農業は、鮮人が遠く支那人に及ばぬこと明らかであります、併し東部滿洲一帶の水田農は本能的に前者が卓越して居り、機械作業に關する考案進用に至つては、日本や島人は東洋の如何なる國民にも優つて居ます、かうした差別は勿論絕對的のものではありません、併し大衆の現狀から見れば何人も之を否定するとは出來ぬ、それを綜合的に利導する處に滿蒙開發の正道があり、更に之を集結融和さすことに依つて、共存主義の實現に向つての底力を培養成熟せしめ得ると思ひます、私はかうした各民族集結の大農園經營を中南米到る處で實見しました、而して若しこの方針にして所期の效果を收めんか、一波は萬波を惹起して滿蒙全局にその感化を普及すると信じます、滿蒙新建設は口言ひ易くして行ふに難い、殊に移植民問題の如きは獨り右樣の方法のみでなく、個人の奮鬪に待つべきものも多々あつて、それを一律に卒論することは出來ませんが、以上に概述した交通、產業の發達と同じく、農牧業による建設の中堅的使命を有する一機計だと信じます。

社説

曖昧なる規約十五條
上海事件調査委員會の設置

國際聯盟公開理事會は、二十九日に引續き卅日午前十時二十分開會され、事務總長ドラモンド氏の上海事件調査委員會組織案を可決した。委員は事件發生當時現場に駐在せる理事國の公使となし、米國公使も參加し得る事とした。既に事務總長から米國に參加の勸誘狀を出して居る。この討議に際して、支那代表は、規約第十五條の適用を、滿洲にも及ぼすべきだと力說したが、事務總長はこれを斥けた其理由は、滿洲問題に關しては既に支那委員會が組織されて居る。故に滿洲問題は、此委員會の報告に據りて解決を謀るべきもので、今更屋上屋を架する必要はないといふのであつた。他の委員も、この意に隨つて今度の調査委員會に贊成したのである。これにより吾人は「今度の日支事件の爲めに、國際聯盟から任命した調査委員會は二個である。而して一は滿洲事件に關し、他は上海事件に關するものである。而して同時に、假りに規約第十五條の適用を見るも、問題は上海事件だけに限るとの限界が立てられた事」を注意しておくものである。

◇

我佐藤代表は「上海における我軍の行動は支那軍の攻擊に對する防衛と、我國民の保護を目的と爲す、此點全然滿洲における我軍の行動と同樣である。敢て彼此を區別すべきものではない。且つ上海が決して第十五條を適用すべき狀態に在らざる事を日本が主張する。それにも拘らず、理事會は支那の附託を受理する事が出來るか」との法理論を持ち出した。此點は吾人も曾つて論じた所である。これに對して、英國其他の代表の反駁があつたが、斯くの如き法理論が出て、各代表の間に意見を異にする場合には、これを纏める法律的方法がない。そこでボンクール議長は一歩を讓つて、此の法理論の決定は、後日に讓る事と爲し、現在の處置に第十五條第一項だけを適用する事にしたい。此旨を佐藤代表から日本政府に報告されたしと申し出でた。察するに「支那が其規約上の權利を行使した以上、これを無視するわけには行かぬ。何とかしなければならぬが、それには調査委員を設けて、先づ事實如何を知る事に着手するより外には、理事會として採る可き方法はないではないか」といふのであらう。佐藤代表はこれを容れたと通信は傳へてゐる。

◇

思ふに、議長の意思は、これによりて必ずしも、第十五條に據る審理を進めたいといふわけではない。若し其第二項を引用して、双方に陳述書と事實報告書の提出を要求するならば、第十五條を全然適用する事になつた譯だが、さうではないといふのであらう。この見方よりすれば十五條を適用したのか、しないのか、曖昧の狀態にある。或は半適用ともいふ可き狀態になつて居る。併しながら、我國の立場からは、半分でも一部でも適用する事を承認してはならない。一部適用の意味でなくして、事實を調査するといふならば其委員會を認めてもよい。我佐藤代表は、此點を明白に留保したであらうと思はるゝが、萬一にでも不用意の點あれば、有耶無耶の中に、第十五條の適用に引込まれる虞がある。

哈爾賓方面略圖

輸送列車を長春に返して 長谷部旅團徒歩で前進す

危殆に瀕してゐるハルビン在留民保護のため出動の途中にある長谷部旅團主力部隊は廿九日午後八時五十分長春發以來双城堡までの百八十九キロを四十時間以上も費し北進を續けつゝあるが、ハルビンの狀態が後續部隊を必要としてゐる今日かゝる長時間を要する列車の運行では軍の作戰上頗る憂慮されるので、長谷部旅團は双城堡到着と同時に下車し運行中の全列車を長春に後送せしめる方針に定め該列車は三十一日未明ごろまでに長春に歸還の豫定である、多門混成主力は同列車の長春着と同時に野砲隊、戰車隊、機關銃隊及び歩兵主力等に前進命令を下し遲くも三十一日中には長谷部旅團應援のため出動する模樣である、長谷部旅團は双城堡で下車、同地に野營して完全なる戰鬪準備を整へ五十一キロを徒歩にてハルビン入城を決行すべく三十一日中には目的地に達するものと見らる【長春電話】

飽くまで皇軍に對抗
一方、勞農政府に援助を申込む

【ハルビン三十日發】反吉林軍前敵總指揮丁超以下領袖連は緊急軍事會議の結果、國家のため飽くまで日本軍に對抗する旨を決議し、その旨勞農總領事スラツキー氏に通告し一方救國義勇軍の名をもつてモスクワ政府に援助を申し込んだ

皇軍出動に對して 東支鐵道が妨害す
鯉登第〇師團參謀記者團に發表

三十日午後二時第〇師團司令部たる長春ヤマトホテルにて鯉登參謀は記者團に左の如く發表した

我軍のハルビン在留邦人保護のため出動することに對し東支鐵道は表面平靜を持し居るも

陰に陽に 從業員をして阻止妨害してゐることは事實である、橋梁の燒却、線路の破壞、轉轍ポイントの逆轉等言語に絕するものがある、これを排除修理しつゝ前進する長谷部旅團のハルビン入城は非常な困難であるため北行は豫定通りには行かぬ、本日飛行機の偵察によるも拉林河の鐵橋も一部破壞され居り、その以北における線路破壞も多數あり、然し双城堡その他南部線には敵影を認めず、旅團は今夜多分双城堡に到着の豫定である

反吉林軍 はハルビン南方地帶馬家溝方面にもあるが市內に潛入してゐる模樣である、後續主力部隊の出動については研究中であるが、徒歩行軍とか線路狹作のため線路敷設等のことはない、矢張り長谷部旅團の輸送終了を待つて同列車を使用する外あるまい、馬占山軍の反吉林軍援助出動などはない筈だ【長春電話】

長春に待機の部隊 きのふ午後進發す
軍需品も同時に輸送

長春において待機中の第〇師團は軍需品輸送のために長春において三十一日午前十時から馬車自動車の强制徵發をなし午後一時に馬車七十臺、自動車二十數臺を得たので馬車は直に長春驛構內貨物フォームに入れて軍需品の積込みを爲し自動車は第〇聯隊の兵員を乘せ午後四時ハルビン方面へ向けて出發させることゝなつた【長春電話】

獨立守備隊が 鐵道警備

芳賀大尉の率ゐる獨立守備第〇中隊は既報の如く二十九日夜十七臺の自動車で東支線米沙子停車場を中心に警門迄の灰色軍の武裝を解除してその儘我軍の列車運行警備の任に就いたが警門より石頭城子驛迄の鐵道警備は平賀大尉によつて獨立守備第〇中隊がこれを行ふべく、今夜裝甲自動車三臺、バス、トラック十臺に分乘警備任地に向ひ更に長谷部旅團がハルビンに到着すれば第三次の警備區域として追安少佐の獨立守備第〇大隊が石頭城子以北を警備する筈である【長春電話】

在留外人の外出禁止
駐哈各國領事

【ハルビン三十日發】事態の重大化に伴ひ各國領事はそれ〴〵居留民に外出せざる樣警告を發した

滿鐵病院患者 安全地域に移す

【ハルビン卅日發】市內の險惡化となり我が武裝義勇隊の警備區域縮小の必要に迫られ卅日午後六時三十分滿鐵病院患者を安全區域に移した

わが鐵道部隊 双城堡へ向ふ

わが鐵道聯隊〇中隊は三十日午後六時長春發双城堡に向つたが同中隊は破壞された橋梁、線路、ポイント等應急修理をなし完成のため三十日夜双城堡發歸長の途につく空軍の誘導をなす筈である【長春電話】

東支鐵道に列車提供を交渉

わが軍部では東支鐵道管理局に對して今回わが軍がハルビン邦人保護のため出動するもので東支鐵道に對しては何等損害を與へず車輛は無償にて使用するものではないから軍隊輸送のため列車を提供されたいと交渉中である【長春電話】

反吉林軍に 軍資金提供
東支鐵道から

【ハルビン三十日發】双城堡方面し反吉林軍は續々後退ハルビン郊外に集中しつゝあるが反吉林軍の兵力は一萬一千である、今朝呼海鐵道沿線に移つた馬占山軍八千はハルビンの東方に前進し陣地を構築中である、一方東鐵は莫大な軍資金を反吉林軍に提供したことによつて露國側の反吉林軍援助が暴露するに至つた

蘇德臣、常堯臣 吉林軍に歸順

双城堡駐屯獨立歩兵廿二旅長蘇德臣及び農安縣城駐屯獨立騎兵七旅長常堯臣は時局切迫と同時に吉林に赴き熙長官に歸順を申出でた爲その誠意を認め吉林城軍事高等顧問として登用するに決定した、尙双城堡における蘇德臣の軍隊は李旅長によつて廿九日武裝を解除された、因に蘇、常は目下吉林滯在中である【長春電話】

營口駐屯部隊 長春へ出動

營口駐屯の第〇〇聯隊は三十日長春に向け出動した、當地には一個〇隊が殘留してゐる【營口電話】

遼陽部隊 續々北行

遼陽驛方面に匪賊討伐に出動中であつた奉天歩兵第〇〇聯隊の名倉大隊は三十一日遼陽に歸着、同日午後六時發臨時列車で奉天に集結の上北方に出動の豫定、又遼陽步兵〇〇聯隊の小園江大隊は三十日夜城西より歸還更に三十一日午後八時發臨時列車で北方へ出動した【遼陽電話】

双城堡負傷者 長春に送還

長谷部〇團を双城堡驛に下ろした空車は直に長春に引返すこととなり歩兵〇個小隊、機關銃〇挺が掩護の下に双城堡を出發長春へ向つたが同驛南方四キロの地點に於て有力なる敵の攻擊を受け止むなく午後零時半一旦双城堡に引返したこれがため更に歩〇個中隊、重機關銃〇挺、山砲〇門を增加し再び双城堡驛を出發せしめた、尙双城堡の激戰における負傷者は右空車に乘せて長春に送還し來る筈【長春電話】

司令部發表の狀況

第〇師團司令部三十一日發表、

一、東支南部線双城堡驛附近においてわが軍は支那正規兵三千（多くは騎馬兵）の襲擊を受け約二時間に亘り交戰したのち敵を北方に擊退せり、この戰鬪においてわが軍は下士以下十四戰死、負傷者將校二十を出す、敵は戰場に約五百の死體を遺棄せり

一、本朝、長春を出發せる高野中尉、林軍曹の操縱する偵察機は正午ごろ、蔡家溝附近において敵の射擊を受け不時着陸せしも機體その他異狀なし

一、敵は依然として東支沿線にあり、頻りに鐵道線路を妨害しつゝあるため、わが軍のハルビン入城は今のところ不明【長春電話】

後續部隊到着を待ち北進

【双城堡三十一日發】双城堡に集結の丁超軍は三十日漸次後退を開始しハルビンを距る南方二里のイシテンダンスキー附近を中心に東北に陣を張りその數約五千の護路軍と反吉林、反黑龍軍が集結されあり、日本軍は一歩もハルビンの周圍に近づけずと豪語し同地を死守してゐる、皇軍は三十一日ハルビン入城を見合せ、當分英氣を養ひ後方より第〇師團後續部隊の集結を待つに決した、尙敵が治安を攪亂するならば斷乎膺懲の決心を持し待機中

皇軍輸送應諾

三十日午後八時半ハルビン特務機關より長春鐵道事務所に達した情報によれば、中東鐵路管理局は遂に皇軍の輸送に應ずることゝなり局長は同夜發南下した【奉天電話】

安東驛保稅倉庫 海關當局認めず
滿鐵で對策を調査

安東海關は安東驛における保稅倉庫を認めない旨を滿鐵側へ傳へた右は安東驛は形式上保稅倉庫がないから、といふにあるらしいが、右による時は一應安東驛に輸入し再輸出する時は輸入稅及び輸出稅を徵收されることゝなるので安東驛の受くる打擊は甚大なるものがありセンセーションを起してゐる、右につき滿鐵側では實情調査と對策考究中【安東電話】

滿蒙の經濟建設に 在滿人士こそ最適任者
社外からの協力と援助を望む
十河滿鐵理事歸連談

昨秋腸チフスに罹り奉天醫院退院後は專ら東京において靜養中であつた十河滿鐵理事は既報の如く下り旅客機にて卅一日十一時京城發、濃霧のため約一時間半遲れて同午後〇時〇分周水子飛行場着、石川總務部長、谷川職事部次長、清水同庶務課長、林秘書係主任その他多數の出迎へを受て直に本社に自動車で歸つたが約二ケ月間の靜養にて

潑剌 たる元氣を回復した理事は記者團との會見において左の如く語つた

大分永く休まして貰つたのでこれからうんと勉強する積りで歸つて來た、今度の經濟調査會の活動に關する具體的な細かい問題は何しろ赴任匆々ではあり委員の打合會の如きも何時開くかまだ定つてゐない、實は今回の調査機關とは別に昨年事變前に自分は姑息な手段を廢して社業の根本的建直しを實現する爲この種の全面的な滿蒙の經濟調査機關の新設を正副總裁に建議したことがあつたが今度それが

事變 の勃發によつていよいよ現實の必要となり實現を見た譯である、斯かる事業は最早や滿鐵の社の內外を論じてゐる場合でなく社會的地位や職業を問はず廣く天下の衆智をあつめて新滿蒙の經濟建設のために「最善の策」を樹てるべきであつて特に內地方面にも立派な意見があるとはいひながら結局現地にあり多年各方面の事情に通曉せる在滿人士こそこの種の事業に參加して貰ふ最適任者であつて自分は切に今後北意における社外各方面からの協力と援助を

希望 したいと考へてゐる、內地は今各地とも總選擧で騷いでゐるが選擧の結果については大體政友會が絕對多數を獲得するや否やは別として多數黨になるだらうといふ觀測が行はれてゐるのだつた【寫眞は旅客機から降りた十河理事】

園公の意見 悉く同感
內田滿鐵總裁談

【東京特電三十日發】興津坐漁莊の西園寺老公を訪問した內田滿鐵總裁は今夜六時四十分新橋驛着列車で歸京した、驛頭には大淵支社長その他多數の出迎へあり、總裁は驛長室において大淵支社長より滿鐵本社の情報、上海の情報等重要事項の報告を受け、非常な元氣で西大久保の自邸に向つた、これより先內田總裁は車中にて語る

今朝久振りで西園寺老公と會見したが老公は少々咽喉を痛めてをられたが頗る御元氣で色々と話された、自分は主として滿鐵の現狀について報告したが老公は何でもちやんと承知し要所々々をすかさず質問された、その頭の聰明さには自分も大いに驚嘆した、老公としては隨分打解けた話をされたがその內容はこゝで話すわけに行かない、しかし國家の元老として老公の考へになつてゐることは吾々の心より共鳴する所である、老公は特に滿洲出動軍の日夜たゆまざる勞苦に對し絕大なる感謝を述べられて居つた

尙總裁は差支へなき限り來月三日午後九時二十五分東京驛發歸任の豫定である

王大中氏起用

元奉天被服廠長王大中は廿九日家族を取纏め吉林に向つた同氏は張學良のため被服廠長を罷免された後は浪々として不遇にあつたのを今回熙長官に高等顧問として救ひ出されたものである【長春電話】

龍口邦人から恤兵金

龍口在留日本人有志は滿洲において同胞保護のため身命を賭してゐる皇軍將士をねぎらふ爲め恤兵金として金四十八圓を集め二十九日右代表として山下丸機關長佐伯廣雄氏が託されて本社を訪問依賴したので本社は直に其手續をとつた

駐支英公使

【天津三十一日發】シベリヤ經由歸國の途長春まで行つたランプソン公使はハルビン事變で東支鐵道の不通と上海時局重大化のため直に引返し天潮丸で本日午前十時天津に到着した英總領事と打合せの上本日中に北平へ向ふ筈

樞府可決條項 官報號外で公布

【東京三十一日發】三十日の臨時樞府本會議において可決の條項左の如し

一、滿洲事件に關する經費支辨の爲め公債發行に關する件（勅令第六號）

一、昭和六年度に於ける國際償還資金繰入れ一部停止に關する件

勅令第七號は三十一日夜九時二十分東京着大阪より歸京の三土遞相の副署を得、上奏御裁下を仰ぎ緊急勅令に關する上諭を附し卽日官報號外で公布實施される筈

勅選三名缺員

【東京三十日發】貴族院勅選議員缺員は二名のところ二十九日大津淳一郎氏逝去につき都合三名の缺員を生ずるに至つた

うらる丸の船客

【門司特電三十日發】一日入港豫定のうらる丸の主なる船客諸氏

滿鐵社員鍋島嘉門、供給組合員關野唯一、宅合名社員宅昌一、服部製作所宮垣健、帽子商町田精衛、杉山篤兵、日清生命中村猛司、滿鐵囑託矢部幸一

關東廳辭令（二十九日）

任關東廳遞信技手（二十六日）　岩崎清二

關東廳遞信技手　岩崎清二

關東廳遞信書記補　松尾英夫

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

關東廳辭令

關東廳警務局長　林壽夫

大連市計畫委員會委員を命ず

人事

▲高木義枝氏（日本國防新聞社長）三十一日出帆のはるぴん丸にて歸阪

▲岡田猛馬氏（滿洲青年聯盟理事）同上

▲上田中學軍隊慰問團一行四名同上歸國

▲高見三吉氏（大阪商船支店長）上阪中の處一日入港のうらる丸にて歸連の筈

大觀

支那側の巧妙な泣き落しに聯盟理事會復もうつかり乘る▲所謂「規約第十五條」の適用に關する受諾が卽ちそれであり▲さらぬだにやゝこしくなつた觀あるが▲元來この規約は「國交斷絕の恐れあり」といふ前でなければ其適用も意味をなさぬ▲そこで現下の實情を例へていふならば臆病な癖に陰險な子供が他の子供の後からチョッカイを出し▲「何にッこの野郎！」と振り向かれ、その拍子に拳固の一つも頂戴すると忽ち慄えあがり▲「あれえ、小父さん助けてえ！あの子があたひを殺す！」と悲鳴をあげる、それにさも似たり▲此の場合、その小父さんなるものが双方の言分をよくも聞かず▲「こらッ喧嘩する奴惡い奴だ、貴樣が强いな、貴樣が惡い惡い」と取りあげたものと假定せよ▲强い方の子供は假令それがどんな小父さんであらうとその不公平な措置に憤慨するのは當然といふべく▲餘り偏頗な態度をとられると假令相手が大人でもそのまゝ措かぬと決心するやうなこともあらうではないか▲現に支那側は「國交斷絕の恐れあり」といふがこれに對し日本側は「國交斷絕の恐れなし」と見▲「若し眞に平和的解決の誠意あるならば國交斷絕を云々する前に何故直接交渉を開始せぬか」といつて居る▲平たくいへばチョッカイを出して睨かされたら先づ潔よく詫まるがいい▲詫まる代りに他處へ持つて行つて屆けるのは卑怯でもあり、順序も違つてゐる▲それにしてもわが代表が「世界の平和は危殆に瀕する懼れあり」の一言、ピクリと利いて近頃痛快▲「庭越しの氣合の聲や冬鶯子」

吉長線下九臺全く匪賊團が包圍狀態
何時襲はれんとも圖り知れず　在留邦人吉長に引揚

吉長線下九臺は日本軍がハルビンに出動せるため目下吉林の守備隊百名により守備されてゐるが、同地北方十五支里地點に匪賊約五百名、東方には過般樺皮廠を襲つた騎馬匪賊五六十名、西南約二十支里には約三百名の武裝した匪賊あり同地は包圍された狀態となり住民はこれがため何時襲はれるやも知れず戰々兢々としてゐるが在留邦人婦女子は廿九日吉林、長春に引揚げを開始した【長春電話】

匪賊、橋梁を毀し　打通線運轉不能
電信も一切不通となる

匪賊の横行盛んなる打通線十河堡泡子間における第四十一號橋梁は第七百四號列車通過後匪賊の爲め破壞され運轉不能に陷つた、又電信一切不通の爲め詳細不明であるが電信電話の被害も甚大なるべく泡子附近は匪賊の掠奪を受け同地住民は打虎山に引揚げた、尚列車は新立屯より打虎山に折り返し運轉中にて奉山鐵路局では直に橋梁修理員を現場に急行せしめた【奉天電話】

一萬五千の匪賊　溝帮子襲撃
我軍先發隊を擊退

【溝帮子三十一日發】三十一日夜匪賊は當地の電線を切斷したため市中は全く暗黑化したこれを機に匪賊五頭目聯合の匪賊團一萬五千は溝帮子襲擊を企てつゝあり、當地わが○團司令部は俄然緊張し軍事郵便局を○中隊宿舍に移しこれに備へつゝあつたが、三十一日午前零時匪賊先發隊二百は溝帮子驛西南五百米の地點に來襲我軍これを激擊し交戰三十分にして擊退したが市民の不安去らず我軍も警戒を嚴にしてこれに備へつゝある

砲車を曳く　軍馬狂奔

三十日午後二時ごろ長春で待機中の野砲第○聯隊第○中隊が長春東一條通りと三笠町交叉點に差しかゝつた際、何に驚いたのか突然砲車を曳いたまゝ軍馬が狂奔し東一條通りを南に驅出し祝町交叉點の吉野菓子店の看板に衝突し、これを喰ひ止めやうとした砲兵三名は重傷を負ひ、うち一名は砲車の下敷となり腰部を轢かれ重態、一名は軍馬のため顏面を蹴られ、一名は下腹部及び顎を砲車に轢かれ右腕關節を骨折し何れも重態である【長春電話】

大石橋警察隊　剿匪情報

大石橋から匪賊討伐に向つた警察隊との連絡は電信電話不通のため鳩便によつて行つてゐるが、そのもたらした情報によれば

一、卅一日午前十時四十分大石橋警察討伐隊は土城子に到着林岩木の兩隊は後柳河子にて前進中坪總塞村長宅に目下五十名の馬賊幹部糧食中との情報により即刻前進中

二、交界鎭は目下大火災中、午後一時五十分老水閣に警察隊到着賊は西方に向け逃走す

三、午後一時五十分ごろ坪總寨に向ひたる鹽塚警部補の一隊は敵の八十騎より成る主力部隊と交戰これを擊退す

四、午後四時十分小花園の匪賊二十名西方丁家橋方面に逃走せるを以て目下警察隊追擊中この匪賊の頭目は九勝野龍の合流騎馬隊にして耿庄子方面に暴威を振ひたる匪賊なるものゝ如し【大石橋電話】

凶作地方の　義捐金募集

滿洲派遣師團の管下に屬してゐる北海道、東北地方の凶作饑饉は言語に絕してゐるので辛島大連民政署長、小川大連市長その他多數の知名士發起人となり、一は出征軍人をして後顧の憂ひなからしめ、他方同胞相愛の意味に於て今回義捐金を廣く市民より左の方法によつて募集することゝなつた

一、義捐金は一口五十錢以上任意
二、各發起人にて受付たる義捐金は市役所に於て取纏め寄附者名を大連、滿日兩紙に發表し受領證に代ふ
三、募集締切期日は昭和七年一月末
四、義捐金處分法は發起人に一任

二十四校參加し妙技を競ふ
小學生氷上大會成績

全滿小學校兒童氷上大會は三十一日午前九時より開催された、この日は晴れ渡る寒空に微風だになく絕好のスケート日和、定刻奉天春日校前田主任幹事の開會の辭あり直に競技に移つたが觀衆は千數百參加校二十四校にして五組に分ち行はれた、各組の優勝はA組安東大和、B組安東朝日、C組本溪湖、D組開原、E組奉天敷島校などにして十二時過ぎ盛況裡に閉會した

因に各組の得點は左の如し

A組　永安二二（撫順）大和二四（安東）彌生一〇（奉天）鞍山五、春日一六（奉天）

B組　室町二〇（長春）千金九（撫順）附屬二一（奉天）朝日二一（安東）遼陽一六

C組　西廣場二〇（大連）四平街一五、鐵嶺一二、本溪湖二五、營口五

D組　加茂一一（奉天）大石橋二一開原二六、公主嶺一〇、新屯九

E組　敷島二五（奉天）吉林一一、海城二四、連山關一〇

初ての試みで興味をそゝつた
年齡別卓球大會成績

滿洲體育團體聯盟後援滿洲卓球協會主催恤兵資金募集の年齡別卓球大會は三十一日午前十時より青年會、朝日、南山麓兩小學校、土佐町公學堂の四體育場において開催總參加人員二百五十餘名と云ふ大連始めての大多數の參加者あり、又最初の試みたる年令別の大會として果して何人が優勝するか優勝戰になるまで全くその豫想を許さず觀衆齊しく興味を以て各ゲーム每に拍手聲援を與へる、かくて午後三時半全ゲームを終了したが優勝戰の戰績左の如し

▲二十歲以下
田崎　3―1　若本
▲二十一歲以上二十五歲迄
沖原　3―1　和泉
▲二十六歲以上三十歲迄
森口　3―0　伴
▲三十一歲以上三十五歲迄
加藤　3―0　中井
▲三十六歲以上四十歲迄
八木　3―0　谷本
▲四十才以上
今永　3―2　田中
▲選手
河田　3―0　山田
▲女子
大野　3―0　富永
▲初等學校職員
殿村　3―2　渡邊
▲中等學校職員（團體リーグ戰）
A組　大連商業
B組　大連一中

大連ＯＢ軍　見事快勝
對關東廳體研　ホッケー戰

關東廳體育研究所對滿鐵體育係出入大連ＯＢチームとのホッケー戰は三十日午後三時半より鏡ケ池コートで山田氏主審の下に開始、旅順軍は河影滿學務、竹內土木兩課長も應援に來場、兩軍力鬪して堂々たる好ゲームを演出、六對二で大連側勝つ、引き續きリレーを行つたが大連側一番走者林力走の結果これまた大連側大勝した、ホッケー戰經過左の如し

大連ＯＢ　3―0、2―1、1―1　體研

▲第一ラウンド　二分大連秋月單身ドリブルに突進してシュートしたがＧＫ山本好守して危機を脫したが二分四分と體研ゴールに力鬪しばしば大連側ゴールをおびやかしたが大連ＧＫ岡部好守漸く四分旅順吉田のシュート成り後兩軍一進一退のゲームを續け、タイムアップ直前大連秋月シュート成り六對二で大連勝つ

RW　林（月邊）、倉田　本谷
CF　川（中秋渡）、林（立高）
CL W　（上橋）、村田
RD　岡部　宮大　本山
LD　上吉
GK　岡澤

▲千米リレー　一着大連（林、渡邊、秋月、岡部）二着旅順

大連婦人團體聯合會
三十日第一回總會開催

大連婦人團體聯合會の今年度の第一回總會は三十日午後一時滿鐵協和會館に於て開かれた、定刻大森與滿子の開會挨拶の後三百の會衆起立して君が代を齊唱、ついで辛島名譽會長の挨拶あり森本喜美惠氏の昨年度事業並に會計報告、西內驛路氏の鮮支人慰保事業および兵士ホーム資金募集に關する說明石田艷子氏の關東軍司令官よりの感謝狀朗讀、上村哲彌氏の慰保事業に關する講演、岡安きよし氏の感想談あつて午後四時半盛會裡に散會した、なほ當日は特に奉天婦人團體聯合會を代表して田中キヨ氏が來會し挨拶を述べたが、奉天の婦人たちの活動狀況、避難鮮人の窮狀等に就きての熱烈なその談話には來會者一同強く心を打たれたやうであつた【寫眞は會場にて】

關東廳內務局長　日下氏に決定
三十日持廻り閣議で

【東京三十日發】辭任した三浦關東廳內務局長の後任に三十日午後の持廻り閣議で左の如く決定した

關東廳殖產課長　日下辰太

日下氏略歷

大正五年東京帝大法科を卒業後農商務省の工業課長兼法制局參事を經て昭和三年七月關東廳事務官に轉任、文書課長から殖產課長に榮轉して今日に及ぶ、商工省在勤中歐米視察をなした

內務局長の廳內拔擢　人事政策正に一〇〇%

◇…三浦前內務局長の重厚なる人格を多として旅順官民の間に留任運動行はれ、一般もまたその留任を希望したに拘らず山岡新長官の着任後間もなく依願免官となつたことは、一種の物足りなさを感ぜしむるに充分であつた。

◇…かくて後任には元縣知事なりし友部泉藏氏が擬せられてゐたが、友部氏は臺灣の方の任地に赴いたので何人が內務局長となるかは一般の最も興味をもつて眺めた所である。

◇…然るに昨日の持廻り閣議で日下殖產課長の拔擢をみたのは、何といつても傑作の一つであらう溫厚にして頭腦明晰なる日下氏は學殖も深く、殊に明治二十三年生れの少壯有爲の人材である。

◇…兎角人事行政といふものはうるさいものゝ一つだが今回內務局長の後任を廳內より拔擢したことはまさに人事政策百パーセントといふべく廳內はもとより一般に好評を以て迎へられてゐるやうだ

任關り廳內務局長（二一參）としては現關東廳土木課長竹內德亥氏の呼び聲が高い

娘子軍が押寄せ
錦州の我警官取締に困り　奉天署へ喰止めよと通知

我軍の錦州入城以來同地方は漸次治安回復し鮮民は何れも業務に安んじ舊態に復しつゝあるが、最近同地を目指して娘子軍の進出は夥だしく料理店は殷賑を極めてゐる流石の駐在警官も洪水の如く進出して來る娘子軍の處置に頭を惱ましつゝある模樣で、三十日同地警官駐在所宇和田巡査より奉天警察署宛

錦州を目指し娘子軍の進出多くこれが取締りに困り居り旣に許可したる料理店に赴く女の外一切奉天にて阻止されたし

といふ珍電報が到着したが、受け取つた奉天署保安係もこればかりは如何とも阻止の方法なしとて目下鳩首對策に餘念がない【奉天電話】

門對などを利用し　新國家の精神鼓吹
四十萬部を印刷し各地に配布
自治指導部の試み

滿蒙新國家建設の事業は着々その基礎を固め于沖漢を首班とする自治指導部は連絡課官傳員が先頭となり大童となつて活動を續け旣に奉天省內三十縣に指導員が配置され建設へ建設へと新興の叫びは東北三千萬の民衆を目ざめさせてゐる、自治指導部はこれがために「一般に東北四省三千萬民衆に告ぐるの書」及び「自治指導部布告第一號」二十萬部を印刷して各地方に配布したが更に舊正に一般支那人が門や扉に貼りつける風習となつてゐる門對及び橫額を利用して新國家建設、諸民族融合の氣運を鼓吹することゝなり于沖漢自ら筆をとつて

東北同胞興東亞民族聯絡一致
列舉新政採列國文明協和萬邦

浩蕩春恩（橫額）

と達筆を揮ひ之を四十萬部印刷して二月四日各地一齊に民家に配りつけさせることゝなつた、右門對は自治指導部の關係してゐる三十縣を始め便宜ある所はそれぞれ各戶四部宛位の見當で配り吉林省黑龍江省、熱河の一部、手の屆かない所には旅客機で上空から撒布するさ

『男は土嚢作り　ダンサーも看護婦』
上海邦人の目ざましい活動

卅一日午後一時上海事變の第一報をもたらして大連丸が入港したが當時の模樣につき岡事務長は語る

本船は廿九日朝上海を出帆したが廿八日午前四時頃上海では戒嚴令を布くから居留民は皆二週間分の食料を用意せよとの命で俄かに緊張した、私共はとうとう廿九日の明方まで一睡もしなかつた、陸戰隊が堂々隊伍を組んで租界のアイシス映畫館前を行進するのを見た瞬間、屋上から便衣隊が一齊に陸戰隊に射擊するものを目擊した、頭から彈丸を浴びせかけられたので重傷をかなり出した樣であつた、負傷兵は皆桃山ダンスホール、ブルーバードなどに收容したが、これ等歡樂の場所は一面の血の海となり實に凄慘な有樣であつた、平常華やかな生活をしてゐるダンサー達も甲斐々々しくにわか看護婦となり負傷兵を看護する樣は實に國難の際の大和魂をはせ在留邦人二千五百人の赤心を現はしたものと思つた、明け方四時半頃能登呂から海軍機が五臺市街上空を飛ぶのを見たが、闇の市街上空を飛ぶ爆音は氣ゝ惡い程で居留邦人も男子は皆土嚢作りに、婦人連も後部の仕事に努めてをりました

旅順でも奉謝大會

元帥閑院宮殿下參謀總長御就任の在旅官民奉謝大會は三十日午後二時昭和園に於て擧行、正面には殿下の御寫眞を奉掲し東燦市會議長開會の辭を述べ君が代を齊唱、永山市長市民一同を代表奉謝文を朗讀の後大谷要塞司令官發聲にて殿下の萬歲を三唱閉會したが官民多數の參列あり盛會であつた

また揉める　相撲界

【東京三十一日發】二月三日より第一回の旗揚げ興行をなす段取となつて居る新興力士團の前に床次鐵相を介する協會復歸運動が再燃し問題は逆轉紛糾せんとしてゐる新興力士團は國粹會との感情融和のため數日前人を介し床次鐵相に依賴してゐたが、卅日午前十一時天龍以下國粹會本部を訪ひ旗揚興行の挨拶に行つた處、面會を拒絕され、力士側は午後四時床次鐵相を訪ひ調停を依賴せんとした、一方相撲協會はこの間の空氣を察知し脫退力士の復歸を床次鐵相に依賴せんとし、午後三時床次鐵相を訪ひ會見一時間、斯くて新興力士團の對國粹會との調停は俄然協會復歸運動と化するに至つた

新興力士團は復歸せず

【東京三十一日發】新興力士團は卅日午後四時床次鐵相を訪ひ對國粹會との感情融和の斡旋方依賴する筈だつたが別項の經緯を知り遂にこれを中止し協議の結果絕對に復歸せずと申合せた

密獵者にお灸

三十一日午後一時海務局機艇が港外着の大連丸に出向く途中鮮艇城島の港外石油棧橋近附近にて艀船二艘にて遊獵中のものを發見、直に取押へたが水上署にて取調べたところ右は山縣通一五八滿鐵鑛田信隆（三）及び市內日之出町八番地一三滿鐵社員池田力（二）にて鑛田は鴨五羽、池田は鴨一羽を獲つてゐたが何れも港則違反で科料處分にせられた

愛次郎捕はる

【橫濱三十一日發】市內櫻岸の自宅にて外務書記生村田愛次郎妻ドイツ人オルガーフローレルが絞殺死體として發見された事は旣報の通りだが、刑事課では犯人は愛次郎と睨み搜查中今曉大森不入斗待合に潛伏中を發見した目下取調べ中

南洋長官に　成毛基雄氏內定

【東京卅日發】田原南洋長官は兩三日中に辭任する事となつたがその後任は元拓務局長成毛基雄氏に內定した

上海事態惡化で　海順號引返す

去る廿八日大連を出帆上海に向け航行中であつた當地支那側船舶業惠通行所有海順號は上海方面の時局の急轉に暴戾な支那官憲の徵發を恐れ途中より引返し卅日午後再び大連に歸つて來た尚上海におけ事態の惡化と共に上海方面に華商貨物の積荷取扱ひの中止を當地埠頭事務所宛申込むものが續出してゐる

接骨業に罰金求刑

業務上の過失から小學生を不具にした市內西公園町二十五番地接骨業島田清次にかゝる業務過失傷害事件は三十日大連地方法院で池內檢察官より罰金百五十圓を求刑された

藤內氏寄贈

安奉線高麗門驛警備中殉職した巡査部長故藤內、某二氏の令兄市內聖德街二丁目藤內晃氏は忌明け香奠返しとしてさきに沙河口署を通じ金三百圓を軍事慰問金として寄贈したが同氏は更に廿八日居住地たる聖德會に金二十圓を寄贈した

安樂椅子

伊豆の溫泉にお[illegible]ける靜養ですつかり元氣を取戾した十河滿鐵理事、卅日飛行機で京城から歸任する匆々、出入記者連をつかまへて「どうだ諸君、一つ內地へ歸つて立候補してみないか、當選することは請合だよ、在滿邦人として滿蒙問題を看板に打つて出ると現地事情には明るいし外れつこないのだがれ」とある、そこでその議をたづれると同理事は左の如く說つた。

◇

「今度の選擧風景の特色としては各地の演說會の題目に滿蒙問題が大もてゞあつて滿蒙問題解決を標榜する候補者の演說會は大入滿員でこれを掲げないと聽衆が集つて來ないといふ、實に眞劍な滿蒙に對する關心が社會の各層の民衆によつて示されてゐるには驚かざるを得ない。

◇

これは新聞なんかの力に負ふのだと思ふが、兎に角今度のこの選擧を契機として全國津々浦々に至るまで演說會により滿蒙問題に對する國民の關心が喚び起まされて行くことは非常なものだと思ふ、事變後の善後處置等に關しても一部のものを除き無產黨でさへ徹底的解決を主張して居り昨年現地視察に來た社民黨の片山前代議士の如き冷靜な人でさへ强硬な國家的解決を唱へてゐるのは注目すべき傾向であると思ふ」

滿日各地版

關東軍衛生隊 第二班の活動振
各方面で絶大の成績

興城施療班は支那人民の民意を尊重し眞の日支共存共榮の實をあぐる目的の下に井上小隊長並に佐藤軍醫に指揮され本月十三日奉天を出發、大凌河を振出しに最も危險地たる綏中に向はんとしてゐる、大凌河における施療の患者は二日間において約百名を算し午前九時より午後四時までの間は晝食の暇さへなき大盛況であつた越て十六日張學良第一の根據地を建設せんとしたる錦州へ向ひ翌十七日より市民一般の施療を開始するに流石は北寧線に於ける大都市大凌河の比にあらず、時間より時間迄の間に其の最數百人列をなして施療を受けた、十九日錦州を發し連山に向ふ、この地は小部落なるも胡盧島大築港地の關係上相當の殷盛を極め居り、兵匪或は馬賊の危害を受け又部落四方二三里の地點には三百乃至五六百の兵匪集り、何時同地を襲擊せんも計り難く人心恟々としてゐる同地に三日間の施療約六十名此の被害の地に於ても我が隊は市民との融合を計り非常なる好感を受けた、二十二日同地を出發し興城に向ふ、二十三日より同所に於て施療すべく大々的宣傳をなしたが、同地は錦州に次ぐ大都市にて人口約二萬、從來此の地は邦人の入城したるものがない、今回皇軍の入城を以て嚆矢とする、然るに同地の市民は邦人に對し絶大なる好感を持ち我が衛生隊入城の際は商務會は宿泊所の便を計り何にくれと至れり盡せりの配慮を受けた、第一日の施療をなすに恰も御祭り騷ぎの感あり同日の施療者其の數六十名、第二、第三と合計三百餘名、其の內匪賊の爲め打撲を受けたるもの數人あり我が衛生隊の此の舉は日支融和に貢獻する事絶大である茲に最終點たる綏中に向ふ筈である

國境で耐寒演習
龍山部隊がけふから

【安東】既報の如く龍山騎兵第二十八聯隊では二月一日から十日迄平北管內で耐寒行軍及現地戰術教育實施の筈であるが參加者は中佐一、少佐一、大尉三、中尉二、獸醫、主計、准士官各一、其他計人員二十八名馬二十八頭であるが實施の目的は幹部教育を主眼とし嚴寒時國境附近における行軍戰闘其他陣中勤務の特性を理解せしめ此等能力の向上を期すると共に國境の事情に精通せしむるにあるが其計畫は左の如し

一日龍山發午前八時四十一分新義州着二日午前中鴨綠江畔に於ける日露戰史研究及附近見學、午後一時出發義州行軍（行程十九粁）三日義州滯在現地戰術、國境守備の要領、延長物體踏破の要領、集成騎兵旅團の戰闘四日義州出發、清城鎭へ行軍（行程四十六粁）氷上通過の研究及行軍・朝鮮家屋により宿營勤務五日清城鎭出發昌城へ（行程四十一粁）氷上通過の研究及行軍六日午前佐々木枝隊の行動につき講話　午後一時朔州へ（行程二十粁）七日朔州出發大安洞（行程三十九粁）二十萬分の一地形圖を以ってする行軍測量圖朝鮮家屋に於る宿營勤務八日大安洞出發龜城南市へ（行程卅八粁）急行軍、未知の地形における宿營の物資徵發法、現地戰術、龜城南市附近騎兵聯隊の戰闘、九日龜城南市出發定州へ（行程二十八粁）午前行軍、午後定州戰史講話午後九時六分定州出發翌十日龍山へ歸營

氣の毒な鮮農 撫順に避難殺到
保護救助に多忙を極む

【撫順】最近撫順附屬地內に避難して來る本溪縣奥地居住の避難鮮人は毎日五十人を下らず、續々引揚げて來るので目下撫順に於ける此等避難民は先頃まで約千人であつたのが一躍千五百名に達し、ために撫順署、民會ではこれ等多數の避難者を收容するため已に六ケ所の避難者收容所を設け朝鮮總督府の救濟金その他によつて細りに之が保護救濟に大童となつてゐる、而して本溪縣下には過般來大頭目鍾子臣が配下約二千五百名を擁して北は新賓營盤から南は安東沿線にかけたる數十里に亙る奥地部落を荒し廻り、その暴虐振は強盜、強姦、掠奪、破壞等言語に絶するものあり、避難鮮人等はその悉くが着のみ着のまゝにて身を以て逃れ來てゐるに過ぎぬため、避難者に對しては食料は勿論着衣から支給してやらねばならぬ有樣で警察、民會等でも經費不足で弱つてゐる、尚本溪縣下は例の山谷地方であるため支那側警察隊は勿論わが守備隊警察隊等も數次飛行機の空襲應援まで受けて頭目以下の掃滅にかつゝたが、巧に山谷を利用して逃走四散しては又集結掠奪橫行するといふ工合で却々思ふ樣に討伐が出來ぬといはれてゐる

遼陽の匪賊 物品を強要

【遼陽】城西第九區老古河村（小北河東岸）に蟠居中の頭目宮海は部下三百餘名を有してゐるが廿八日午後一時頃第六區魏家屯村公所に對し、麥粉五十袋、糯米一石長銃實包五千發を舊曆廿六日迄（二月二日）に立山西方煉瓦工場迄持參せよ、若し實行せざれば同村に放火掠奪すと脅迫して來たと

匪賊、家禽を引率して逃亡

【奉天】二十九日午後七時頃大籤西奉天窯業會社第四工場苦力宿舍に四人組の匪賊侵入し、拳銃を以て夜警趙海當（四〇）を脅迫衣服二枚大洋一元、金票一圓七十錢を強奪した上念入りにも鷄七羽、家鴨二十一羽を引率して逃走した、奉天署は先日來附屬地境界を荒し廻る匪賊の一味と見て目下嚴探中である

自警團敗れ 匪賊放火掠奪

【奉天】三十日午前四時新城子を去る北方二十支里達連屯部落に騎馬、徒歩の匪賊三百名來襲し同部落自警團と交戰四時間に及んだが遂に之を破つて部落に放火し掠奪を擅にしたので自警團より新城子派出所に救援を求めた、匪賊團の頭目は中山好、長江河の兩名で優勢な一團であるが、同午前十時半頃荷馬車十一臺に掠奪せる物品及び人質婦女子多數を積載し高坎方面に移動したため我が軍警は協力直に討伐を開始した

賊團合流し 大甸子を襲擊

【鐵嶺】當縣下雞冠山に侵入したる頭目亞洲の一團三百騎は其後二道溝に滯留し大甸子襲擊を企圖し一方金山好の部下頭目方振四は部下五百騎、機關銃四門、馬車十一臺を率ゐて開原縣下より東方を迂廻し、廿九日雞冠山に侵入、同地より二道溝に使者を派して亞洲と合流の交涉を進めた結果、三十日協同動作の約成り直に大甸子襲擊を決行すべく大甸子公安分所に對し本日襲擊するにつき承知あれと脅迫し來れるが、大甸子では午後二時頃までには襲來するものと豫想し防備を固め各所の公安隊を呼合した

王景全歸順す
近く警備の任に就く

【鐵嶺】歸順を嘆願しながら武裝解除を恐れ出頭を逡巡してゐた法庫縣公安局長王景全は愈々その非を悟つてか、廿九日午後一時部下百七十五名を率ゐ白旗を立て縣城に到着、自治政府及我駐屯軍に出頭したるが橫澤少佐は懇篤なる訓示を與へて彼等を安堵せしめ、約束によつて一時武裝を解除し武器は自治國政府に保管せしめたるが改めて近日中に銃器を携帶せしめ警備の任に就かしむる筈であると

歸順した 長勝の宣誓

【大石橋】二十九日午後一時より海城縣公署庭前において既報匪賊頭目長勝一派の歸順宣誓式舉行、日本側より猪苗代大石橋警察署長木津谷通譯官同及び大石橋齋藤憲兵隊長、海城憲兵隊長、海城野砲第二聯隊長各代理列席した、長勝は部下廿一名及び銃器彈藥全部を帶同し、孫委員長の訓示に次ぎ長勝の歸順宣誓文の朗讀あり、續いて來賓代表猪苗代署長は左の如き訓示を與へた

匪賊頭目顧兆祥事長勝以下二十一名は本日茲に天地神明に誓ひ前非を悔い歸順の宣誓を爲す、汝等は辛ひ正義を標榜する日本軍及び支那官憲の討伐を受けざる前、眞人間と生れ代り白日の陽を仰ぐを得たるは獨り自己生命の安全を得たるのみならず地方治安に與へたる喜び又忘るべからず、邪は正に勝たず、惡の榮ゆる事なしとの古言を能く味ひ、將來滿蒙の治安維持に對し共力一致惡を滅ぼし善を補け以つて天下萬有の仍つて來る恩澤に貢獻する事に專念せざるべからず、孫委員長の訓示の如く與へられたる任務遂行に渾身の努力を拂ふべき事を訓示す

次で小林指導員の挨拶あり午後二時宣誓式を終了した

海城に危險迫り 人心極度に動搖
避難民の出入殺到す

【大石橋】海城南臺の第一線防禦線たる耿庄子牛莊方面は既に匪賊に蹂躙せらるゝに至り海城縣公安隊、警察隊偵察班の齎す情報に依れば、彼等匪賊團は舊正月前必ず海城を攻略し城內に於て新年を迎ふべしと豪語し居れるさかにて、城內一般人心極度に動搖し一流商店及富豪にして大連方面に避難するもの毎日七、八名に及び一般市民も恐怖避難準備に忙殺されてゐる孫委員長は各種方法を講じ人心の安定に腐心してゐるが、斯くの如く賊勢日に熾烈となるに及び二十九日午後三時半より地方有力者を縣公署に招集し城內外の警備最も緊要なりとして各民家より二百名の自警團を組織し、之れに附帶する銃器彈藥は縣警務處より貸與する事に決した、前記の如く大連方面に避難する者のある一方牛莊耿庄子方面各部落より城內に押し寄する者堰を切られたる濁流の如く既に萬を以て數へられ尚毎日約七八百名の避難民ありて第二收容所の必要に迫られ紅萬字會をしてその任に當らしむる事とした云ふが西門裡純益製糸工場內に指定すべく目下交涉中である

鐵嶺

法庫縣自治會 自治縣政を開始

法庫縣自治會は去る二十四日組織されたる暫定的委員會を解散せしめ改めて正式の自治會を組織すべく三十日午後一時より委員會を開催左記委員長以下の顔觸れを定め愈々自治縣政の緒に就く筈

執行委員長兼商務處長　梁維新
同副委員長兼財務處長　王宗固
同　委員兼警務處長　關恒慶
同委員兼實業處長　朱繪彬
同委員兼教育處長　李萬年

感謝祭　當地における閑院參謀總長宮殿下御就任感謝祭は三十日午後一時より小學校講堂において興行せられ、官民多數各團體學生等參列し東京より放送されるラジオによつて參列者一同君ケ代を奉唱し、東京の式場に列する如き思ひあらしめ嚴肅を極めたが、何分にも晝間放送のことゝて雜音が入り宮殿下の御聲にもハッキリ接し得ぬ憾みがあつたが參列者は何れも襟を正して拜聽四十分にして終了した

城廓は取壞さず 市債も募らない
奉天城道路網建設計畫

【奉天】奉天城內の大道路網建設のため市政公所では目下城內各主幹道路の擴張を行ふと共に支線道路の設計をなし徹底的に區劃整理を行ふこととなつた、財源に就いては市債に依らず數ケ年の繼續事業として實行に着手される筈で、一時噂された城廓取壞しは中止されそのまゝ保存し附屬地と聯繫した大道路の實現を期することゝなつた

奉天

學生母國訪問 報告演說會

全滿學生母國訪問講演隊一行二十六名は多くの收穫を持つて去る二十三日歸滿したが、之が報告演說會を二月一日午後六時半より春日小學校講堂で開催し經過報告及び母國人士の滿蒙問題に對する意見を奉天市民に告げることゝなつた

憲兵分遣隊 班長の更迭

鐵嶺憲兵分遣隊班長田上軍曹は二十九日附を以て旅順憲兵分隊附に轉じ、後任は旅順分隊から軍曹三並頼三氏に任命された

撫順

炭塊

カリホルニヤ大學フーパー財團及英帝室熱帶病學會派遣員ドクター・アーサー・トランス夫妻外一名は廿九日朝來撫炭礦事務所に於て久保次長より炭礦一般に關する說明を受けたる後、病院及び市內の衛生施設を視察した▲撫順炭礦機械工場長今泉卯吉氏は本社人事課に榮轉、二十九日午前十一時五十五分發列車で家族同伴赴任したが久保次長外在撫官民有志多數の盛んなる見送りがあつた

鳳凰城

杉本氏葬儀 稀に見る盛儀

舊臘二十三日大堡において名譽の戰死を遂げたる故陸軍臨時通譯杉本眞吉氏の葬儀は既報の如く二十九日午後零時半より當地滿鐵煙草試作場において守備隊葬として、當時鳳凰城守備隊長たりし西河中尉裏主となりていとも懇ろにとり行はれた、祭場には正面中央の祭壇を中心として關東軍司令官、關東長官、守備隊司令官、滿鐵總裁その他各方面より手向けられたる多數の花環が整頓よく飾られてある式は定刻一同着席と同時に始められ、ゆれるが如き御燈明に靜かに立昇る香煙、かれの餘韻も悲しさをそふ、導師以下各僧の讀經終れば第四大隊長代理鈴木少佐を始め各團體代表者の弔辭朗讀、弔電の披露があり、續いて讀經の中に近親者より順次燒香をつとめ最後に遺族に代りて祭主西河中尉の挨拶がありて閉式したが、此日安東、連山關、雞冠山等からも多數の會葬者あり稀に見る盛儀であつた

本溪湖

御神寶來着

今回伊勢神宮より御下賜の御神寶は三十一日午後四時五十八分本溪湖驛着に付き左の順序により諸事執行の筈

一、當日各戶に國旗揭揚獻燈をなす事
一、奉迎のため各團體は驛頭に整列する
一、神社に向はせらる途中行列には遙拜をなし其他一般は隨從する
一、神社御到着の上奉告祭執行
一、一般拜觀は二月一日午前九時より午後四時まで

參謀總長御就任 市民感謝大會

元帥閑院宮殿下參謀總長御就任國民感謝大會は三十日午後一時より小學校講堂に於て開會せしが參會者多數にして左記順序により擧式盛會であつた

一、大會開會を宣す
一、開會の辭
一、國歌奉唱
一、奉謝文捧讀
一、元帥閑院宮殿下萬歲奉唱
一、閉會の辭

林警務局長

林警務局長は沿線巡視のため二十九日六列車にて當驛通過したが、驛頭多數有志の迎送ありて後ち安東へ向ひ、更に三十日安東より引返し七列車にて當地通過北行した

安東

御就任感謝

三十日午後二時東京にて遞般參謀總長に御就任の閑院元帥宮殿下に對し奉る國民感謝大會が開催したが安東では二十九日午前十一時より地方事務所會議室にて在安東有志これに關し協議した結果東京と同刻安東神社々前に於て左の順序により感謝大會を催した

諸員着席、修祓、玉串奉奠、奉謝文捧讀、參謀總長元帥閑院宮殿下萬歲、退席

討匪隊引揚

二十九日午前二時鴨綠江下流大東溝（安東西方十一里）匪賊討伐の爲め出動した安東署國武警部以下四十九名及び支那公安隊員二十名は同日午前九時同地に到着したが匪賊團四百餘名は廿八日夕六臺の馬車を徵發して大房身へ出發したとの報あり直に追跡し大房身に着するや東北方高地に匪賊の哨兵五六名を發見しこれを追跡交戰の結果一名を射殺したが、賊團は二千米突の山上にあり遠距離なれどもこれと交戰すること約三十分にして全く潰走せしめた最早追擊の效果なきものと認め討伐隊の一行は附近部落を搜査しつゝ大東溝に引揚げた大東溝に於ける匪賊の掠奪後を調査すれば電話器等の破壞から電柱五本切斷してゐたと

遼陽

振興期成會 重要協議

遼陽振興期成會では二十八日午後六時半から公會堂に於て評議會を開き併て時局委員會、地方委員會と共同して軍部に對し〇〇〇設置に關する經過報告があつたのち議事に入つた、主なる協議事項左の如くである

▲蘇家屯市街地貸付に關する件、本件は遼陽機關區移轉に伴ふて遼陽在住商人中店舖開設の希望者に對して目拔の商業地區を優先的に貸付らるゝ豫定なれば輸入組合當事者をして斡旋の勞を煩はす事
▲振興策の提案數件あつたが提案者が當夜折惡しく缺席の分は次回に讓り左記小林高木兩氏提案の分は兩氏から詳細說明あり、田中會長から安達、小林、高木、大串、猿渡の五氏を詮衡委員として專門委員三名宛を舉げ調査研究する事になつたと
▲附屬地境界新堤防に杏樹を植み遊覽客を招致する事
▲新築堤の爲め堀上げた溝に養魚を爲し遊覽者に釣魚せしめ又蓮を栽培すること
▲苗圃附近に白塔温泉を建設する事
▲苗圃附近適當の地域に競馬場を設置年數回臨時競馬を行ふ事
▲附屬地に特產物專用引込線敷設の件

爆竹禁止　遼陽警務處で舊年末、年始の爆竹は治安の關係と舊慣習に依る浪費防止の趣旨から絶對に禁止する旨劉處長から布告したと

大石橋

情勢變化し 警察官緊張

南臺西方各部落を占據猛威を逞しうせる匪賊團を掃蕩すべく同方面に出動中の我が軍が或る種の命により〇〇方面に引揚げ移動せるため、匪賊團は漸次又集結しつゝ我が軍の虛を衝き鐵道東に移動し背面より海城を襲擊せんとする形勢濃厚なる情報頻りに來るを以て、猪苗代署長は斷然南臺附屬地を死守すべく計畫をたて警備主力を南臺に移し、署員の過半數を増派〇〇砲隊をも編成し、晝夜兼行警備の完璧を期しつゝある、右に依り第一線出動中の我警察隊各位の辛酸想像の及ぶ所にあらず、一方高等係司法係及譯係の內勤警官は第一線よりの情報續々として寸刻の暇さへ與へられず、夕食時署を持ちたるまゝ受話機に掛る狀態にして徹宵整理報告に文字通り忙殺されつゝある

戰歿者葬儀

二十九日午前九時半尤家甸子において戰死せる大石橋獨立守備第三大隊第二中隊上等兵尾池森下士屋森谷各一等兵の遺骸は本部醫務室に安置、大隊全部及官市民の鄭重なる通夜を受けたが、二月二日盛大なる葬儀を營む筈にして本日より尾池伍長、森谷上等兵の順に荼毘に附した葬儀は大石橋時局後援會後援陸軍葬の筈、次第左の如し

△日時二月二日午後一時△場所大石橋守備隊營庭（本部前）一、一同着席二、挨拶三、僧侶讀經四、中隊長弔詞五、戰友弔詞六、司令官弔詞七、地方有志弔詞八、弔電朗讀九、燒香十、挨拶

營口

在鄉分會長 樋口氏に決定

在鄉軍人分會は二十九日夜評議員會を開き缺員の分會長推薦の件を附議し、樋口副分會長を滿場一致にて推薦し氏は之を承諾就任した

軍隊駐屯請求

營口地方事務所では二十九日夜各方面の人々の參集を求め軍隊駐屯請願、在上海鹽澤司令官に對する感謝激勵電發信の件、全滿日本人大會に對し滿洲增兵に就き輿論の喚起に努力されたきとの要望の件を協議し異議なく可決直に其手續を取つた

營口附近の 馬賊團情勢

二十九日午後六時頃馬賊頭目大凌河、祭寶山の部下約百名は大窪子溝方面から遼河を渡り、鮑家堡子方面へ南下し來るの形勢があるので、大高坎の自衛團第五分局員六十餘名は之れが討伐のため同方面に向つた、又田莊臺附近に出沒する匪賊は打一理の部下二十餘名、大賀字の部下十餘名、三省の部下三十餘名、闖東洋の部下十餘名、大老疙疸の部下二十餘名、賀山義俠の部下三十餘名併せて四百名位であるが漸次北方に向つて移動しつゝある

曙の鐘 (183)
倉田潮
河野想多畫

天女（二）

壯三は警察から歸つた日以來、己の部屋にばかり閉ぢこもつてゐた。

それは警察の說諭と妹の忠告の爲ばかりではなかつた。彼自身世の中の人に顏を見られるのが恥しくていやな爲もあつた。四月十五日の大山家例年の觀櫻會に今年「假面舞蹈」を加へたのも「世の中を騷がせた自分の顏」を長く客人に見せておき度くないとの配慮からだつた。

來客は家につくと直更衣室に這入つて、假裝をしてから會場に現れた。壯三は主人として、初めから假裝をして出る譯にも行かなかつたが、食卓で簡單な挨拶をすると、直ピエロの假裝をして、わざと末席につき、己の席には小惡魔の扮裝をしたあけみを座らせることにした。

末席についた壯三は二列にぎつしりと並んだ來客を見廻した。人々の假裝をこらして來てゐるので、誰が誰やら解らない。が、その解らない假面の群衆の中に、彼は熱心にたえ子を求めてゐた。

歸宅以來たえ子の家には一度も行つたことがないのだつた。それは警察と家から堅く禁じられてゐることだつた。しかし、彼はその爲に一層戀しい愛着をたえ子に對して感じてゐた。かつてマリアはまた此の屋敷から姿をかくさない時、彼の戀を「怖ろしい運命」と呼んだことがある。實際他人から見れば彼の戀は怖ろしいかもしれない。が、彼には何うしてもたえ子のことを忘れることが出來ないのだつた。妹のあけみに苦い心を訴へると、何時も自分にまかせておけと云ふ。また警察によばれる度に彼女はいろいろの策をさづける。彼は妹を信じてその云ふがまゝにたえ子を賢女とまで罵つたことさへあつた。父にも自分にも戀愛關係があつたことさへ陳述したことさへある。しかし、妹の策は一向に效をそうしないではないか。たえ子は依然として啄木を思ひ切らないではないか。壯三は昨日つひに人まかせにしておくことをあきらめて、自身たえ子に手紙を出したのだつた。そして。その終りに十五日には假面舞蹈をするから、天女の姿をして來ないかと云つてやつたのだつた。

壯三はテーブルの末席にピエロの扮裝をして坐りながら、來客を一々見て行つたが、天女の姿をしてゐる女は一人も見あたらなかつた。彼は凶兆がそのまゝ事實となつた時のやうな悲痛な顏をした。同時に急に今夜の會が蠟をかむやうに面白くないものに思はれて來て、來客側の假面演舌が始まると、逃げるやうに會場を逃げ出した。すると、其處へあけみが大勢の仲居をつれて後を追つて來て、

「兄さん、逃げては駄目ぢやないか」と云つた「一と通り挨拶がすんだらお客を庭の模擬店の方へ送るのはあなたの役目よ」

「俺はもう何をするのもいやになつた」

「何うしてなの」

「天女が來ないからだ」

「たえ子さんのこと」

「………」

「たえ子さんも來ないとはきまつてゐないわ。內からも案內は出しておいたのだから」

「來るものか」

さう云ひながらも壯三は不承不承にまた一階の廣間に這入つた。假面演舌は元氣よく續けられてゐた。誰も滑稽を交へて、大山家例年の觀櫻會と、今年更に假面舞蹈會が加へられたことに祝辭を呈するのだつた。

挨拶の演舌が終ると、壯三は立ち上つて、客を庭の模擬店に誘つた。その時彼はうかつにピエロの假面のまゝ立上つたので、ピエロの扮裝をしてゐる男が壯三であることが、總ての人に知れてしまつた。しかし、園遊會が初まると、彼と同じピエロの扮裝をしてゐる最一人の男が現れた。壯三はしかしそんなことには氣もとめなかつた。彼は萬一天女の扮裝をした女が現れはしないかと、庭を彼方此方に歩み廻つてゐた。と、夕方客が舞蹈室にかへつた時、突然その天女が會場に姿を現した。

FANCY BALL

SOW

けふの放送
大連 JQAK

一日午後六時十分より

▲自午前七時ラヂオ體操
▲ニュース
▲兒童科學講座「最近科學文明の概觀」第二十三回大連神明高等女學校大貫正
▲掛合噺「壺親猿」海老一海老藏、同小海老藏、同田之助、同清重、同菊丸、其の他囃子
（以下內地中繼）七時
▲新內「千日寺名殘鐘三勝縁切の段」淨瑠璃富士松富士廣、同鶴賀若繁、同富士松都繁美、三味線富士加賀登女、上調子富士福壽
▲獨唱と管絃樂一、歌劇マルタ序曲フロートー作二、獨唱ファウストヴァレンチの詠唱グノー作三、歌劇眞珠取拔萃曲ビーゼ作四、獨唱青白月ローガン作、父と子、濱田廣介作詞、船橋榮吉作曲五、歌劇ガヴァレリア、ルスティカナ間奏曲マスカーニ作六、獨唱假面舞蹈會レナートの詠唱ヴェルディ作、獨唱村上猶吉、東京ラヂオオーケストラ、指揮奥山貞吉
（以下大連放送局より）
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「販馬計」連東俱樂部々員

滿洲日報

上海事件調査委員會 組織案を理事會可決 委員は駐支理事國公使

緊張したきのふの公開會議

【ジュネーヴ三十日發】聯盟公開理事會は三十日午前十時二十分開會、昨夜に引續き日支紛爭問題の審議を續行したが問題の重大化に伴ひ議場内は異常なる緊張を呈し事務總長ドラモンド氏の**上海事件調査委員組織案を可決**した、**同案は現在の事件發生當時現場に駐在せる理事國の公使を以て組織**する事としこれら委員をしてドラモンド氏に對して必要な報告をなさしむる事とするといふにあり、なほ右委員長には若しアメリカ政府が承諾すれば同國公使も委員に參加せしめ得るの權限を留保してある、なほ右調査委員組織案が上程さるゝや**支那代表顏惠慶氏は飽迄第十五條の適用を滿洲に及ぼさんと力說**したが、ドラモンド氏は滿洲に對しては既に調査委員を派遣中であり重ねてその必要なきを說き結局理事會はドラモンド氏提案通り**上海事件に局限して調査委員の組織**を可決した調査委員案を可決して同午後二時十分漸く散會した

日本は飽迄反對留保

理事會は自衞權を拒否し得ず 佐藤代表が堂々と聲明

【ジュネーヴ三十日發】三十日の理事會において上海事件調査委員案が可決さるゝや佐藤代表は日本の支那に對する態度を聲明すると共に日本の行動が聯盟規約を何等侵害せるものにあらざる事を主張し堂々左の如く聲明した

日本は滿洲及びその他支那の何れの地點に對しても何等領土的野心を持つてゐるものでない、日本の唯一の目的は全然日本國民の生命財産及び權益に對する正當なる保護である事を茲に繰返し聲明する、滿洲の形勢が永引き今日なほ日本軍隊が撤退し能はざるは日本政府の最も遺憾とする處である、然し日本の權益が保障せらるゝに至りたる時は日本は何時でもその軍隊を鐵道地域内に撤退するであらう而して**聯盟理事會が一旦日本に對しその自衞及び保護の權利行使を許した以上、**理事會はこの權利を阻止する事は出來ない、又上海において今回日本が執つた行動も亦全く日本國民の生命財産及び權益の保護のためであつて**理事會はこの自衞權を上海において行使する事を拒否する事は出來ぬ、ただ余は聯盟規約第十一條及び十五條の下に議事を進むる事には飽迄反對の留保を支持する**ものでこれは特に右二箇條の適用問題のため日本國民は極めて重大な衝動を起したためである、然し日本も上海事件調査に關しては協力援助を否むものではない、なほ支那代表は日本によつて聯盟規約十條が侵害されたと主張してゐるが、これは日本を誣ふるものである、何となれば規約十條は聯盟國の領土が永くその地に止まる意思を以て占領されたる場合において初めて侵害されたといひ得るも、日本は未だ支那の領土を侵略せず、又そは日本の意思ではない

右に對しイギリス代表セシル卿は佐藤代表の第十五條に對する反對留保を反駁し既に支那が十五條の適用を訴へた以上、理事會としては同條の下に議事を進むる外なしとのべ、ユーゴースラビヤ代表マリコヴイッチ氏、セシル卿を支持しスペイン代表ヅルエッタ氏もマリコヴイッチ氏の所論に贊成を表明する處あり、佐藤代表は再度立ち

余は飽迄規約十五條がその適用の當否を調査する事なく自動的にこれを適用し得らるゝものとの解釋には承服する事は出來ぬと飽く迄十五條適用に關する法律的根據を追及して讓らずこの時議長ボンクール氏は佐藤代表の留保に對する各代表の討論を譯言した後、遂に佐藤代表の所論に一歩讓り左の如く結論した

理事會は佐藤代表の所論たる第十五條適用に關する問題は後日これを考慮すべし、然し余は佐藤代表に對し左の如く日本政府に報告されん事を乞ふ、即ち理事會は聯盟國として規約第十五條に訴へる共通の權利に基き行動を執つたものの**現在の處單に十五條の第一項のみを適用**せんとするものである

即ちこの際聯盟としては事件の詳報を得るためにはドラモンド氏の提示せる調査委員を組織する外執るべき手段なきを以てこの方法を執らんとするもので從つてこの意味において理事會の行動は適當である、これに對し佐藤代表は議長の要請を容れドラモンド氏の上海

五尺四寸以上の大男揃ひ

滿洲に送られる巡査さん百五十人

東京飯田町の職業紹介所では今度滿洲に派遣する巡査さんの募集をしたが零下三十度といふ寒いところに行く人達で元氣ものばかりを募集したが、集まるもの朝から六百人といふ盛況振りこの中から五尺四寸以上の大男ばかりを百五十人選ぶとのこと

米政府へ勸誘狀を發す

【ジュネーヴ卅日發】聯盟事務總長ドラモンド氏は米政府に對し左の勸誘狀を送つた

余は日支問題の重大性と且つ米政府は嚢に理事會と協力せん事實とに鑑み上海調査委員會に參加せられ公式代表を任命せられたし

米公使南下

【北平特電三十一日發】上海時局重大化により米公使ジヨンソン氏は本國政府の電命により本日午前八時急遽南下した

米公使參加か

【ジュネーヴ三十日發】上海事件調査委員會には別項六ケ國公使の外米政府が同意するなら駐支米公使も加へん

海軍首腦會議

【東京三十一日發】海軍省では三十一日は日曜日であるにも關はらず大角海相、谷口軍令部長以下各首腦部全員出動し午前九時より首腦部會議を開き上海よりの情報により種々協議を行つた結果海相は十時半外務省に芳澤外相を訪問し重要協議をとげた

英米兩國日本に抗議

上海に於る我行動に關し

【ワシントン卅日發】アメリカ及びイギリス政府は共に**上海における日本の行動に對し抗議を發する事に決定**した、右抗議は夫々上海駐在の英米兩國總領事の報告に基き發せられたもので　メリカ總領事の報告によれば、日本の要求に對し上海市長呉鐵城の重大回答があり日本側においてもその回答は良好なる旨を聲明したる後、日本軍隊は閘北を占據し、且つ陸戰隊の飛行機を以て支那市民を攻擊した云々といつてゐる、アメリカ國務省は右抗議に關し左の如く說明を加へた、日本に對する**抗議の主なる理由は日本の行動が五千名のアメリカ人が居住してゐる上海港を危險ならしむるから**である、又國務省内では日本が呉市長の回答を受けたる後攻擊をなしたる事及び市内において危險に瀕る人々に何等警告なくして攻擊を加へたやり口を難じてゐる

英米總領事 支那兵撤退協議

【上海三十一日發】英總領事カニンガム氏米總領事ブレナン氏は今朝十時から英總領事館二階に會合停戰の督促、約束違犯、支那兵撤退要求につき協議した

英のコムミユニケ

【ロンドン三十日發】英政府はアメリカと共同し上海事件につき日本に抗議を提出した事につき本日英外務省は左の如きコンミユニケを發表した

駐日英大使リンドレー氏は一月三十日芳澤外相に對して本國政府より上海における最近の日本側の行動により**イギリス臣民の生命及び利益が危險に曝された事につき注意を喚起し且共同租界を攻擊の本據として使用する事に抗議**すべしとの訓令に接した旨を傳達した、同大使は更に日本政府に對して可及的迅速に平靜狀態に復するやうあらゆる努力を拂はれたしと要求した、これに對し外務省は英政府の憂慮する處を充分に諒承しイギリス人の生命財産を危險ならしめざるやう出來得る限りあらゆる手段を講ずべき事並びに共同租界を攻擊の根據として使用せざるべき事を確言した

一方英政府は米政府に對し同樣の勸告をなすやう要請した

對日抗議に回答

出淵大使米長官訪問

【ワシントン三十日發】米國務省は英米兩國政府が日本に對し日本陸戰隊の閘北支那街の一部占據につき公式抗議を提出した旨發表した、右發表に先立つ事約一時間ばかり前出淵大使は國務省スチムソン長官を訪問、日本が飽く迄上海共同租界における外國人の生命及び財産上の諸權利を尊重すべきものなる旨を重ねて確言アメリカの對日抗議に答へるところがあつた

理事會は一先づ休會

【ジュネーヴ三十日發】聯盟理事會は本日の公開會議を以て一先づ休會となり、更に新に事態の進展に依り開會が必要となるか又は上海より調査委員會の報告が達するまで開會しない事となつた、但し理事會は閉會したのではなく事實上は依然として會議を繼續してゐる事になる、因に本日ドラモンド事務總長は議長の提議によつて成立した上海國際調査委員會委員は英、佛、獨、伊各國の上海總領事が之に參加する事となつた、この委員會が聯盟理事會に報告するのである

南京在住米人に引揚命令

【上海三十日發】米國總領事は南京在住米人に對し通告を受けたら二時間内に引揚げよとの命令を發した

わが自警團員を米兵が逮捕抑留

昨夜共同租界内で

【上海卅日發】事件發生以來上海の治安は列國軍により維持され各軍及び列國居留民は極度の緊張を示してゐるが、卅日午後八時十五分より卅分の間に邦人自警團が共同租界ゴルドン路百二十號内外紡績前で支那人二名を射殺した處突如あらはれた米海軍兵は我武裝邦人自警團員十四名を逮捕し内六名を工部局警察に引渡し八名を抑留した

逮捕の理由

【上海卅日發】卅日午後八時廿分共同租界海防路とシンガポール路との角で武裝せる邦人が米海軍警戒線にあつた米軍歩哨の頭越しに支那便衣隊に發砲したとの理由で米海軍兵は邦人九名を逮捕した更に午後八時過ぎ邦人自警團が共同租界ガーデンブリッヂ北側アスターハウスホテル前で二名の支那便衣隊を追跡し橋を越えてバンドを走る支那人めがけて發砲した處折柄通行中の米國無電會社支配人ジヨージ・シエツクレン氏の身邊をかすめて英總領事館構内に落下したといふのである

支那、對日宣戰を決意

いよ〳〵今明日中に布告

【南京三十日發】蔣介石は遂に對日宣戰布告に決した、正式布告は三十一日か一日となる模樣である之がため蔣介石、汪精衞等は本日午後南京發上海へ向ふ事となつた

國府洛陽に移轉 羅文幹聲明發表

【南京三十日發】國民政府は日本の攻擊を避くるため首都を河南省洛陽に移した蔣介石汪精衞は三十日同地に向つた

【上海三十一日發】羅文幹は本日左の聲明を發表した

日本は昨年九月來滿洲を攻擊し又復上海を攻擊して居る、國際間の利益に危險ある外我首都も安全を脅威さる、我國は聯盟規約不戰條約を飽迄遵奉するが、今後日本軍隊が攻擊せば自衞上國家當然の權利を以て正當防衞行動に出る、日支間に生じた感應すには日本が武力以外の方法を執らねばならぬ、日本の武力は如何なる理由あるも紛爭を一層惡化せしむるものである、この點列國の注意を切望する

遷都宣言の内容

【上海三十一日發】國府の洛陽遷都宣言に曰く、日本の上海その他各地攪亂攻擊は武力により我を威脅し我を屈服せしめんとするに外ならず、政府は國民の負托を受け居り例へ國土全部蹂躪さるとも國權喪失する能はず、威武に屈する能はず、最後の一人迄國土をまもり防禦の決意あるを世界に聲明する、蓋し世界平和のため暴力を否定せんとするものである暴力の脅迫を受けずに善處せんとする計劃より國都を南京から洛陽に移し國務を執る國民政府を信賴し沈着國難に處せよ

遷都は敵對行動準備

長江筋邦人危險に曝さる

【上海卅一日發】洛陽遷都は政府が奧地に逃げ軍隊を先陣に出し我に敵對行動を執らんとする前提と觀られ上海及長江筋各地の邦人の生命財産は既に重大危機にさらされ、一方我政府においては若しこの際國策をあやまるにおいては世界戰爭の原因となるものと見て、外國人有力者は事態の推移を重視し居り特に英米佛の三國有力者は事態既に容易ならざるを屢々本國に打電し居ることは事實である

わが警備區域内で便衣隊盛んに活躍

戰線では小競合ひ

【上海三十日發】英米總領事斡旋による日支協定の大綱は未だ成立に至らないが全線に亘り局部的に小競合ひあるのみにて正面衝突なく、たゞ警備區域内の邦人居住地區の便衣隊の活動甚しくこれが討滅の銃火は尚市内各所に旺に起こり義軍及び在鄕軍人にも相當の死傷を出してゐる、北四川路及び附近各路が最も猛烈である

北四川路遂に大火

支那軍の砲彈で

【上海卅日發】支那軍の砲彈により起つた北四川路の火災は消火の望みなく火勢益々さかんで附近一帶は火の海と化した

1932

國際聯盟、滿洲事件と上海事件とを分つ、やつと始末をつけた滿洲事件の蒸し返しを嫌ふ。

◇上海事件では英米もむきになる歐洲小弱國も尻馬に乘る。

◇對日經濟ボイコットは戰爭に導く、之れ米上院外交委員長ボラーの自重論。

◇米國、日本の行動が租界に危險を與へると云ふ、併し危險を引出すのは支那の便衣隊の租界侵入、租界に對する砲擊だ。

◇上海共同租界の便衣隊は尼介至極の者、之れあるが爲めに、我自警團員と米兵との間に問題を起す。

◇蔣介石、玉碎を期せよと命令す之れは軍隊に、但し自身は政府を洛陽に移して遷仕度。

◇露國政府、日本との不和を避けると云ふ、併し東支鐵の日本軍使用に關して不滿の意を漏らし、白系露人に關して心配の意をほのめかす。

◇ハルビン方面大激戰、反吉軍愈々の尻押をたのむか。

仙波久良氏 政友公認候補

大連市議仙波久良氏は郷里滋賀縣において立候補すべく彥根に歸省準備中の處今回愈々政友會公認候補として出馬することに決定した旨三十一日市内の知人に通知があつた

岡田氏立候補

前年聯盟理事岡田猶馬氏は突如、總選擧に立候補を宣し、急遽三十一日出帆のはるびん丸にて内地へ向つた、氏は郷里の四國土佐第二區より打つて出づべく、目下政友會公認を交渉中である、なほ市内越後町日昇公司井藤榮氏方に岡田候補選擧後援會事務所を設くるが、井藤氏は次の定期船にて應援辯士として赴き活躍する筈

人事

◆奥村信太郎氏（大每編輯總務）三十一日午前十時出帆のはるびん丸にて離連

◆平林茂氏（東大教授）關東軍囑託として在奉視察中のところ同

東亞の謎（187）

國枝史郎　插畫 伊藤順三

大連の冒險（十二）

一方の面へ龍を描き、他の面へ鳳凰を描いた、三尺六寸の燭臺や算盤や蠟燭や白扇や、秤や尺や鏡や剪刀や、小袖や珠數や木魚や玉が、一々意味を持つて置かれてあつた。

さうして一羽の白雞と、さうして一匹の仔豚とが、犧牲として置いてあつた。酒を充たした瓶、小菜を盛つた皿、さうした物も置いてあつた。

さういふ三段の壇の前に、假面をつけ黑ガウンを着た、一人の男が立つてゐた。大哥、即ち會長なのである。

もう一人同じやうに假面をつけ空色のガウンを着た男が、會長と並んで立つてゐた。

五十人近い會員が、壇の方へ顏を向け、伯爵五人の方へ背を見せて、會場の左右に居ながれてゐたので、入口から壇へ行ける、一筋の道が開いてゐた。

さういふ道をつくるために、會員は左右に分れてゐるのであつた抜劍を持つた二人の男が、入口の側に立つてゐた。

抜劍を持つたもう二人の男が、道の一所に左右に分れて、物々しく立つてゐた。

二人の男が大きな竹の輪を持つて、これも道の一所にゐた。

かういふ會場を照らしてゐるものは、天井の大燈のシャンデリアであつた。

（成程）

と伯は心の中で思つた。

（本で讀んだものとそつくりだ。さうして白蓮會や三合會や、哥老會などゝいふ昔からある、秘密結社の入會式場の、その裝飾と變りがない）

で黃帝といふ秘密結社の、その脈絡は本目的が、白蓮會などと同じやうに、滿朝を仆して明朝を興さうとする、その點にあつたことが推察された。民國となつた現在にあつては、そんな目的はケシ飛んで了つて、片影さへも持たない筈であつたが、入會式といふやうな時には、昔ながらの古風の形式を持つて來るものと思はれる。

（會長といふ男、ちよつと可笑しいぞ）

伯は不意にさう思つた。

何處となく見覺えがあるからであつた。

ガウンを着、假面をかぶつてゐる。で、正體はわからなかつたがそれでゐて見覺えがあるのであつた。

思ひなしかしらないが、會長の方でも假面の眼から、遙かに鋭く伯ばかりを、見詰めてゐるやうに思はれた。

第一の關門の前まで行つた。即ち抜劍をたづさへてゐる、入口の側の衞士の前まで、五人は歩いて行つたのである。

と、一人の衞士が云つた。

「何故に來れるや？」

すると花田がすぐに答へた。

「姓名を軍中に列し、洪家の兄弟ならんがために來る」

「誰が汝を教へ來らしむ？」

「己の意より來る」

「誰か汝の保證人なる？」

「我なり」と德のある男が云つた

「幾人か來れる？」

「五人の兄弟」

と花田は答へた。

「よし、通れ、第一關」

そこで德のある男と一緒に、花田や伯爵達は先へ進んだ。

第二の關門の前まで來た。抜劍を持つてゐる衞士の一人が云つた。

「兄弟三分の米と七汁の酒を食ふの困苦あらん」

「兄弟の食ふ物は我もまた食はん」

と花田が答へた。

「よし、通れ、第二關」

丁超軍四千けさ突如 わが軍に猛襲し來る

敵は夜陰に乘じ三方より接近 激戰を演じ多數死傷

卅一日双城堡にて　森義夫特派員發

關東軍司令部の命令により第〇師團の到着を待ち卅日夜双城堡に設營した長谷部〇團は三十一日午前五時廿分ごろ東支護路軍丁超の六百六十二團及び六百二十三團の混成隊約四千名の敵から襲擊をうけた、敵は東、西、北、三方の密林中を潜行して接近し來り突如〇團本部を襲つたものであるがわが〇團本部は前夜列車内に移つて居たので敵はその列車及び驛を目がけて一齊に襲擊して來た、そこで直に司令部を驛に移し武田少尉の捧持する聯隊旗を驛長室に安置し長谷部少將大島大佐以下幹部全員陣頭に立つて之に應戰し一時は苦戰に陷つたが、午前七時半ごろ敵を擊退した、敵は全部護路軍なので地の利を熟知し夜陰を利用して驛に近づき百米位の處より砲敷門で砲擊を開始、驛及び列車を目がけて猛烈に射擊して來たものでこれがため我歩兵主力は野砲隊の掩護の下にチチハル、大興以上の激戰を演出するに至つた午前九時三十分銃擊は全く歇んだ我軍の損害は歩兵〇〇聯隊戰死十二、負傷村上少尉以下三十五、野砲隊は藤井少尉以下十三　負傷十一、なほ敵の損害は驛の近くに遺棄死體約百、わが軍より追擊されつゝ遺棄した死體約三百で敵の負傷は更に多き模樣、この戰鬪において滿鐵社員の負傷者は列車入れ替へに從事したハルビン事務所混保係原安平氏が右腕に盲貫銃創、長春機關區野崎利道氏が頭部に負傷、四平街小野助役が右足に貫通銃創をうけた、又〇〇團附通譯長春吉野町一丁目村田淸一氏は彈丸運搬中頭部に負傷した、その外に滿鐵社員一名負傷したが姓名は不明

北上せず 待機姿勢

出動した【長春電話】

雙城堡驛に入城した長谷部旅團は一擧ハルビン入城の豫定を見合せて充分な警戒を行ふため、當分雙城堡驛において軍の英氣を養ひ軍司令部の命により直に北上する第〇師團の應援の來着を待つて雙城堡で合團、若し丁超軍にしてなほ且つわが軍に敵對行動に出づるならば斷然擊退すべく準備を整へ、今や待機の姿勢をとり非常に士氣昂り緊張を示してゐる、ハルビンを中心にして日支兩軍の正面衝突は一兩日中に展開すると豫想されてゐる【長春電話】

敵味方十米突に接近

壯烈なる白兵戰を演出す

三十一日の双城堡における激戰は敵が地形を知り闇を利用して突然襲擊して來たので一時は敵味方の間が十米位に接近して來た、戰鬪の終つた後、長谷部〇團長以下幹部の乘つて居た一等車には十發、食堂車には五十八發の貫通銃痕が殘つて居た、この列車に乘つて居た列車ボーイ十八歲のロシア少年は右戰鬪に際し大腿部及び右手に貫通銃創を蒙り我衛生隊に收容されたが非常に重傷で長谷部〇團長も從軍中非常に目をかけて居ただけに「可哀想だ」と目をしばたゝいてゐた

激戰實に五時間

双城堡に一夜を明かしたわが長谷部〇團に對し三十一日午前五時頃支那軍は突如三方より攻擊を開始し、殊に〇團司令部を目がけて猛射を浴びせかけ、長谷部〇團長室に五發、その左右に五十數發の敵野砲彈が命中したのみならず、敵の歩兵部隊はわが主力の約五メートル附近まで銃劍をひつさげて突擊を敢行し來り、我軍は敵の包圍にあひ決死の奮戰を續けること數時間、午前十時半漸く敵を擊退したが、これがため我軍は戰死二十一名、負傷は歩兵部隊は村上少尉以下二十五名、野砲隊は藤井少尉以下十三名計四十名であつた、なほ負傷者は双城堡驛の食堂を假病院として收容應急手當を加へてゐるが、敵は退却に際し同驛附近に約六十名の死體を遺棄した【長春電話】

長春の飛行隊總出動

支那暴戾軍の全滅を期す

暴戾極まる支那軍に痛擊を破裂させた正義の皇軍は長谷部〇團に大損害を與へた六百六十二、三團の敵を全滅の目的で飛行隊總出動のもとに敵の上空から爆彈の雨を降らせて猛烈な攻擊を加へてゐる、尙待機中であつた愛國號もこれに參加した【長春電話】

空陸呼應して追擊中

双城堡に駐屯中の我が長谷部〇團は三十一日午前五時三十分頃突然敵一個旅(兵力二千名)に猛襲され苦戰に陷つたが漸次攻勢に出で遂に敵は死傷者五百名を殘して退却したので、わが長谷部〇團は目下追擊包圍の形にあるが、長春飛行隊の應援を求めわが飛行隊の双城堡の上空飛來を待つて空陸相呼應して敵の全滅を期してゐる、この戰鬪における我軍の死傷は戰死下士以下十二名、負傷少尉以下三十五名である【長春電話】

長春から歩兵主力

山砲隊を加へ急派準備

長春において目下待機中のわが多門〇團は双城堡における長谷部〇團の衝突により頗る緊張を示してゐるが、目下歩兵主力に山砲隊を加へ急派準備中である【長春電話】

負傷者は驛に收容

三十一日双城堡戰の我負傷者は同驛が非常に廣いので全部驛内に收容し應急手當中である、又敵軍が去つた後双城堡驛の狀態を見ると食堂に二十餘發、事務室その他に數十發、長谷部〇團長の自動車に一發の彈痕があるを發見した

我戰死者の氏名

正午迄判明の者

【双城堡特電三十一日發】双城堡の戰鬪における名譽の戰死者のうち正午までに判明せる氏名左の如し

△歩兵第〇聯隊第〇中隊一等兵高橋丈作△同一等兵小松忠吉△同第〇中隊一等兵佐藤勝雄△同一等兵佐藤七郎△同一等兵佐藤盛△機關〇隊一等兵西條直吉△第〇中隊一等兵重松繁男△同一等兵尾崎勇△第〇中隊上等兵小野寺守雄△第〇中隊上等兵小谷進△第〇中隊上等兵菅原末雄△第〇中隊上等兵佐藤文雄

潰走中の騎兵を爆擊

ハルビン双城堡方面の偵察を終へ三十一日午前十時三十分長春へ歸來した第一偵察機の報告によるとハルビン双城堡方面には敵兵なくハルビン市中も目下の處平穩なるものゝ如し、尙午前十一時三十分歸來した第二偵察機の報告によると双城堡北方二十キロの地點において北方へ潰走中の敵の騎兵約八百名を發見しこれを爆擊した【長春電話】

張家灣警備

當地駐屯の我獨立〇隊及び鐵道隊の一部は三十一日朝八時より東支南部線張家灣以南の警備のため

日章旗を振つて 沿線鮮人が歡迎

我軍の嚴肅に東支從業員驚嘆

長谷部旅團は三十日午後二時半三岔河驛で途中旺に飛來する航空隊と緊密な連絡を保ちつゝ充分なる警戒を擁ひ蜿蜒一里餘に亘る軍用列車臨陣を張つてハルビンを指して北進し、三十日午後六時雙城堡を占據、同日は長谷部旅團司令部を雙城堡に置き同地に設營したわが軍の意氣は正に天を衝くの槪がある、双城堡附近で日本側を一擧に粉碎すべしと豪語した丁超護路軍は影を見せず、わが軍は無人の野を行く如く前進した、双城堡に向ふ途中各驛に勤務する赤系露人の東支從業員は始めて見る日本軍の嚴然たる軍隊の規律統制に非常な驚異の眼を見張り、色々便宜を與へて極めて好意を持つて日本軍を迎へてゐた、又東支各驛附近に居住してゐる朝鮮人は日本軍歡迎の日の丸の旗を揭げて各驛に出張り如何にも心強さうに日本軍北上を迎へてゐる有樣はいぢらしい感がする【長春電話】

蔡家溝にも敵兵襲來

卅一日朝双城堡の手前三十三キロの蔡家溝に一千六百の敵兵襲擊し來り激戰の結果擊退したが、わが軍の戰死者二十名、負傷者を出した

丁軍退き集結

雙城堡驛に集結してゐた丁超軍は三十日、わが軍の北上により漸次後退を開始し、ハルビン南方二里東北に亘り約五千の護路軍を集結しインテンダンスキ驛附近を中心に陣地を築造して日本軍一歩たりともハルビンに近づけないと豪語し、强力な陣營を張つてゐる【長春電話】

白露人虐殺計畫

【ハルビン三十日發】武裝ロシヤ青年共產三千名は此亂に際し二百八十名の白系ロシヤ人の虐殺計畫中である

列車運轉開始

三十日午後六時、長谷部旅團が双城堡驛に入城するや、東支鐵道監理局長の名で長谷部旅團に宛て戰火を慮て運行を中止した東支線の列車運轉を卅一日より圓滑に實施すると通知し來つた【長春電話】

等は駐哈日本軍と折衝し、これに應ずることを乞ふ、並に三十一日夜九時までに返電を望む、その時間までに返電なきときは日本側は特別の行動をなすとのこと、この擧は唯に哈市に止まらず、實に國際關係及び東北の大局に關するものにして速かに方法を講ずることを望むと三十日打電した【長春電話】

避難内鮮人 三千餘名に達す

【ハルビン卅日發】卅日夜十一時卅分迄の避難内鮮人は三千六十五名に達した

徐文海一味 近く歸順の模樣

安東沿線、落着かう

校津第〇大隊長は安奉沿線附近に暴威を揮ひつゝある匪賊團のうち歸順を申出る者あり、その處置に就き廿八日奉天に赴き關東軍司令部と協議打合せをなした、右につき大隊長は

歸順の氣配の見ゆるものは今のところ約二千であらう、出奉したのはその打合せもあつたが、永らく司令部へ御無沙汰してゐたので行つて來たのだ

と多くを語らないが、歸順申出では徐文海の一味で我軍部では歸順後の待遇につき既に意向決定したものと察せられ、徐文海一味の歸順は最早時日の問題となつてゐる近來安東沿線の比較的平穩なるはそのため徐一味が良化に浴すれば安東沿線は大體において平靜に歸すべく、鄧鐵梅一味も我軍に討伐されて潰滅するか或は進んで歸順するかこれまた遠からぬものと見られてゐる【安東電話】

大馬賊團が襲來し 南臺、危險に陷る

附屬地周圍の部落を放火奪掠中

南臺周圍七邦里の各部落猛火に包まれ危險刻々迫る、南臺西方牛邦里前柳河子に老北風の配下約百八十騎襲來し、尙その後續部隊は突擊に約六百名駐屯し各部落を放火掠奪中にて、漸次南臺附屬地危險に陷り、大石橋警察においては林警部補の指揮銃三個分隊及び岩木警部補の歩兵砲一個分隊、鐵嶺警部補の長銃隊三個分隊は急遽午前十時五十分出動した、なほ猪苗代署長は午後零時五十一分十一列車にて後續部隊として平山憐兼保外三名帶同南臺派出所に急行、なほ海城公安隊〇〇名及び〇〇隊〇〇名急遽南臺に向つた【大石橋電話】

東支鐵路に運行要求

吉林熙長官より東支鐵路督辦、理事長及び黑龍江省長官に宛て、速かに東支鐵路に對し、長春より哈市に發車を命令し、その車輛數

名譽の戰傷者 送迎日割

匪賊討伐に際し各地の戰鬪で名譽の戰死を遂げた不破騎兵少佐以下四十八名の遺骨および傷病患者三十六名は左の日割により内地に送還されるので市役所では戰死者遺骨に對し二月三日午前八時卅分埠頭船客待合所において慰靈祭を執行する事になつた、傷病患者の歸還に對しては多數送迎し慰靈祭には多數の參拜を希望すると

一、傷病患者出發　二月一日午後四時發照國丸(甲埠頭九區繫船)

二、戰死者遺骨大連着　一月三十一日午後三時(旅順より一體)二月二日午後四時五十分(奥地よりの分)

三、遺骨大連發　二月三日午前十時發うらる丸

軍需品輸送で 長春大混雜

長春警察署は三十一日朝來、當市巡查の大召集を行ひ荷馬車の徵發を斷行しつゝあるが、更に城内方面に手を伸ばして自動車およびトラックの大徵發を行ひ、三十一日南滿より到着せる自動車七十臺とゝもに軍需品輸送の大計畫をたて、目下市内はこれがため非常な混亂を呈してゐる【長春電話】

ハルビンは漸次平靜

馬占山の報告

【吉林特電三十一日發】ハルビン事變に對し二十九日馬占山より熙洽長官に左の如く打電して來た

二十七日の命によりハルビンに入り調停に努めたが、丁、李は諒解する處あるも團、營長以下の幹部において頗る強硬に出で數回說得したる結果、始めて李馮等は市外に退出したる爲め漸次ハルビンは平靜となるも長官は引續き調停を要す、本職は昨夜十二時海倫に歸りたり

恤兵卓球大會

恤兵資金募集のピンポン大會は滿洲卓球協會主催のもとに三十一日午前九時より南山麓、朝日小學校、土佐町公會堂キリスト教青年會館の四ケ所で一齊に擧行非常な人氣を呼んだ(寫眞は朝日小學校の會場)

關東軍へ肥前忠吉の一刀

七十の坂は越えたけれどもなほ矍鑠壯者を凌ぐ體の一老人が二十六日陸軍省に出頭、關東軍へ一やせ老人の心からなる贈物を受納ありたいと差出したのは軍刀仕立の肥前忠吉の一刀、家傳の名刀で日清戰役には之を揮つて敵中を縱橫無盡に馳せ廻つたものといふ、端然として型の如く抜き放つては露か玉散る見事な業物、ありげな老人鐵道省に四十年近く勤續したといふのみで姓名を名乘らず部員が有難く頂戴すると一禮して悠々と立去つた所豊饒貿盛の風情があつた、寫眞によつて取調べの結果日暮里谷中に住む竹越音次郎さん寫眞は竹越老人と贈つた名刀

匪賊頭目逮捕

二十六日小嶼子方面における匪賊討伐で逮捕した匪賊の自白により右匪賊團の頭目が奉天に潜伏中なること判明したので、撫順署では直に小野刑事奉天に出張し、某方面潜伏中の〇〇〇(三)を逮捕、撫順署に連行取調の結果、殘黨潜伏地その他一切を自白【撫順電話】

奉山鐵路復舊

東北交通委員會では奉山鐵路局と協力してこれまで破壞掠奪されて荒廢せる舊北寧鐵路の復舊を圖つてゐるが、その準備着々進捗し三十日から錦州以東奉天で毎日旅客列車一往復、混合列車一往復、貨物列車一往復の運轉が行はれる、なほ錦州以西山海關に至る旅客及貨物列車を運轉して北平との聯絡を採ると共に營口支線、打通支線も營業列車の運轉を開始して解氷期と同時に營口、河北西港並に河北驛を開くために鋭意復舊準備を進めてゐる【奉天電話】

沙河口勝つ 弓道リーグ戰

本年度關東州弓道リーグ戰第二回沙河口對武德會戰は三十一日中央公園武德會弓道場に於て擧行したが其成績は沙河口百二十一中、武德會百十一中で沙河口の勝次回は二月十四日午前九時開始遞信對武德會第三回戰を行ふ豫定である

給料を强奪

三十日午後五時十分撫順東ケ岡元西鉛工場附近に拳銃所持の三人組強盜現れ、機械工場の職工の退出を待つて約二十名を包圍拳銃でおどしつけ、水溝に追ひ込み針金で手足を縛し上げ當日支給の給料合計百七十圓を强奪逃走した、急報により撫順署では直に非常線を張り犯人嚴探中【撫順電話】

食堂主、姿を晦ます

市内沙河口大正通り市營市場外郞店舖食堂「鯉家」こと坂本利一(三)同妻ミツ(三)の兩名は約二千圓負債その他を殘して去る廿九日朝姿を晦ましたので、同人債權者たる市内聚德街一丁目二七〇山本政次郎氏は卅日夕沙河口署へ搜査方を願出た

書記生の內妻絞殺さる

【橫濱三十日發】橫濱市中區根岸町西の丸一三三七外務書記生村田愛次郎氏方の戶が三日前から開かぬので三十日午後一時三十分村田氏の父久次郎氏が入つて見ると愛次郎氏內緣の妻ドイツ人オリガー(三)が絞殺されてゐるのを發見山手署に屆出て係官出張取調中だが夫愛次郎氏は三日前から行衞不明なので搜査中である

南の風　曇

二月一日　大氣象臺

各地溫度

	昨日最低	午前十一時
大連	零下五、〇	同　一、四
旅順	同　四、四	同　二、一
營口	同　九、六	零下〇、五
奉天	同一一、九	同　〇、八
長春	同一七、〇	同　五、一

武門血笑記 (40)

下村悦夫作　布施長春挿畫

風雲飛來(三)

「ほう、これは、御歴々の方々、何事かは存じませんが、此場は、拙者にお委せ願ひ度い……」

さ、作樂は、重臣達の若侍の方へ、小腰を屈めて、丁寧な挨拶。

「えゝ、退けッ、上役人に對する悪口雜言、聞き捨てならぬ」

「輕輩の分際で、我々に、手向ひ致す奴、斬つてやる、退けッ」

「退けッ」

重臣達の若侍は、威丈高になつて、喚き立てた。

「でもござらうが、相手は、取るに足らぬ輕輩者、此場は、何卒、拙者に……」

「いや、許す事ならぬ、退け」

「問答、無益ぢや」

「退かぬさ、貴公も、同罪ぢやぞッ」

「各々方、抜けッ「

さ、重臣方の若侍、パット、一際に、白刃を抜き合はせた。

「…申さぬ、上役人に對する、無禮の罪には、それ相應の道のある筈、殿の御許に於て、私の處斷沙汰は、違法でござるぞッ」

「何ッ、違法だ?」

「無禮なッ」

「退れ、引かぬさ、斬捨てるぞ」

「ほゝう、かほどに申しても、聞き分けないか、では、待たれい…」

さ、作樂は、靜かに、二三歩、下つて、默つて、刀の柄を撫り締めてゐる、二人の同志の者に、

「抜くな、抜くな、抜いてはならぬ、拙者に委せておけ」

さ、制して、鑑じめ見て置いたのであらう、側の用水桶の上から二尺あまりの手桿を取り上げるさ、重臣達の若侍の方を、きつさ見て

「さあ、かくなる上は、拙者、各々方を、殿下を騒がせる亂暴者さして、手捕りに致し、役人に渡すぞ、よいか、參れッ」

さ、手桿を、びつたりさ、正眼に構へた。

作樂の腕前は、藩中でも鳴り響いてゐる。殊に、その大膽な放言で、人を喰つた手桿の構へに、三人の若侍は、氣を呑まれた形であつたが、雌虎の勢ひ、引込むわけには行かぬ。

「何をッ」

「それッ」

「參るぞッ」

いづれも、多少は腕に覺えがあるらしく、銚子を揃へて、ぢりぢりさ詰め寄る。

作樂に、相手を奪はれた形の、二人の侍も、少し後に下つてはゐたが、作樂に萬一の事があつては、さ、刀の柄に手をかけたまゝ、瞳を定めて、凝つさ、戰ひの樣子を見守つてゐる……

「さあ、參らぬか、その屁ッぴり腰では、人は斬れ申さぬぞ、こちらの得物は、高が、手桿ぢや、はつ、はつ、はつ」

作樂は、口先で相手の氣持を苛立たせて、協同の行動を、攪き亂さうさするらしい。

「それ、左、打込みの形、小手隙あり」

さ、またしても、相手を小馬鹿にしたやうに、手桿の先を輕く動かした。

さ、その瞬間、

「えいッ」

鋭い、氣合さ共に、苛立つた右手の一人が、大地を蹴つて、踏み込みざま、颯さ斬り下す……。

「おう」

作樂は、體を捻つて、身を躱しながら、空を打つて流れる小手を手桿で、ピツチャリ一打ち、

「あつ」

驚きの聲さ共に、刀は手を離れて、響きを立てゝ、大地へ落ちた

さ、同時に、作樂の身體は、手毬のやうに飛んで、猛烈な體當り――、續いて踏み込まうさする、二人の前に、その男は、地響きを立てゝ、倒れた。

作樂は、足で、敵の落した白刄を、蹴飛ばしながら、餘裕綽々たる高笑ひ……。

日活と東活の提携成る
河部海江田以下東活に出演

羅門光三郎、原駒子等は東活を退社して獨立映畫の旗揚げをし、東活の俳優陣に動搖を來たした折、豫てより日活撮影所長池永氏は東活こ對して同情を持つてゐたが、今回日活さ東活さの間に

提携 成つて日活が東活を後援することになり、目下河部五郎は辻吉郎監督で「放浪一徹男」を製作してゐるが、同映畫の完成を俟つて東活映畫に出演することになり。河部始め海江田讓二、高木永二、酒井米子外數名は去二十七日正式東活出演の調印を了し二月一日より撮影する事さなつた、更に東活は

寶塚 歌劇より有明月子、岸小夜子、光志津子の三スターをも正式入社せしめたが、之を機會に日活は新スターはドシドシ東活へ貸出すさいふし、トーキー方面へも大に發展せしむるさ、今後日活は東活に對して指導的立場になる譯である、玆に於て

日活 さ東活の關係は松竹さ新興の樣な關係になり、愈々邦畫界は二大系統になるであらう

下加茂で發聲用スタヂオ建設
長二郎で第一回作品を

松竹京都撮影所ではいよいよトーキー製作に乘り出すがシステムは松竹土橋フォーンに依るもので下加茂スタヂオ前のセット街にトーキースタヂオを建設することになり直に準備に着手した撮影開始は三月初旬になる模樣で衣笠貞之助監督で林長二郎主演第一回トーキーを製作する原作は行友李風氏が執筆中

片岡千恵藏も現代劇製作

松竹京都の林長二郎最初の現代劇「金色夜叉」は邦畫界に兎も角も大きな波紋を投げたものであるが日活の池田富保監督はさきに編成された喜劇班第一回作品さして澤田清主演で現代喜劇「田吾作ホームラン」さいふ新しいものに着手したが、時代劇では常に新境地を見せてゐる片岡千恵藏も愈々今度は現代劇進出の計畫をたてた第一回作品は中村吉藏氏原作になる明治維新時代より現代に至る迄の時人を描寫した「明治奇行譚」さ內定してゐる

◇◇旅鴉一本刀◇◇ 新興キネマ映畫で原作は行友李風脚色、上島量、中島寶三の監督で厨子技師のクランク、變な事から仇持ちさなつた旅人鹿沼の源太の物語り、雲井龍之助主演、泉清子、春路謙作助演、寫眞は龍之助の渡世人鹿沼の源太【大日活次週上映】

噂話

大連の映畫ファンの間に最近本格的に發聲映畫が論じられるやうになつて來たが、同時に發聲機が問題さなつて來た▲矢張り評判の相當いゝのはウエスタンであるが、その點で映畫館が若い映畫ファンの人氣を集め出したのは當然のこさ▲內地で俄然好評を博したパテー・インターナショナルの「ハーマン」がいよく常盤座へ上映されることになり、卅一日試寫があつたが▲既に上映中の帝國館の「御誂次郎吉格子」さ云ひ、この「ハーマン」さ云ひ、更に映樂館に豫告中の「火の山」中央館の不二映畫「榮冠涙あり」等二月の映畫界は俄然大物の競爭だ

本社特選 新棋戰 (其二)

香落 八段△花田長太郎
六段▲平野信助

【圖は五二金迄の局面】

▲平野氏「持駒」ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	v香	v桂				v金	v銀	v桂	v香	一
		v飛		v銀	v金		v王	v角		二
			v歩	v歩	v歩	v歩		v歩		三
							v歩		v歩	四
	v歩	v歩	歩							五
				歩					歩	六
	歩	歩	角		歩	歩	歩	歩		七
			飛	銀				玉		八
		桂		金		金	銀	桂	香	九

△花田氏「持駒」ナシ

△六七銀 ▲六四歩
△五九角 ▲六五歩
△同　歩 ▲九九角成
△七九金 ▲九六歩
△同　歩 ▲同　香
△九七歩 ▲六六歩
△五八銀 ▲九七香成
△同　桂 ▲九六歩

【土居八段講評】平野氏の六四歩は上手七八飛の形では敵の六七銀に對して最も肝要の手である。この手を怠ると次に敵に五九角又は六八角と引かれ次に七六飛と浮かれると端が攻め難くなつて下手の九五歩突の順が兎角無效に陷りやすいのである。花田氏の五九角は此處で三八銀と締る趣向もあるが矢張り下手より六五歩と攻められるのである。平野氏の六五歩は六四歩に繼續した手であつて必要な攻めである。花田氏の同歩は七六飛浮く順もあるがこの邊は上手の作戰の選ばれる處である。平野氏の九六歩は豫定の攻め手でこの順では香落の弱點を攻めた形になつてゐるのである。平野氏の六六歩は先手で次に九七香成、同桂、九六歩は最初の六五歩の攻めより繼續した下手の攻撃手段である。

【萩原六段解説】△花田君は圖面の場合三八銀或は五八金左さ古風の駒組を用ひては作戰上不利さ看て、變化を求むる意味を以て六七銀さ上つたのは一策である▲此時平野君は敵に完全に浮飛車模樣に組まれては香落の僞を攻むるに難く、殆ご平手さ同樣の位さなつて面白くない故、この機會を利用して攻勢を採る方針の下に六四歩以下その筋の歩を突き出したのは至當の對策である△花田君は敵の六五歩に對し同歩は古人の棋風を用ひたのであらうも、些か活氣過ぎはせずや、目下自陣は不完全の際なれば穩かに七六飛、六六歩、同銀、八六歩、同歩、九六歩、同歩、八八歩、七七桂さ指す處である。

最も信頼出來る
發動機製造株式會社
日本エヤブレーキ株式會社共同製作
自動三輪車
を誇る秀優然斷
ツバサ號
代理店 三井物產株式會社
販賣店 保祥公司
大連越後町二十四番地
電話四九一六番
人は信用 電氣は利用
健康第一
晝でも夜でも室内で自由に日光浴が出來る
バイタライトランプ
紫外線獲得時代
南滿洲電氣株式會社
コール天服と纖服
ズボン・ジャンパーは
時局方面へ御出動の方には特價提供
◎大量ミシン裁縫引受
元氣洋行
鑛業に關する總ての御相談に應じます
八丁鑛業所
ぢ
如件
肛門藥商會
滿洲興信公所
大連市駿河町
調査 日報 統計
かぜ、セキのぬり薬
ビックス
VICKS
主効 感冒、セキ、咽喉痛、頭痛、鼻カタル、神經痛、挫打筋肉凝り、火傷切傷化一切
國光公司
ぜんそく・たんせきの良薬
奈良倉家
家傳湯
喘息痰咳根治の皇漢藥
天然堂藥局
大黒屋藥店
洋服は
丁子屋洋服店
頑強無比
トラックシャシーに用ひダンロップ新型
82×6ヘビー程安全なタイヤが他にあるだらうか
DUNLOP
國産之王様
東京式
桐タンス特價提供
並ニ月賦販賣
藤田タンス專門店
藤田タンス指物工場
クスリと
お化粧品は
小寺藥局へ
紫檀細工責任販賣
並ニ麻雀其他
支那各省土産品
日支公司
印刷一般
活版・石版
オフセット
ヂンク版
株式會社東亞印刷大連支店
大連市近江町
ユアサ
各種
自轉車ランプ
蓄電池
乾電池
山葉洋行
齒科診療
藤森齒科醫院
内科專門
安富醫院
正隆銀行
阪本醫院
書でも夜でも紫外線の豊富な日光浴の出來る
東京電氣の特許專賣
バイタライトランプ
特長
南滿洲電氣會社
SUN-MAID SEEDLESS RAISINS
一握のサンメード乾葡萄は毎日消耗せらるるエナージーを補ひ鐵分を攝取して汚れなき血液と化す。
されどサンメード乾葡萄は必ず毎日一回は一握りづゝ攝取せらるゝを要す
佳味風流
上生菓子
調進
みふと屋
Modern 1932
人力車より經濟な自動車
Drive by your B.S.A. Three-Wheeler
行洋和昌